



2022年度 前期
学生による授業改善アンケート集計結果

日本赤十字看護大学 看護学部（広尾）

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】	3
2.	【演習】	4
3.	【実習】	5
4. 授業改善アンケート結果	【講義－全体】	6
5. 授業改善アンケート結果	【講義－科目別】	7
6. 教員からのコメント一覧	【講義】	117
7. 授業改善アンケート結果	【演習－全体】	129
8. 授業改善アンケート結果	【演習－科目別】	130
9. 教員からのコメント一覧	【演習】	144
10. 授業改善アンケート結果	【実習－全体】	146
11. 授業改善アンケート結果	【実習－科目別】	147
12. 教員からのコメント一覧	【実習】	149

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は、(5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下)だった。	5(9割以上)、4(8～7割程度)、3(6～5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

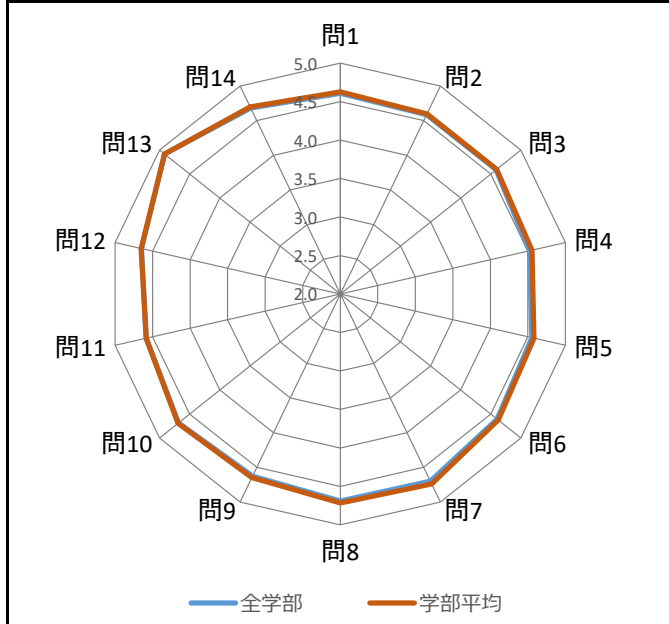
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

学部名	看護学部		履修者数	6283	回答率	
			紙	4794	76%	76%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing distribution of responses for Q1]						4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q2]						4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q3]						4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q4]						4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q5]						4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q6]						4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing distribution of responses for Q7]						4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q8]						4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q9]						4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q10]						4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing distribution of responses for Q11]						4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing distribution of responses for Q12]						4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing distribution of responses for Q13]						4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing distribution of responses for Q14]						4.70	4.68
問1~14全問平均								4.66	4.64

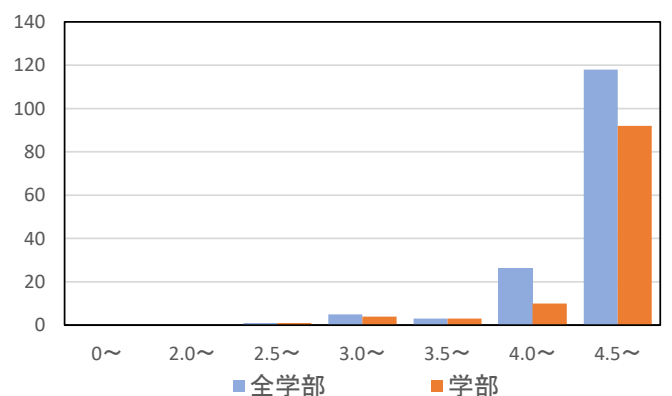
■ 質問別得点



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布

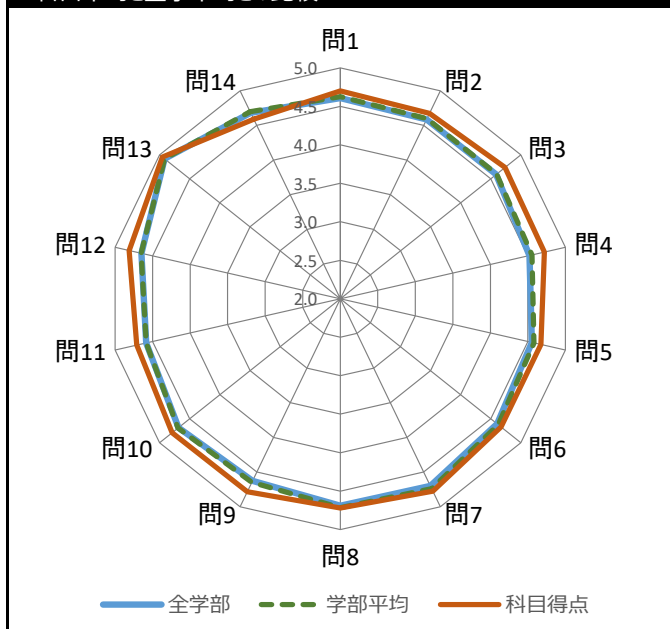


科目名	赤十字概論	[1A0100]	履修者数	152	回答率	
教員名	角田 敦彦		紙	107	70.4%	70.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.70	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.67	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.74	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.72	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.67	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.67	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.78	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.72	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.79	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.79	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.71	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.81	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.95	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.59	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.74	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

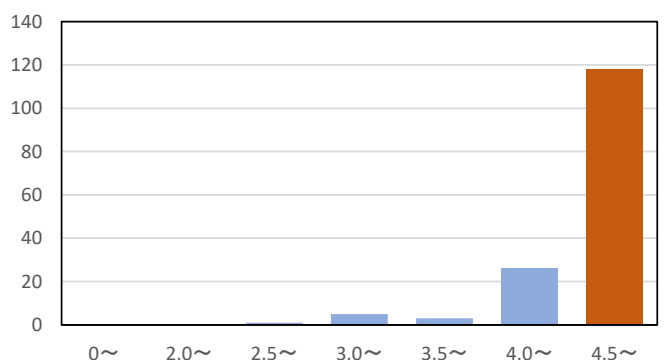


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

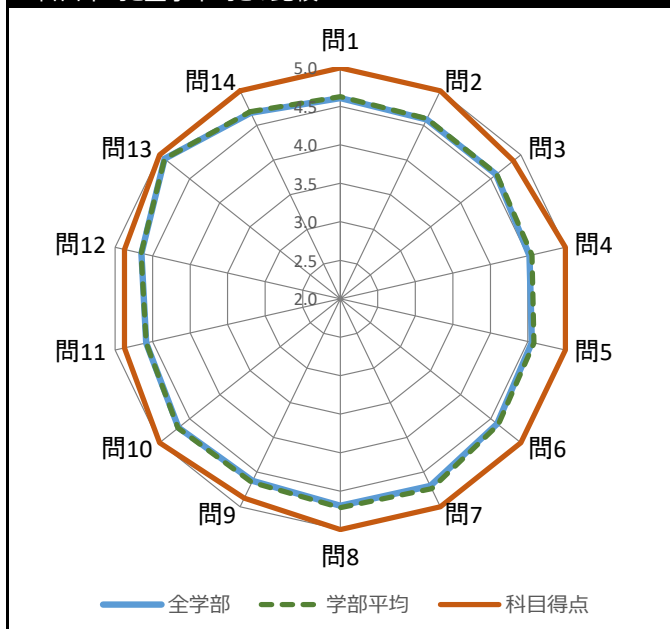


科目名	赤十字国際活動論	[1A0200]	履修者数	8	回答率	
教員名	角田 敦彦		回 紙	8	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	8							5.00	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	8							5.00	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7					1		4.88	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	8							5.00	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	8							5.00	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	8							5.00	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	8							5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8							5.00	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	7					1		4.88	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	8							5.00	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7					1		4.88	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	7					1		4.88	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	8							5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8							5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.96	4.66	4.64	

■ 科目平均と全学平均との比較

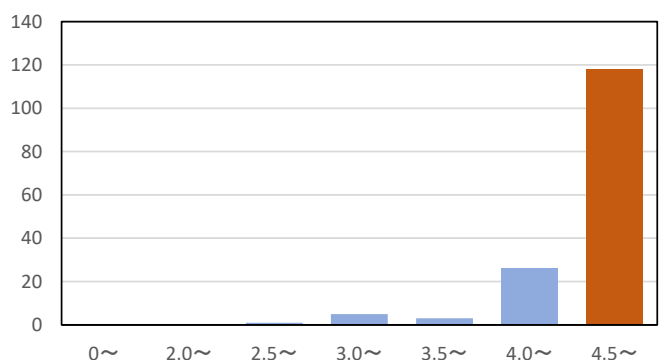


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

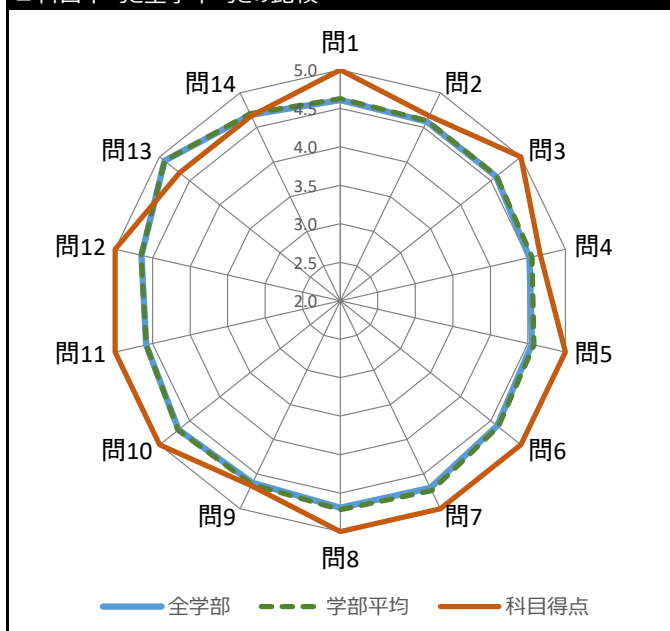


科目名	哲学と倫理	[1B0100]	履修者数	3	回答率	
教員名	榎原 哲也		回答数	紙	3	100.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
						100.0%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3						5.00	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2					1	4.67	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3						5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	2					1	4.67	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3						5.00	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	3						5.00	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3						5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	3						5.00	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	2					1	4.67	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	3						5.00	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	3						5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	2					1	4.67	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2					1	4.67	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.88	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

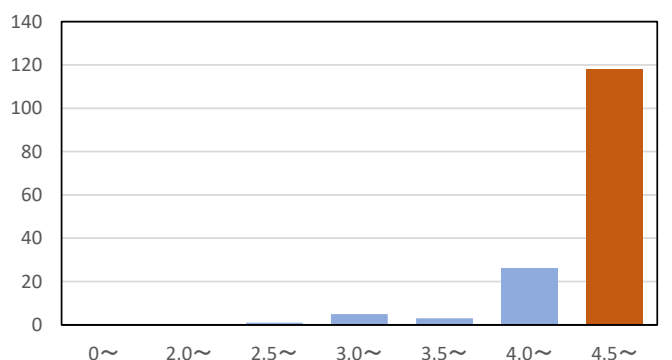


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

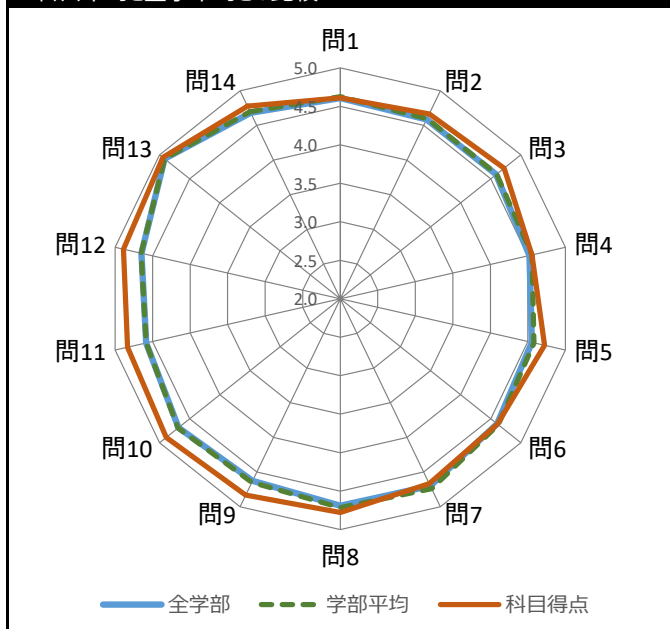


科目名	教育学概論	[1B0500]	履修者数	20	回答率	
教員名	渋谷 真樹		回 紙	18	90.0%	90.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 14 responses for '4' and 2 for '5', 1 for '3', 1 for '2']						4.61	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 14 responses for '4', 3 for '5', 1 for '3']						4.67	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 14 responses for '4', 3 for '5', 1 for '3']						4.72	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 14 responses for '4', 2 for '5', 1 for '3', 1 for '2']						4.56	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 15 responses for '4', 1 for '5', 2 for '3']						4.72	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 14 responses for '4', 1 for '5', 3 for '3']						4.61	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 14 responses for '4', 3 for '5', 1 for '3']						4.67	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 16 responses for '4', 1 for '5', 1 for '3']						4.78	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 16 responses for '4', 1 for '5', 1 for '3']						4.83	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 17 responses for '4', 1 for '5']						4.89	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 17 responses for '4', 1 for '5']						4.83	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 17 responses for '4', 1 for '5']						4.89	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 17 responses for '4', 1 for '5']						4.94	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 15 responses for '4', 2 for '5', 1 for '3']						4.78	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.75	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

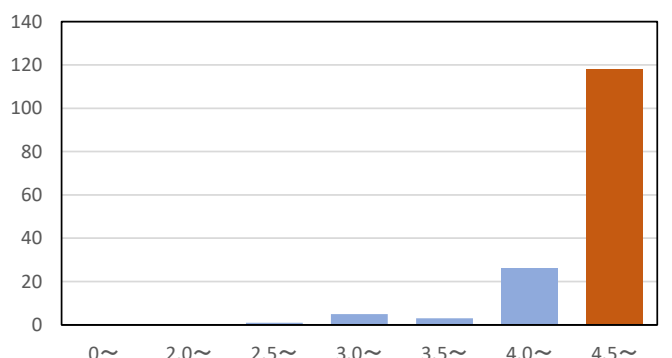


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

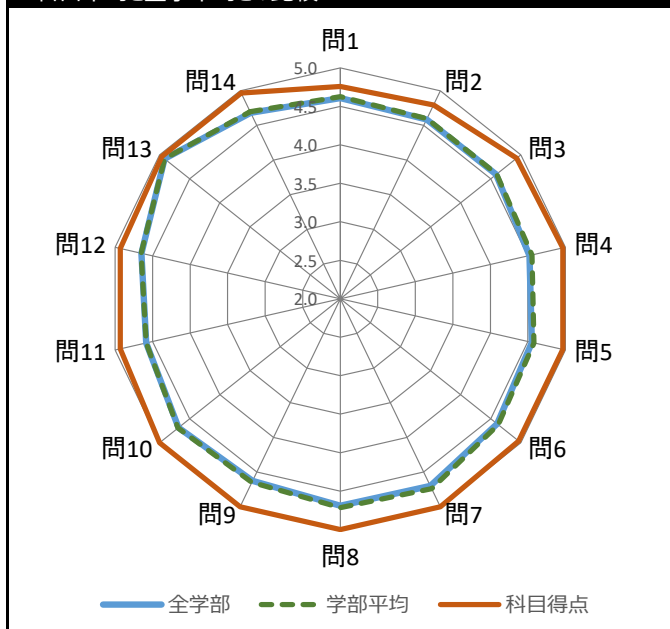


科目名	身体運動論Ⅱ(実技)	[1B0801]	履修者数	35	回答率	
教員名	伊藤 麻希		紙	29	82.9%	82.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 24 blue, 3 green, 2 yellow]						4.76	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 26 blue, 1 green, 1 yellow, 1 orange]						4.79	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 27 blue, 2 green]						4.93	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 28 blue, 1 green]						4.97	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 28 blue, 1 green]						4.97	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 28 blue, 1 green]						4.97	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 29 blue]						5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 29 blue]						5.00	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 29 blue]						5.00	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 29 blue]						5.00	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 28 blue, 1 yellow]						4.93	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 28 blue, 1 yellow]						4.93	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 28 blue, 1 green]						4.97	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 28 blue, 1 green]						4.97	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.94	4.66	4.64

■科目平均と全学部平均との比較

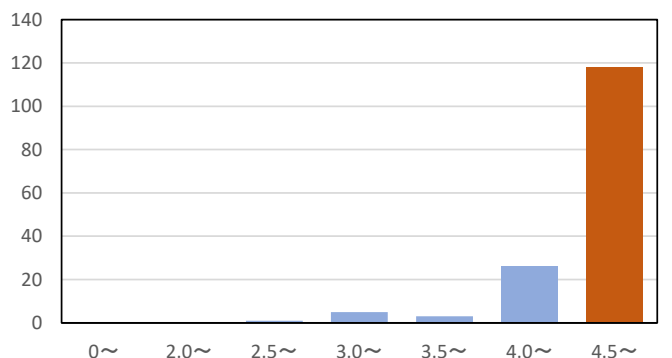


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

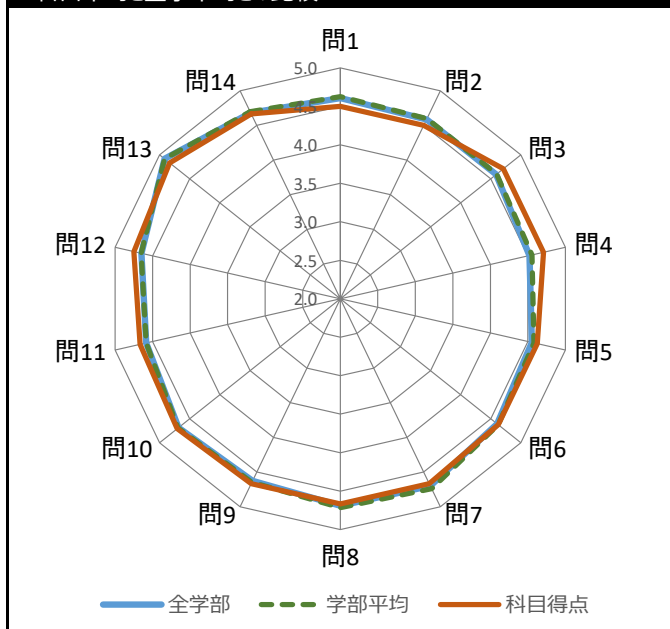


科目名	身体運動論Ⅱ(実技)	[1B0802]	履修者数	33	回答率	
教員名	伊藤 麻希		紙	24	72.7%	72.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	15	6	3				4.50	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	15	6	3				4.50	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	5	1				4.71	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	18	5	1				4.71	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	16	7	1				4.63	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	16	7	1				4.63	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	17	6	1				4.67	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	6	1				4.67	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	17	6	1				4.67	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	18	5	1				4.71	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	17	6	1				4.67	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	19	4	1				4.75	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	20	4					4.83	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17	6	1				4.67	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.66	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

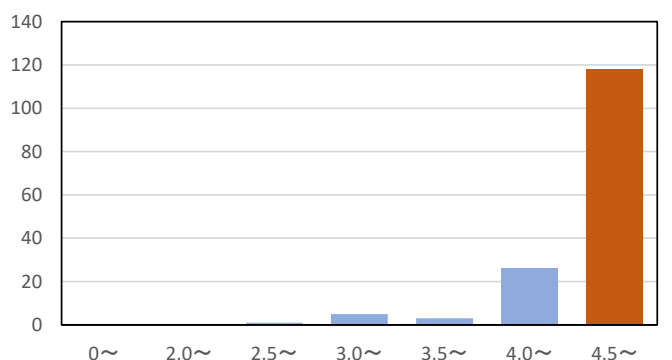


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

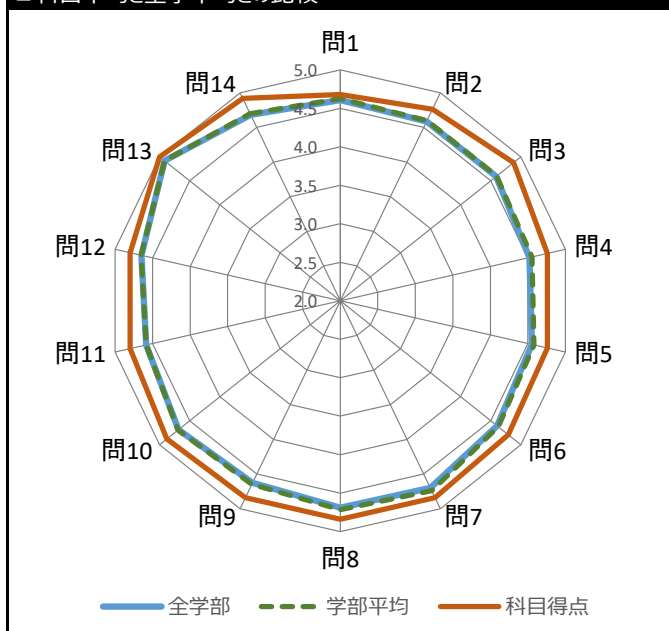


科目名	身体運動論Ⅱ(実技)	[1B0803]	履修者数	31	回答率	
教員名	伊藤 麻希		紙	25	80.6%	80.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 18 (blue), 6 (green), 1 (yellow)]						4.68	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 19 (blue), 6 (green)]						4.76	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 22 (blue), 3 (green)]						4.88	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 20 (blue), 4 (green), 1 (yellow)]						4.76	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 20 (blue), 4 (green), 1 (yellow)]						4.76	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 19 (blue), 5 (green), 1 (yellow)]						4.79	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 21 (blue), 4 (green)]						4.84	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 21 (blue), 4 (green)]						4.84	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 22 (blue), 2 (green), 1 (yellow)]						4.84	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 22 (blue), 3 (green)]						4.88	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 21 (blue), 3 (green), 1 (yellow)]						4.80	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 21 (blue), 3 (green), 1 (yellow)]						4.80	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 25 (blue)]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 23 (blue), 2 (green)]						4.92	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.83	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

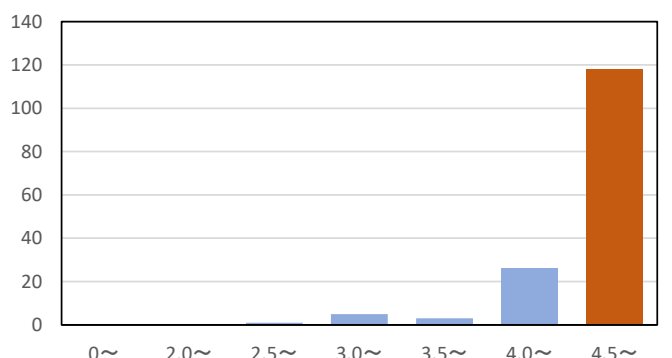


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

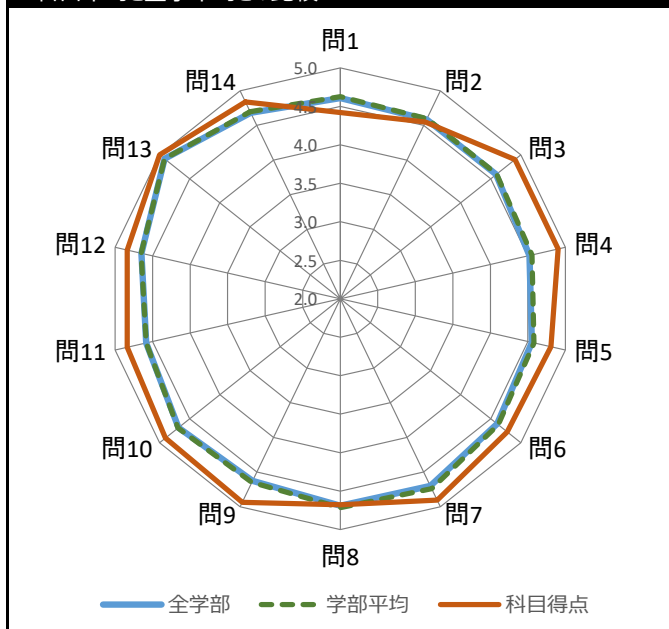


科目名	身体運動論Ⅱ(実技)	[1B0804]	履修者数	35	回答率	
教員名	伊藤 麻希		紙	31	88.6%	88.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 20 (blue), 4 (green), 7 (yellow)]						4.42	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 22 (blue), 4 (green), 5 (yellow)]						4.55	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 28 (blue), 3 (green)]						4.90	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 28 (blue), 3 (green)]						4.90	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 25 (blue), 6 (green)]						4.81	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 24 (blue), 7 (green)]						4.77	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 28 (blue), 3 (green)]						4.90	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 25 (blue), 4 (green), 1 (orange), 1 (red)]						4.68	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 29 (blue), 2 (green)]						4.94	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 28 (blue), 3 (green)]						4.90	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 26 (blue), 5 (green)]						4.84	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 27 (blue), 3 (green), 1 (orange), 1 (red)]						4.84	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 31 (blue)]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 26 (blue), 5 (green)]						4.84	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.81	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

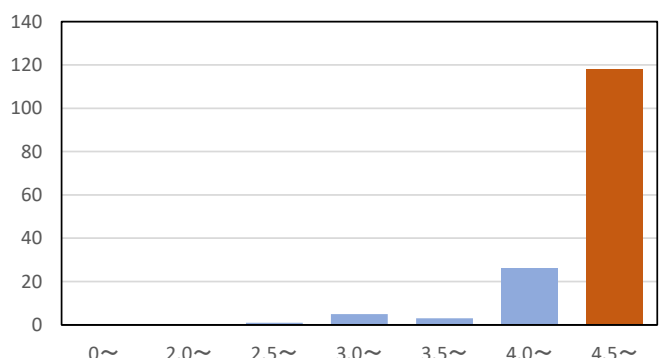


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

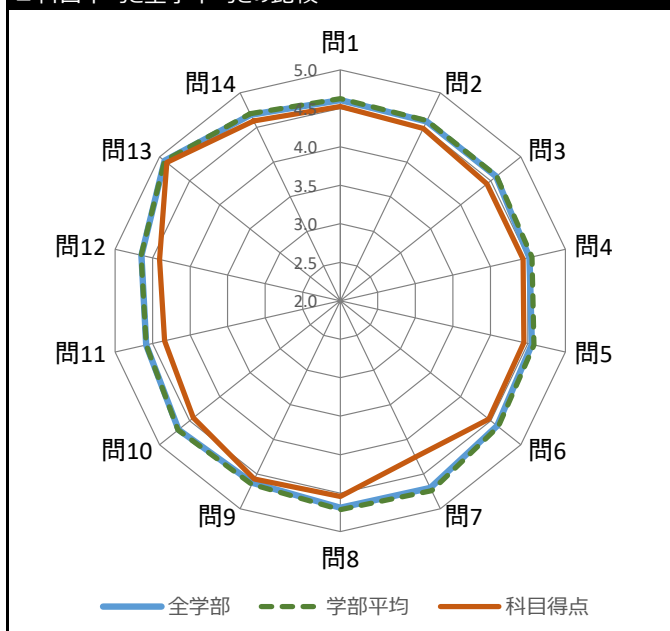


科目名	心理学概論	[1B1700]	履修者数	130	回答率	
教員名	遠藤 公久		紙	103	79.2%	79.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.52	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.49	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.44	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.44	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.45	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.47	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.25	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.54	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.57	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.44	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.34	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.41	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.88	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.59	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.49	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

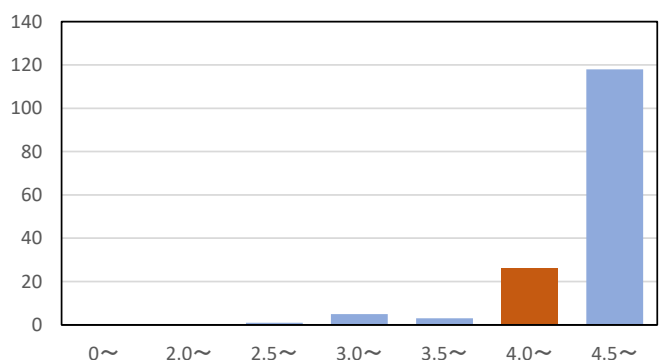


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

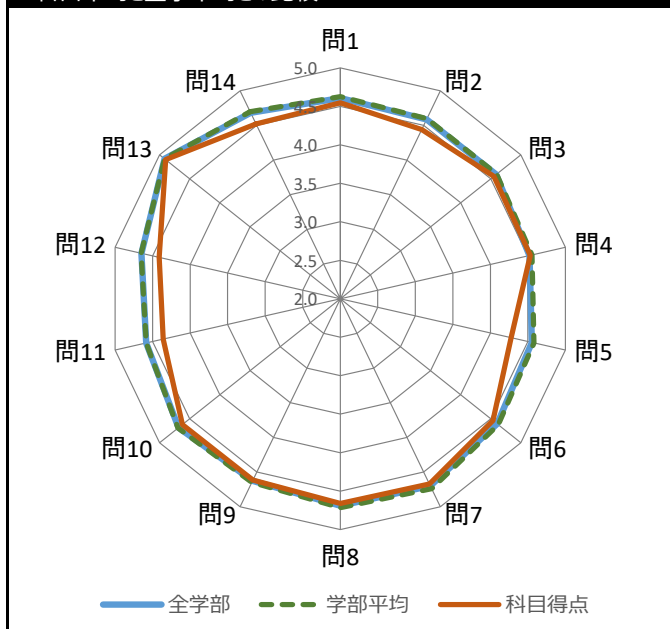


科目名	社会保障論	[1C0300]	履修者数	150	回答率	
教員名	奥貴 妃文		回答数	紙	109	72.7%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
72.7%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 59% 4, 49% 5]						4.55	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 55% 4, 47% 5, 7% 3]						4.44	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 65% 4, 39% 5, 5% 3]						4.55	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 62% 4, 43% 5, 4% 3]						4.53	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 48% 4, 49% 5, 8% 3, 1% 1]						4.28	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 62% 4, 42% 5, 4% 3]						4.54	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 73% 4, 36% 5]						4.67	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 72% 4, 37% 5]						4.66	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 68% 4, 40% 5]						4.61	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 69% 4, 39% 5]						4.62	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 56% 4, 36% 5, 17% 3]						4.36	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 56% 4, 42% 5, 11% 3]						4.41	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 98% 4, 11% 5]						4.90	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 63% 4, 42% 5]						4.52	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.55	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

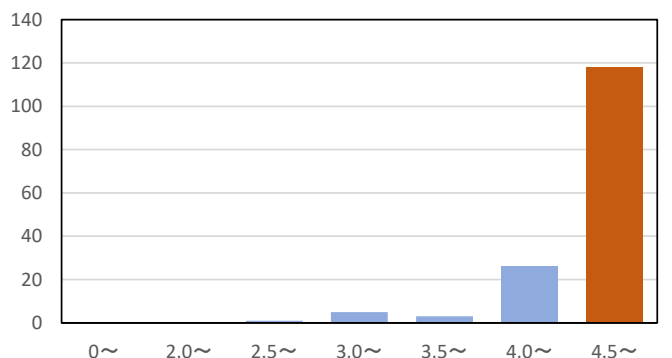


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

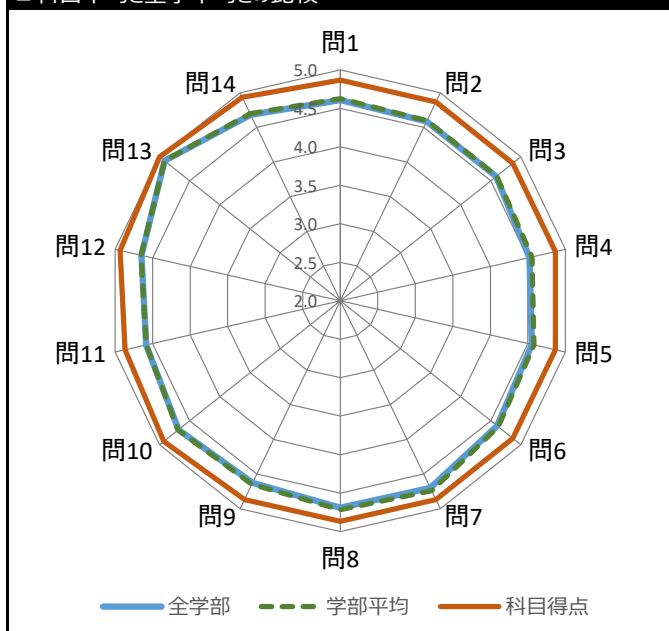


科目名	世界の文化と宗教	[1C0500]	履修者数	16	回答率	
教員名	佐藤 眞		回 紙	15	93.8%	93.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 15 blue]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.89	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

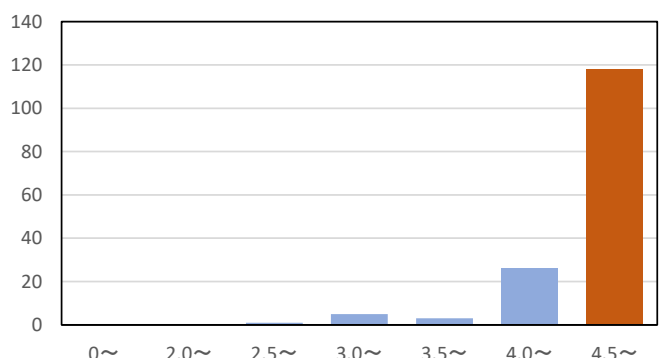


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

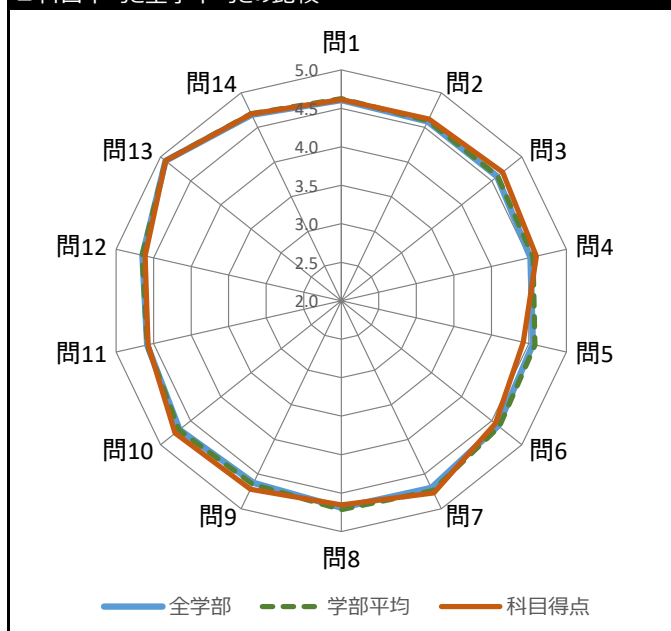


科目名	日本国憲法	[1C0700]	履修者数	87	回答率	
教員名	多田 庶弘		回答数	紙	75	86.2%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
86.2%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart: 51 (Blue), 20 (Green), 3 (Yellow)]						4.61	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked Bar Chart: 52 (Blue), 18 (Green), 2 (Yellow)]						4.62	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 56 (Blue), 15 (Green), 3 (Yellow)]						4.68	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked Bar Chart: 52 (Blue), 17 (Green), 5 (Yellow)]						4.60	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked Bar Chart: 48 (Blue), 17 (Green), 6 (Yellow)]						4.43	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked Bar Chart: 52 (Blue), 17 (Green), 3 (Yellow)]						4.56	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked Bar Chart: 62 (Blue), 10 (Green)]						4.77	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked Bar Chart: 57 (Blue), 13 (Green), 3 (Yellow)]						4.65	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 60 (Blue), 11 (Green), 3 (Yellow)]						4.72	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart: 61 (Blue), 11 (Green)]						4.76	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked Bar Chart: 54 (Blue), 11 (Green), 9 (Yellow)]						4.57	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Stacked Bar Chart: 54 (Blue), 14 (Green), 6 (Yellow)]						4.61	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked Bar Chart: 70 (Blue), 4 (Yellow)]						4.92	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked Bar Chart: 56 (Blue), 16 (Green)]						4.69	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.66	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

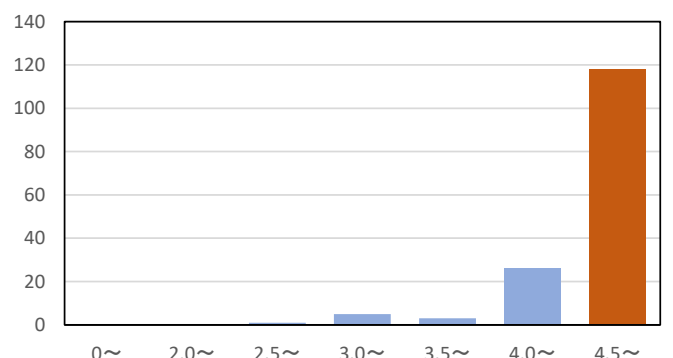


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

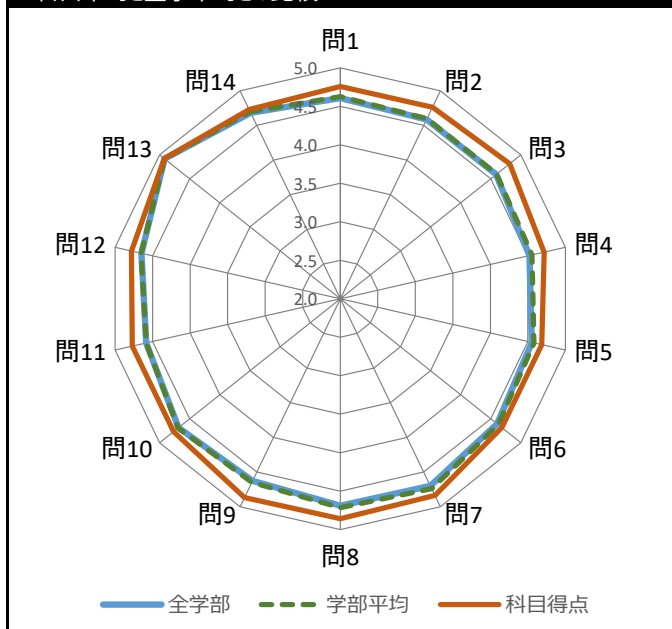


科目名	社会学概論	[1C1200]	履修者数	116	回答率	
教員名	鷹田 佳典		紙	92	79.3%	79.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.76	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree' and 20% 'Agree']						4.76	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.82	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree' and 22% 'Agree']						4.72	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.68	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.68	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 78% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.84	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 79% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.86	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 80% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.87	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 72% 'Strongly agree' and 19% 'Agree']						4.77	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 72% 'Strongly agree' and 19% 'Agree']						4.77	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 72% 'Strongly agree' and 20% 'Agree']						4.78	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 85% 'Strongly agree' and 7% 'Agree']						4.92	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.73	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.78	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

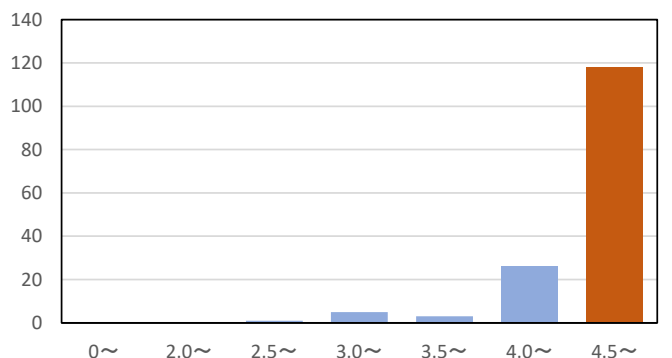


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

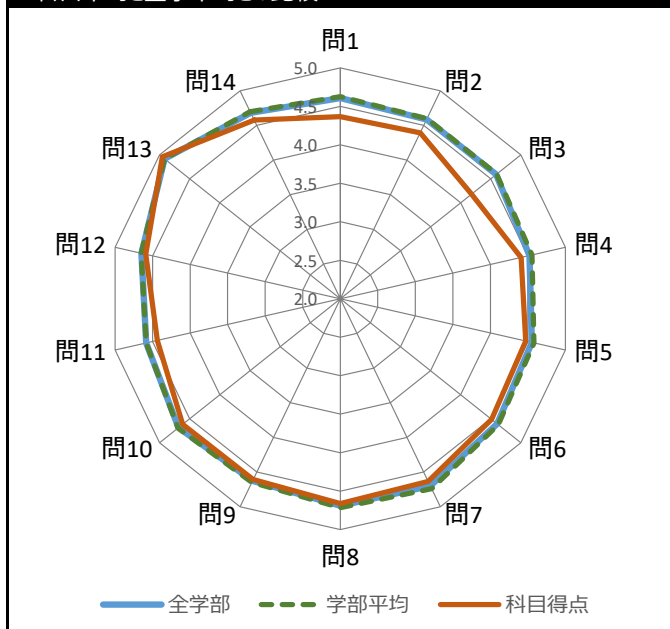


科目名	地域健康社会学	[1C1501]	履修者数	72	回答率	
教員名	若林 真美		紙	71	98.6%	98.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 33% for 'Strongly agree', 32% for 'Agree', 5% for 'Disagree', 30% for 'Strongly disagree']						4.37	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 32% for 'Strongly agree', 35% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 29% for 'Strongly disagree']						4.39	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 31% for 'Strongly agree', 27% for 'Agree', 8% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.18	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 36% for 'Strongly agree', 29% for 'Agree', 5% for 'Disagree', 30% for 'Strongly disagree']						4.41	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 7% for 'Disagree', 29% for 'Strongly disagree']						4.47	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree', 26% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 30% for 'Strongly disagree']						4.51	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree', 22% for 'Agree', 1% for 'Disagree', 29% for 'Strongly disagree']						4.63	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree', 22% for 'Agree', 1% for 'Disagree', 29% for 'Strongly disagree']						4.66	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree', 26% for 'Agree', 1% for 'Disagree', 29% for 'Strongly disagree']						4.61	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree', 23% for 'Agree', 1% for 'Disagree', 29% for 'Strongly disagree']						4.62	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 35% for 'Strongly agree', 32% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 29% for 'Strongly disagree']						4.44	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree', 27% for 'Agree', 1% for 'Disagree', 29% for 'Strongly disagree']						4.59	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 69% for 'Strongly agree', 1% for 'Disagree', 30% for 'Strongly disagree']						4.96	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree', 22% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 29% for 'Strongly disagree']						4.58	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.53	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

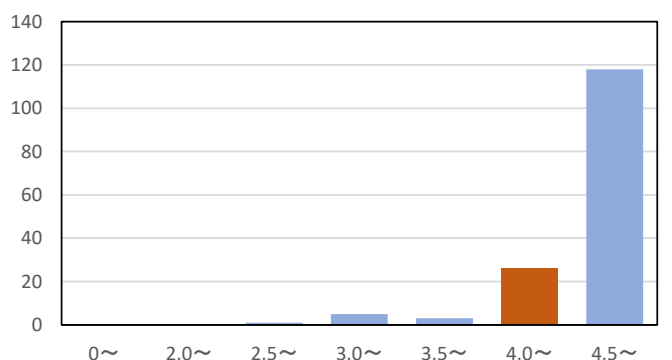


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

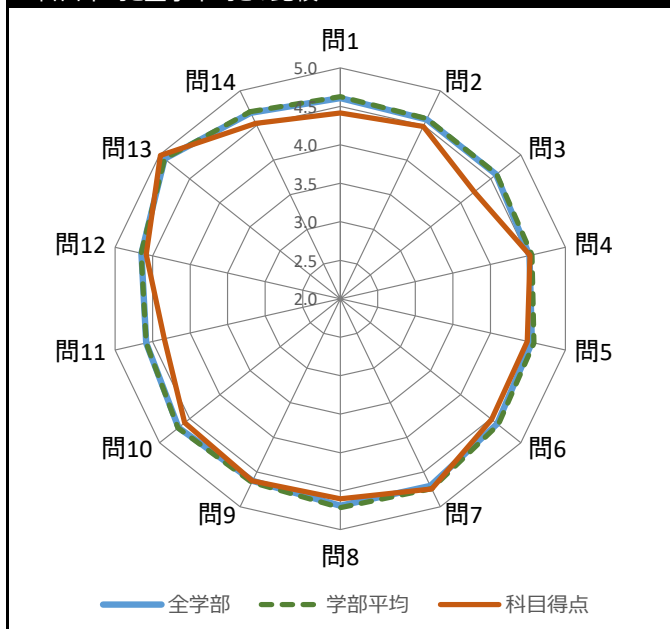


科目名	地域健康社会学	[1G1502]	履修者数	72	回答率	
教員名	若林 真美		紙	70	97.2%	97.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 31 (blue), 37 (green)]						4.41	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 36 (blue), 32 (green)]						4.49	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 26 (blue), 36 (green), 6 (yellow)]						4.23	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 38 (blue), 31 (green)]						4.53	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 37 (blue), 30 (green)]						4.49	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 39 (blue), 29 (green)]						4.51	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 53 (blue), 16 (green)]						4.74	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 45 (blue), 22 (green), 3 (yellow)]						4.60	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 47 (blue), 21 (green)]						4.63	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 43 (blue), 25 (green)]						4.59	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 32 (blue), 30 (green), 8 (yellow)]						4.34	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 44 (blue), 23 (green), 3 (yellow)]						4.59	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 69 (blue)]						4.99	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 40 (blue), 27 (green), 3 (yellow)]						4.53	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.55	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

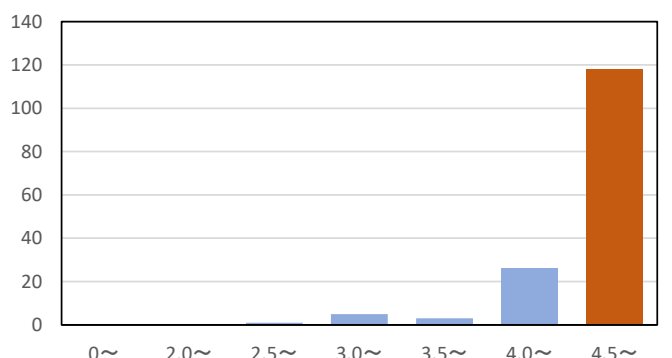


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

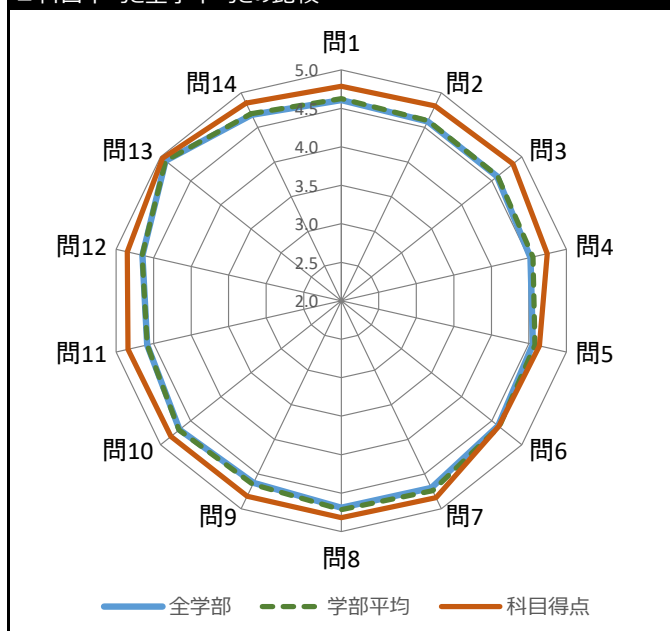


科目名	基礎数学	[1D1000]	履修者数	109	回答率	
教員名	山下 龍生		回答数	紙	94	86.2%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
86.2%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 78% blue, 12% green, 4% yellow]						4.79	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 78% blue, 14% green, 8% yellow]						4.81	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 82% blue, 10% green, 8% yellow]						4.85	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 77% blue, 11% green, 12% yellow]						4.74	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 68% blue, 19% green, 13% yellow]						4.64	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 68% blue, 18% green, 14% yellow]						4.62	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 83% blue, 8% green, 9% yellow]						4.84	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 79% blue, 13% green, 8% yellow]						4.82	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 79% blue, 13% green, 8% yellow]						4.82	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 81% blue, 10% green, 9% yellow]						4.83	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 80% blue, 13% green, 7% yellow]						4.84	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 81% blue, 12% green, 7% yellow]						4.85	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 91% blue, 3% green, 6% yellow]						4.97	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 81% blue, 12% green, 7% yellow]						4.85	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.80	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

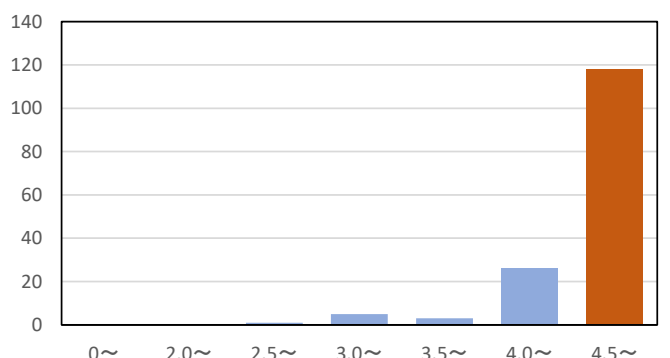


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

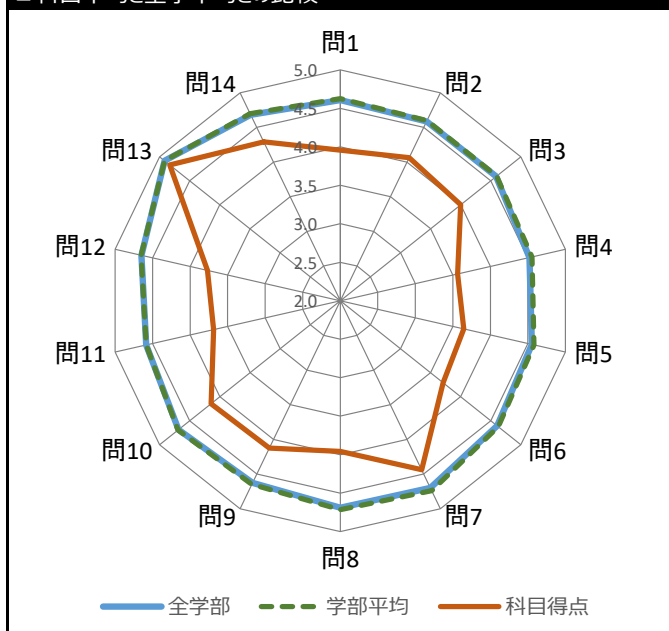


科目名	化学	[1D1400]	履修者数	62	回答率	
教員名	三好 洋		紙	48	77.4%	77.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	14	21	11				3.96	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	13	27	7				4.06	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	14	24	7	2			4.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	8	20	12	7			3.56	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	8	22	13	3	2		3.65	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	9	23	11	3	2		3.71	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	26	19	2				4.44	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	18	8	4			3.96	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	16	25	5				4.13	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	18	21	8				4.15	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	12	17	13	4	2		3.69	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	14	16	13	3	2		3.77	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	43				4		4.83	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	21	23	2				4.29	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.01	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

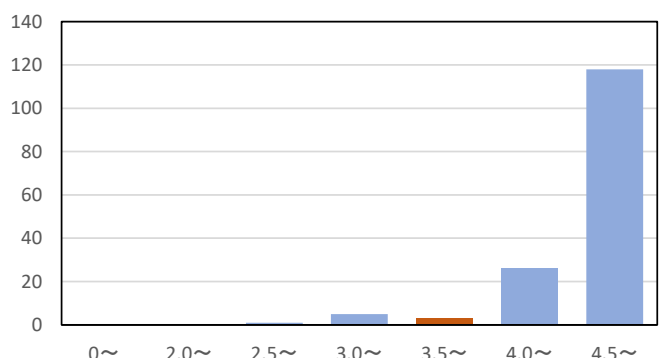


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

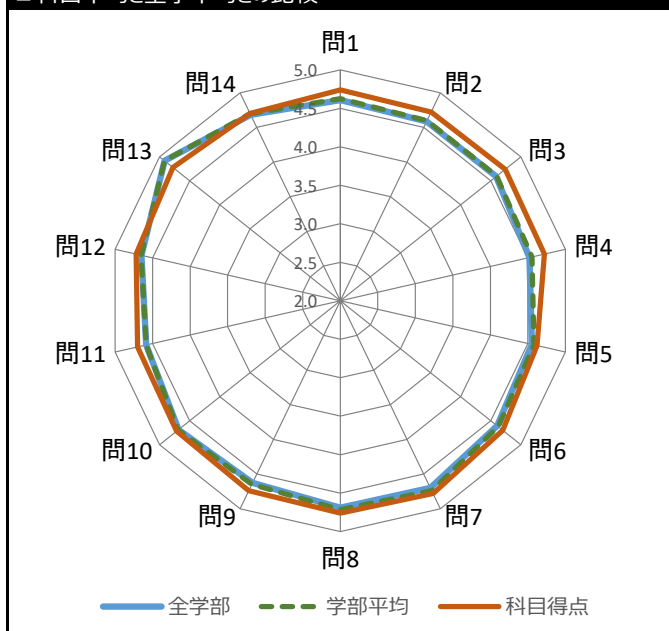


科目名	保健統計学	[1E0301]	履修者数	78	回答率	
教員名	川崎 洋平		紙	50	64.1%	64.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes' and 13 for 'No']						4.74	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 36 responses for 'Yes' and 14 for 'No']						4.72	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes' and 13 for 'No']						4.74	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 36 responses for 'Yes' and 14 for 'No']						4.72	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 35 responses for 'Yes', 12 for 'No', and 2 for 'Don't know']						4.62	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes', 11 for 'No', and 2 for 'Don't know']						4.70	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 39 responses for 'Yes' and 11 for 'No']						4.78	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 38 responses for 'Yes' and 12 for 'No']						4.76	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes' and 13 for 'No']						4.74	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 36 responses for 'Yes' and 14 for 'No']						4.72	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes', 11 for 'No', and 2 for 'Don't know']						4.70	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes' and 12 for 'No']						4.72	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 39 responses for 'Yes' and 11 for 'No']						4.78	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 35 responses for 'Yes' and 15 for 'No']						4.70	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.72	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

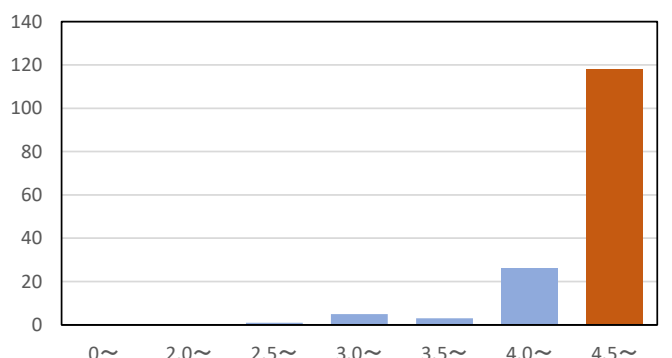


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Red]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

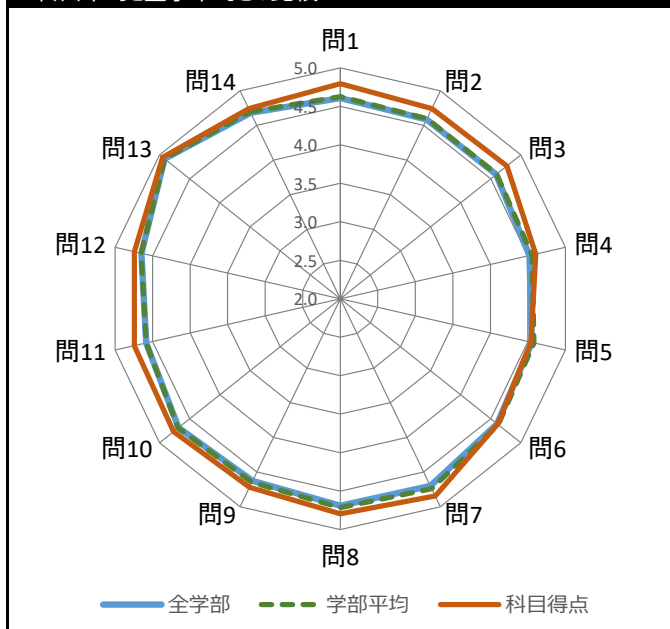


科目名	保健統計学	[1E0302]	履修者数	68	回答率	
教員名	川崎 洋平		紙	39	57.4%	57.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 32 responses for '役に立った' and 6 for '役に立たなかった']						4.79	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 31 responses for '効果的だった' and 6 for '効果的ではなかった']						4.74	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 31 responses for '適切だった' and 7 for '適切ではなかった']						4.77	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 26 responses for 'わかりやすかった' and 10 for 'わかりやすくない']						4.61	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 28 responses for '興味のあるもの' and 5 for '興味のないもの']						4.54	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 27 responses for '価値があった' and 9 for '価値がなかった']						4.62	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 34 responses for '適切だった' and 4 for '適切ではなかった']						4.85	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 33 responses for '適切だった' and 4 for '適切ではなかった']						4.79	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 31 responses for '適切だった' and 6 for '適切ではなかった']						4.72	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 31 responses for '伝わってきた' and 7 for '伝わってこなかった']						4.77	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 32 responses for '適切だった' and 5 for '適切ではなかった']						4.74	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 32 responses for '適切に回答した' and 4 for '適切に回答しなかった']						4.74	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 37 responses for '出席率が高い' and 2 for '出席率が低い']						4.95	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 33 responses for '意欲的・積極的に取り組んだ' and 4 for '意欲的・積極的に取り組まなかった']						4.74	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.74	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

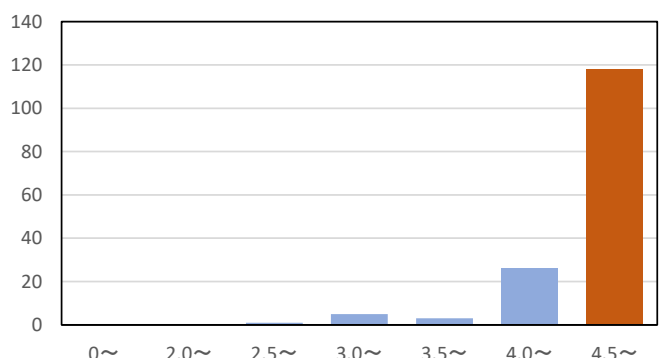


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

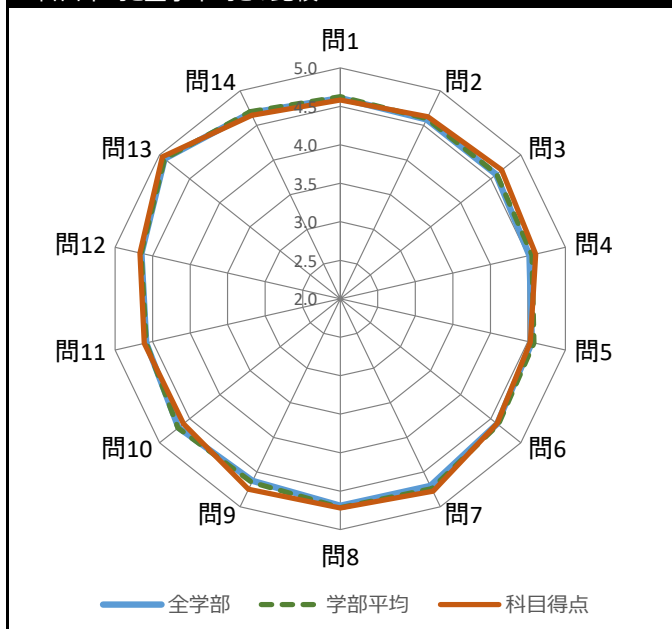


科目名	情報リテラシー	[1E0400]	履修者数	145	回答率	
教員名	川崎 洋平		紙	139	95.9%	95.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.58	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.63	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.68	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.60	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.53	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.60	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.78	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.72	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.75	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.60	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.61	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.67	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.96	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.65	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.67	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

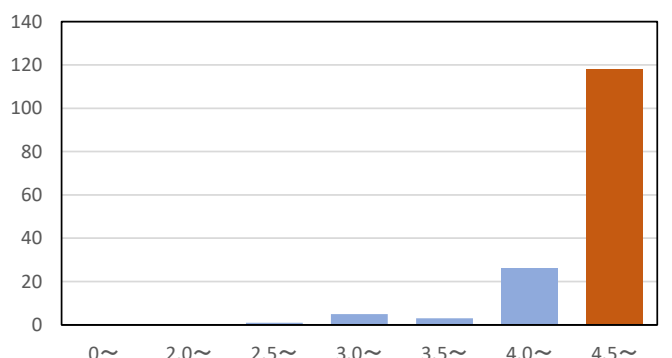


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

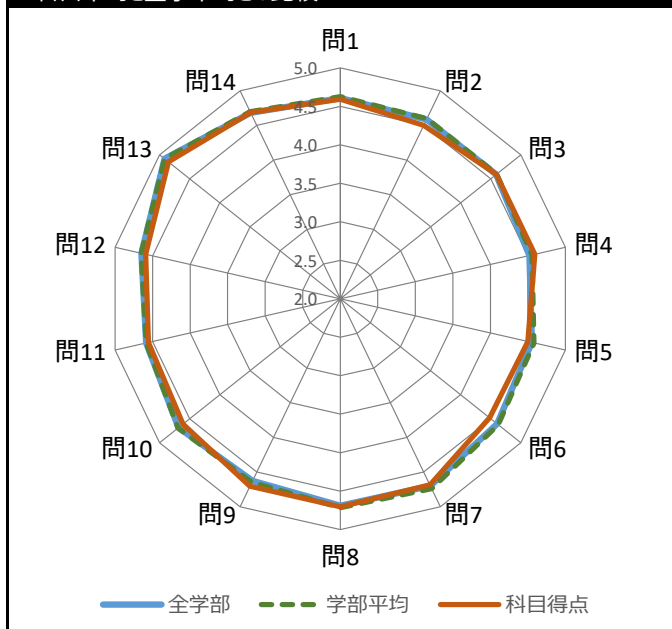


科目名	日本語の表現	[1F0101]	履修者数	67	回答率	
教員名	越後 敬子		回 紙	54	80.6%	80.6%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.59	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.50	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.59	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.59	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.50	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.48	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.69	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.70	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.70	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.61	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.56	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							4.59	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.85	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.69	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.62	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

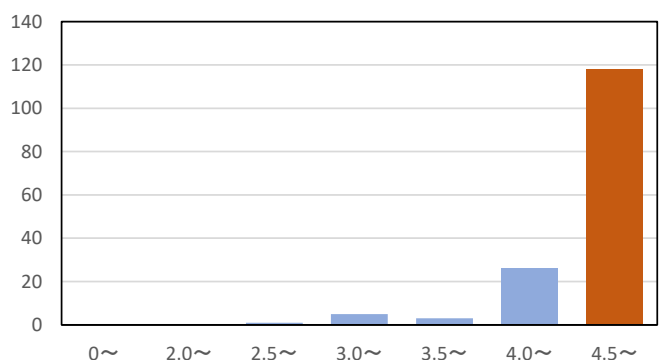


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

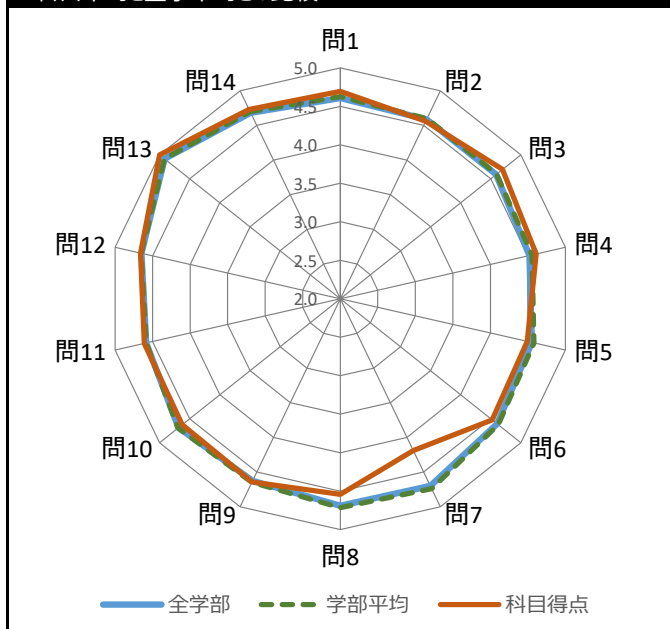


科目名	日本語の表現	[1F0102]	履修者数	62	回答率	
教員名	越後 敬子		回 紙	59	95.2%	95.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 42 (blue), 16 (green)]						4.69	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 37 (blue), 18 (green), 4 (yellow)]						4.56	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 44 (blue), 12 (green), 3 (yellow)]						4.69	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 41 (blue), 13 (green), 5 (yellow)]						4.61	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 35 (blue), 19 (green), 4 (yellow)]						4.49	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 37 (blue), 19 (green), 1 (yellow), 1 (orange)]						4.53	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 34 (blue), 9 (green), 9 (yellow), 4 (orange), 2 (red)]						4.19	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 40 (blue), 13 (green), 4 (yellow), 2 (orange)]						4.54	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 43 (blue), 13 (green), 2 (yellow), 1 (orange)]						4.64	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 41 (blue), 14 (green), 4 (yellow)]						4.63	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 41 (blue), 13 (green), 5 (yellow), 1 (orange)]						4.61	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 43 (blue), 12 (green), 4 (yellow)]						4.66	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 59 (blue)]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 45 (blue), 12 (green), 2 (yellow)]						4.73	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.61	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

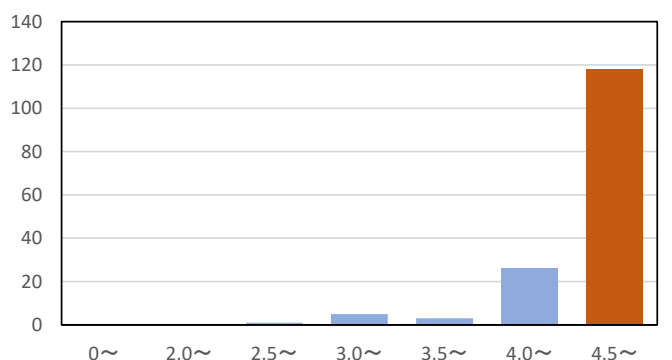


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

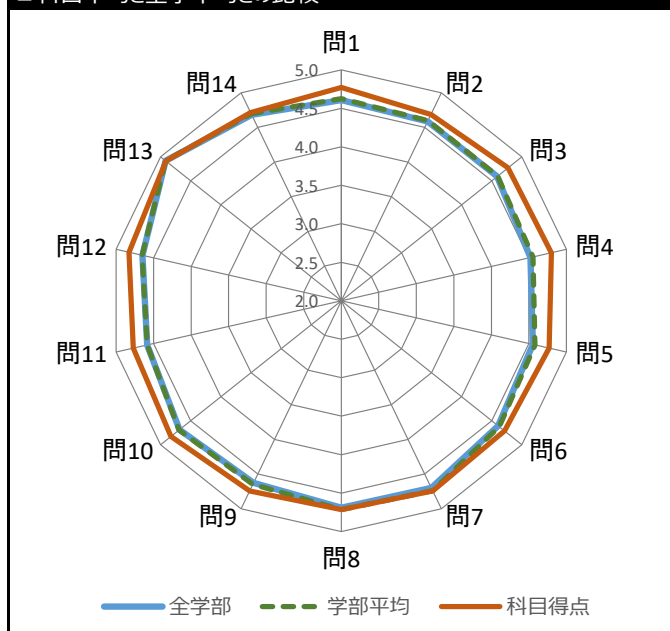


科目名	英語R1-1	[1F0201]	履修者数	36	回答率	
教員名	川崎 修一		紙	35	97.2%	97.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 28 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']						4.77	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 27 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']						4.69	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 28 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']						4.77	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 29 responses for 'Yes' and 5 for 'Somewhat']						4.80	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 28 responses for 'Yes' and 6 for 'Somewhat']						4.77	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 27 responses for 'Yes', 6 for 'Somewhat', and 2 for 'No']						4.71	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 28 responses for 'Yes', 5 for 'Somewhat', and 2 for 'No']						4.74	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 27 responses for 'Yes', 6 for 'Somewhat', and 2 for 'No']						4.71	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 28 responses for 'Yes', 5 for 'Somewhat', and 2 for 'No']						4.74	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 30 responses for 'Yes' and 4 for 'Somewhat']						4.83	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 28 responses for 'Yes', 6 for 'Somewhat', and 2 for 'No']						4.77	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 30 responses for 'Yes' and 4 for 'Somewhat']						4.83	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 33 responses for 'Yes' and 1 for 'Somewhat']						4.91	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 27 responses for 'Yes', 6 for 'Somewhat', and 2 for 'No']						4.71	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.77	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

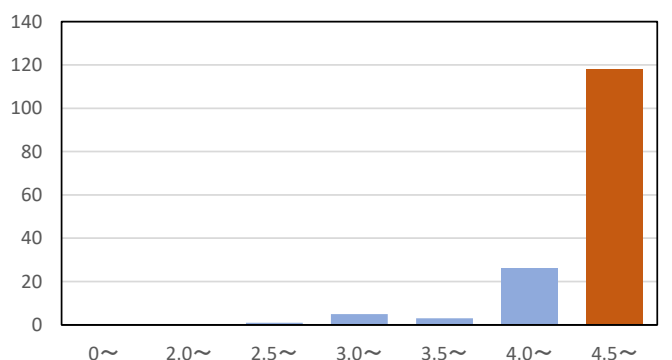


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

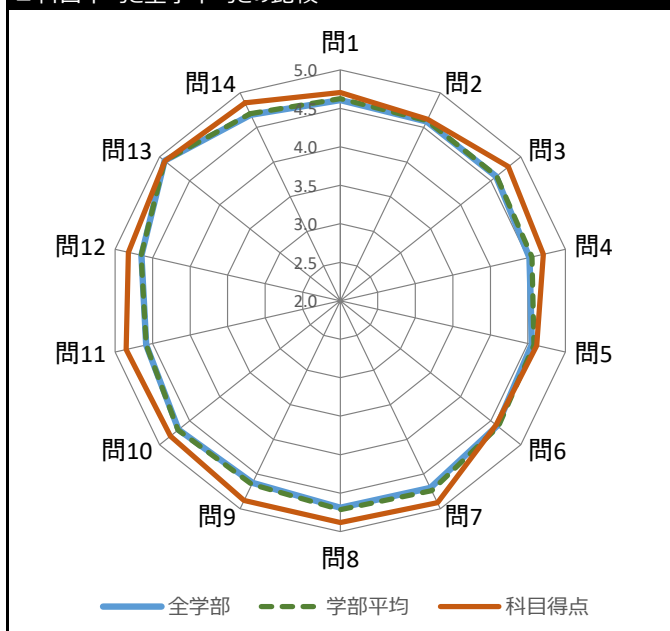


科目名	英語R1-1	[1F0202]	履修者数	38	回答率	
教員名	遠藤 花子		紙	34	89.5%	89.5%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.71	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.62	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.79	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.71	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.62	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.59	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.91	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.88	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.88	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.82	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.85	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.82	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.91	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.85	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.78	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

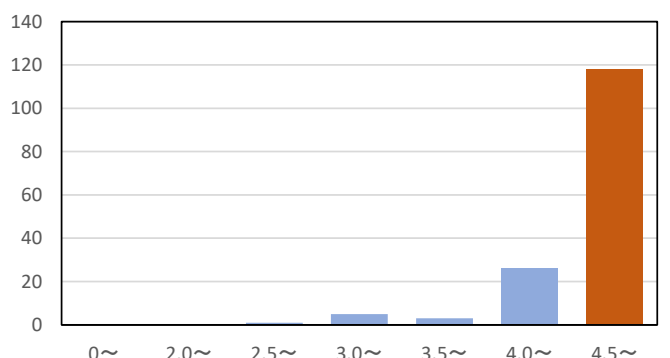


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

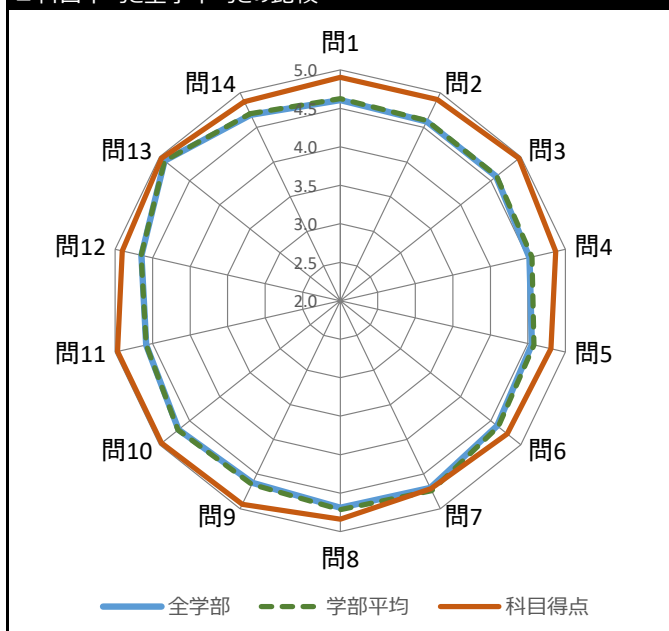


科目名	英語R1-1	[1F0203]	履修者数	33	回答率	
教員名	川崎 修一		回答数	紙	31	93.9%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
93.9%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 28 blue, 3 green]						4.90	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 28 blue, 3 green]						4.90	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 30 blue, 1 green]						4.97	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 27 blue, 4 green]						4.87	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 25 blue, 6 green]						4.81	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 24 blue, 7 green]						4.77	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 24 blue, 5 green, 2 yellow]						4.71	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 27 blue, 3 green, 1 yellow]						4.84	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 29 blue, 2 green]						4.94	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 30 blue, 1 green]						4.97	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 30 blue, 1 green]						4.97	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 29 blue, 1 green, 1 yellow]						4.90	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 30 blue, 1 green]						4.97	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 28 blue, 2 green, 1 yellow]						4.87	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.88	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

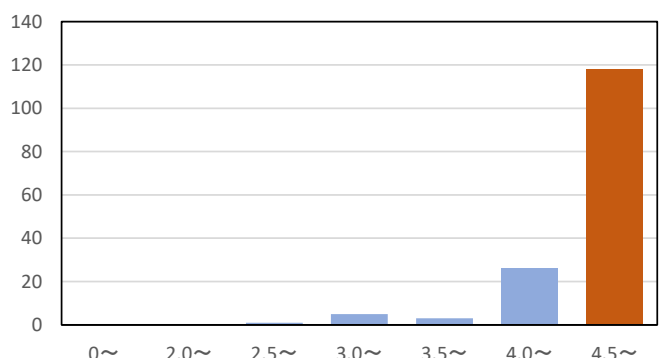


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

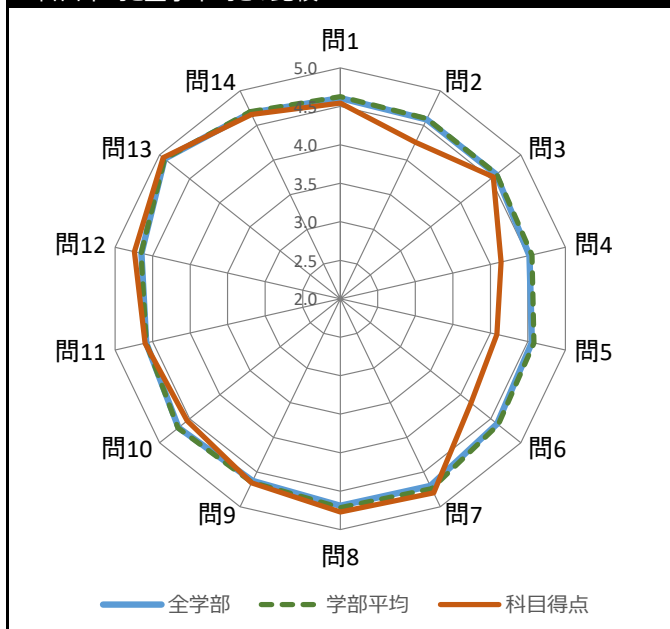


科目名	英語R1-1	[1F0204]	履修者数	39	回答率	
教員名	遠藤 花子		回 紙	35	89.7%	89.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 20% for score 5, 14% for score 4]						4.54	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 15% for score 5, 14% for score 4, 6% for score 3]						4.26	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 20% for score 5, 14% for score 4]						4.54	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 14% for score 5, 16% for score 4, 2% for score 3, 2% for score 2]						4.14	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 14% for score 5, 13% for score 4, 6% for score 3, 1% for score 2]						4.09	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 13% for score 5, 17% for score 4, 4% for score 3]						4.17	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 28% for score 5, 7% for score 4]						4.80	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 27% for score 5, 8% for score 4]						4.77	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 24% for score 5, 10% for score 4]						4.66	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 22% for score 5, 12% for score 4]						4.54	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 23% for score 5, 10% for score 4, 2% for score 3]						4.60	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 26% for score 5, 9% for score 4]						4.74	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 33% for score 5, 2% for score 4]						4.94	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 23% for score 5, 12% for score 4]						4.66	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.53	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

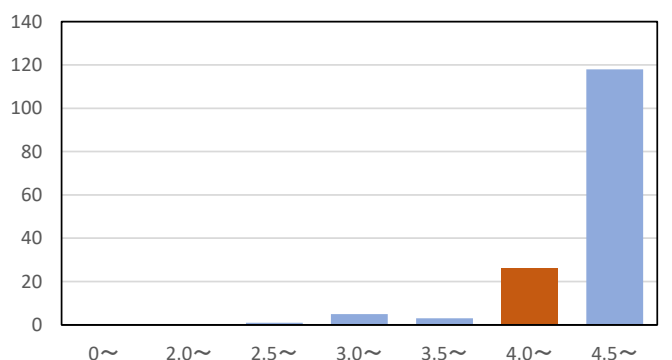


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

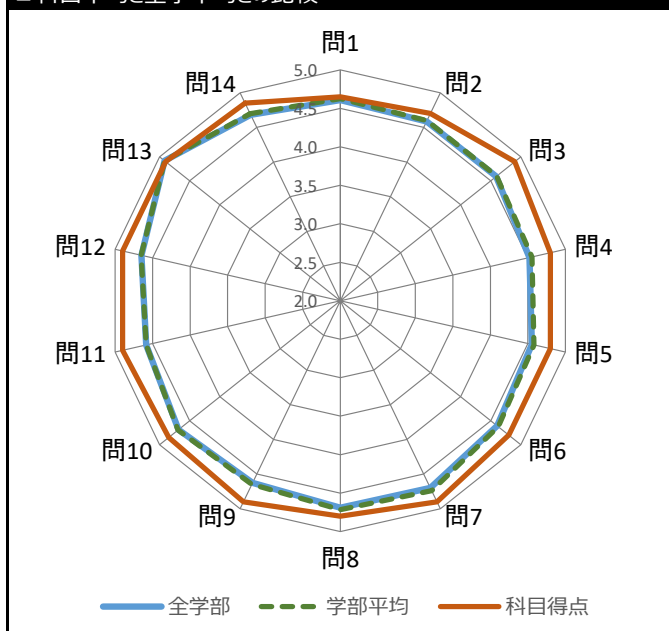


科目名	英語W1-1	[1F0401]	履修者数	27	回答率	
教員名	Sam Bamkin		紙	20	74.1%	74.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 13 (blue), 7 (green)]						4.65	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 14 (blue), 6 (green)]						4.70	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 18 (blue), 2 (green)]						4.90	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 16 (blue), 4 (green)]						4.80	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 16 (blue), 4 (green)]						4.80	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 16 (blue), 4 (green)]						4.80	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 18 (blue), 2 (green)]						4.90	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 16 (blue), 4 (green)]						4.80	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 18 (blue), 2 (green)]						4.90	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 17 (blue), 3 (green)]						4.85	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 18 (blue), 2 (green)]						4.90	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 18 (blue), 2 (green)]						4.90	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 18 (blue), 2 (green)]						4.90	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 17 (blue), 3 (green)]						4.85	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.83	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

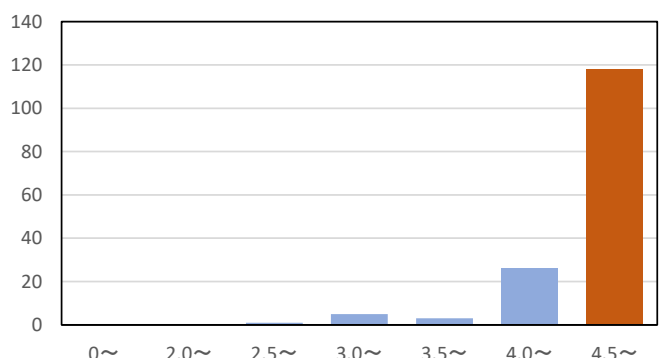


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

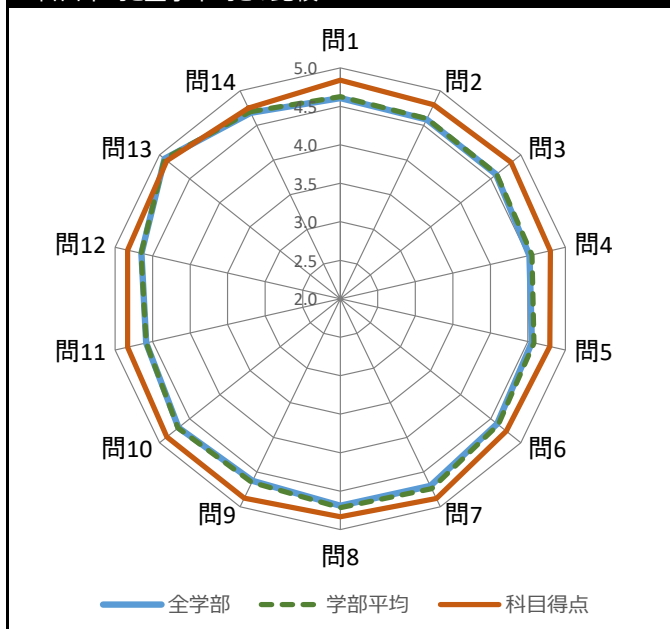


科目名	英語W1-1	[1F0402]	履修者数	29	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst		回答数	紙	25	86.2%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
86.2%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.84	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.80	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.84	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.80	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.79	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.76	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.88	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.83	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.88	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.88	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.83	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.83	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.88	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.75	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.83	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

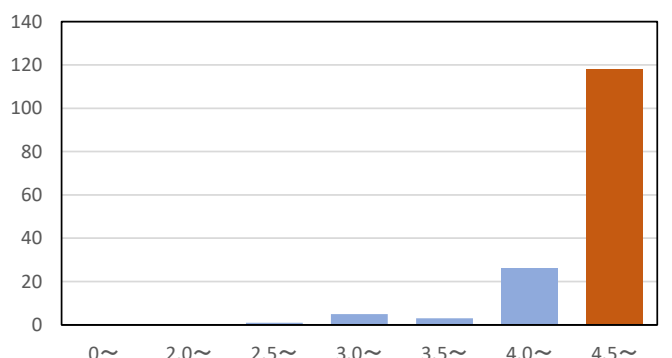


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

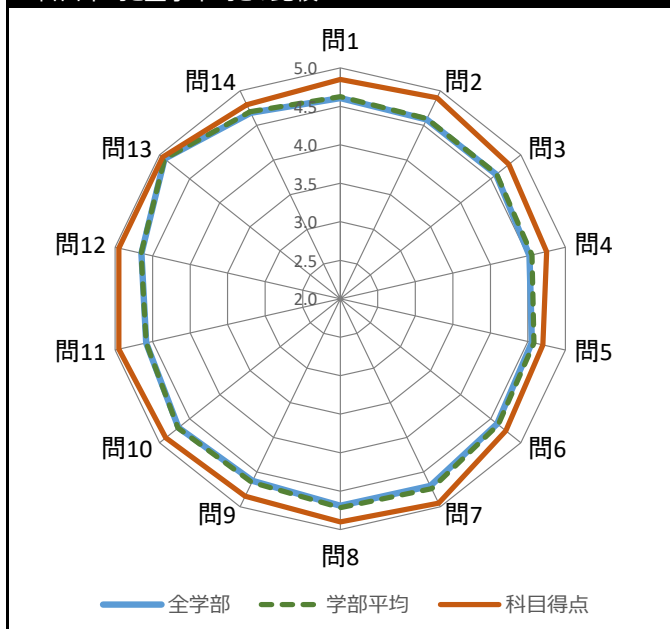


科目名	英語W1-1	[1F0403]	履修者数	22	回答率	
教員名	Sam Bamkin		紙	20	90.9%	90.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.85	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.90	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.80	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.75	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.70	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.75	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.95	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.90	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.85	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.90	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.95	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.95	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.95	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.80	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.86	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

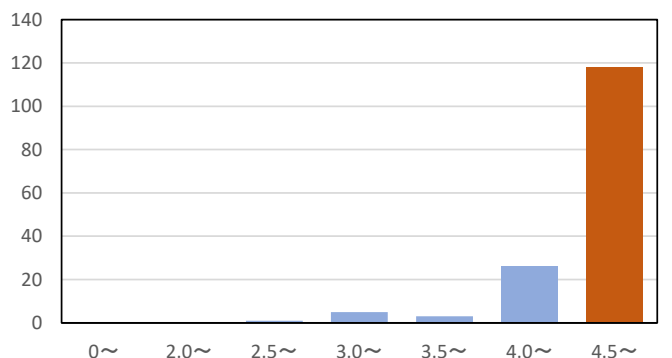


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

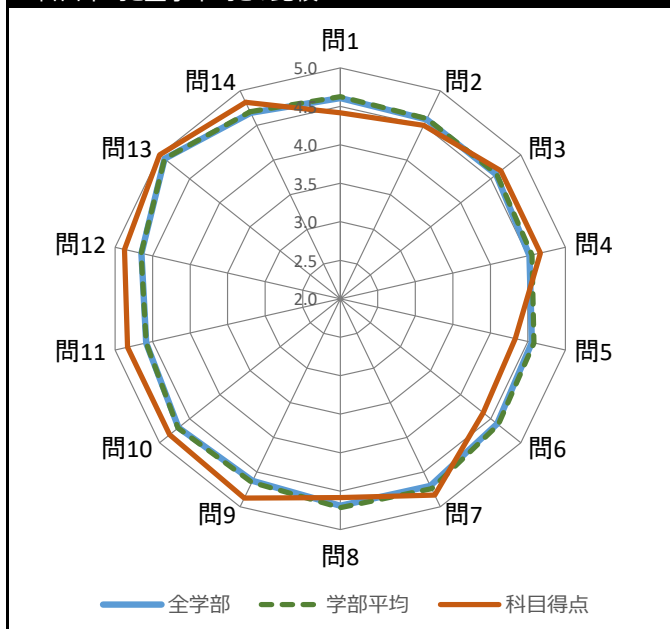


科目名	英語W1-1	[1F0404]	履修者数	26	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst		回 紙	24	92.3%	92.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 13 (blue), 9 (green), 1 (yellow), 1 (orange)]						4.42	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 15 (blue), 7 (green), 1 (yellow), 1 (orange)]						4.50	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 18 (blue), 4 (green), 2 (yellow), 1 (orange)]						4.67	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 17 (blue), 6 (green), 1 (yellow), 1 (orange)]						4.67	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 14 (blue), 6 (green), 3 (yellow), 1 (orange)]						4.33	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 15 (blue), 5 (green), 3 (yellow), 1 (orange)]						4.38	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 20 (blue), 4 (green)]						4.83	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 17 (blue), 6 (green), 1 (yellow), 1 (orange)]						4.58	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 21 (blue), 3 (green)]						4.88	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 20 (blue), 4 (green)]						4.83	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 21 (blue), 2 (green), 1 (yellow), 1 (orange)]						4.83	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 21 (blue), 3 (green)]						4.88	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 24 (blue)]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 20 (blue), 4 (green)]						4.83	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.69	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

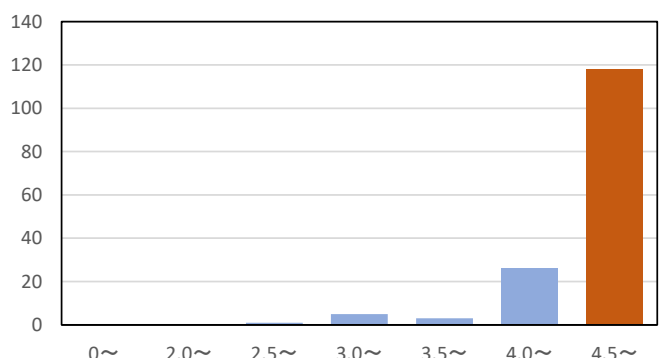


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

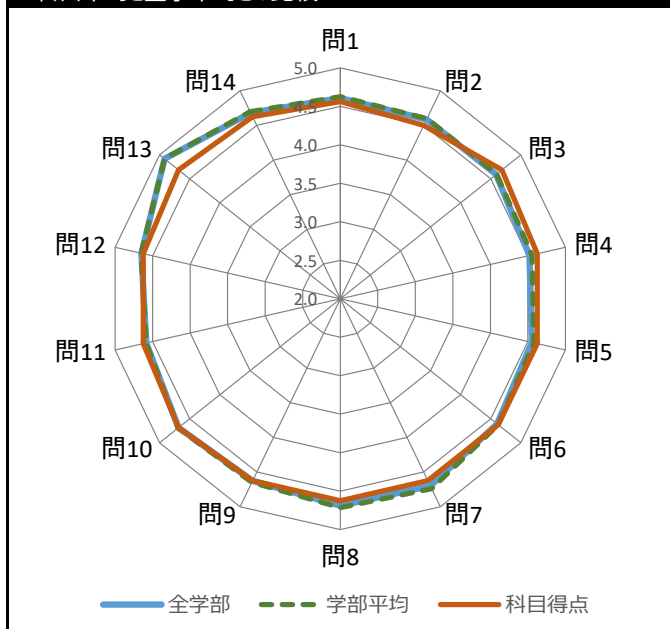


科目名	英語LS1-1	[1F0601]	履修者数	16	回答率	
教員名	Benjamin Tutcher		回答数	紙	16	100.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
100.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 12 '5' responses, 3 '4' responses, 1 '3' response]						4.56	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 11 '5' responses, 4 '4' responses, 1 '3' response]						4.50	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 14 '5' responses, 1 '4' response, 1 '3' response]						4.69	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 2 '4' responses, 1 '3' response]						4.63	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 2 '4' responses, 1 '3' response]						4.63	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 2 '4' responses, 1 '3' response]						4.63	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 2 '4' responses, 1 '3' response]						4.63	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 2 '4' responses, 1 '3' response]						4.63	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 2 '4' responses, 1 '3' response]						4.63	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 14 '5' responses, 1 '4' response, 1 '3' response]						4.69	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 2 '4' responses, 1 '3' response]						4.63	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 2 '4' responses, 1 '3' response]						4.63	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 14 '5' responses, 1 '4' response, 1 '3' response]						4.69	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 13 '5' responses, 2 '4' responses, 1 '3' response]						4.63	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.63	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

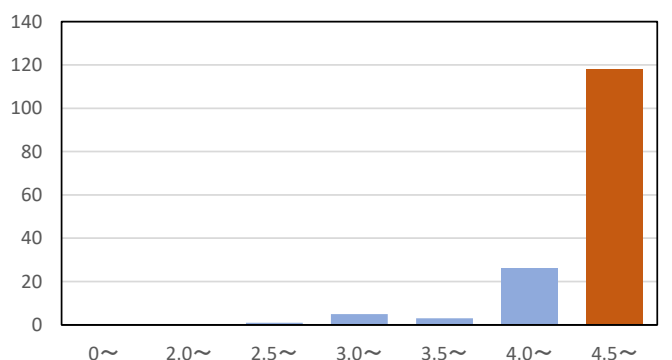


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

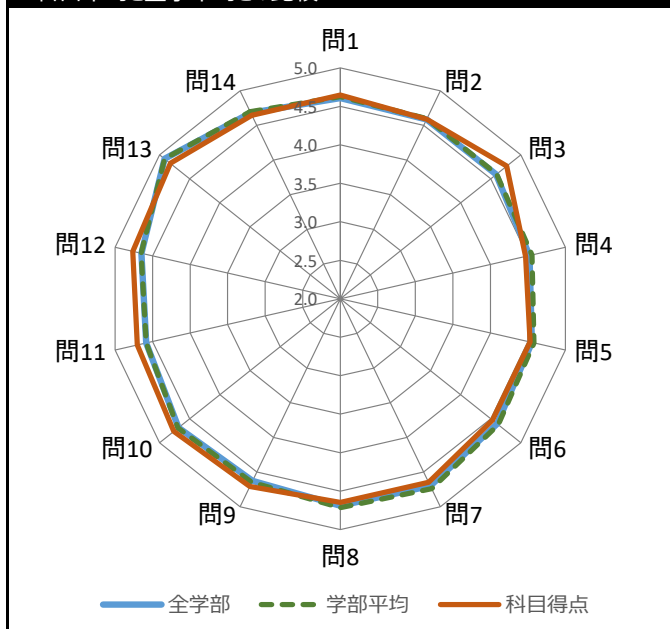


科目名	英語LS1-1	[1F0602]	履修者数	19	回答率	
教員名	Sam Bamkin		回答数	紙	17	89.5%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
89.5%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.65	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree', 5 'Agree', 1 'Disagree']						4.59	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 13 'Strongly agree' and 4 'Agree']						4.76	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 9 'Strongly agree', 7 'Agree', 1 'Disagree']						4.47	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 10 'Strongly agree', 6 'Agree', 1 'Disagree']						4.53	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 10 'Strongly agree', 6 'Agree', 1 'Disagree']						4.53	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.65	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.65	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree' and 5 'Agree']						4.71	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 13 'Strongly agree' and 4 'Agree']						4.76	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree' and 5 'Agree']						4.71	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 13 'Strongly agree' and 4 'Agree']						4.76	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 14 'Strongly agree' and 3 'Agree']						4.82	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree' and 6 'Agree']						4.65	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.66	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

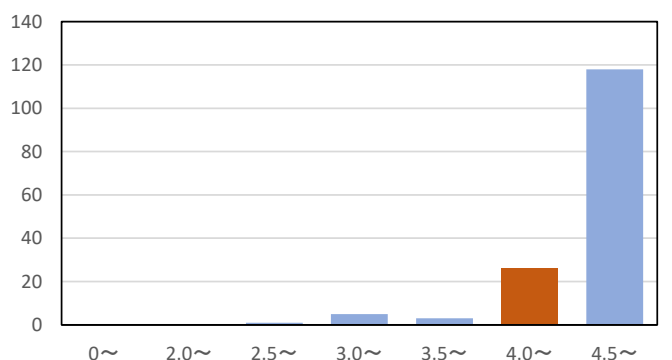


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

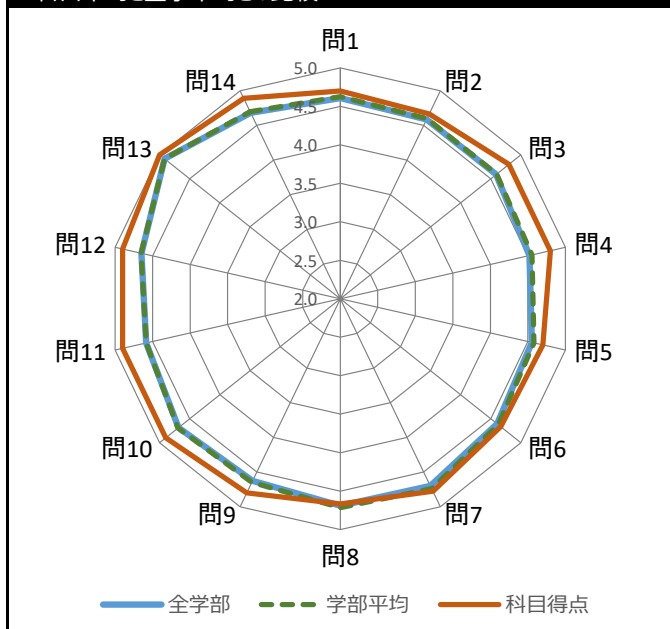


科目名	英語LS1-1	[1F0603]	履修者数	18	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst		回答数	紙	10	55.6%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
55.6%						

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 7 responses for 'Yes' and 3 for 'No']						4.70	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 6 responses for 'Yes', 3 for 'No', 1 for 'Don't know']						4.67	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes' and 2 for 'No']						4.80	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes' and 2 for 'No']						4.80	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 7 responses for 'Yes' and 3 for 'No']						4.70	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 6 responses for 'Yes', 3 for 'No', 1 for 'Don't know']						4.67	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 7 responses for 'Yes', 2 for 'No', 1 for 'Don't know']						4.78	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 6 responses for 'Yes', 3 for 'No', 1 for 'Don't know']						4.67	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes' and 2 for 'No']						4.80	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 9 responses for 'Yes' and 1 for 'No']						4.90	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 9 responses for 'Yes' and 1 for 'No']						4.90	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 9 responses for 'Yes' and 1 for 'No']						4.90	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 9 responses for 'Yes' and 1 for 'No']						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 8 responses for 'Yes', 1 for 'No', 1 for 'Don't know']						4.89	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.80	4.66	4.64

■科目平均と全学部平均との比較

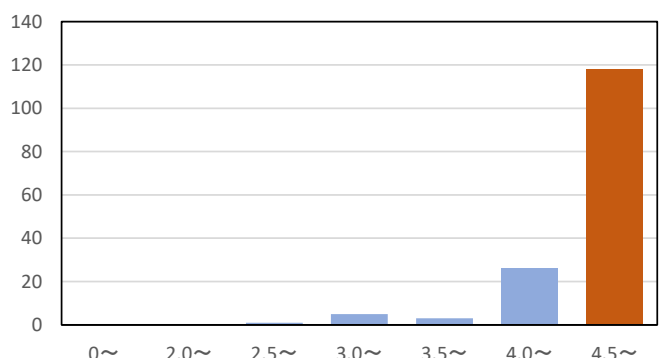


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

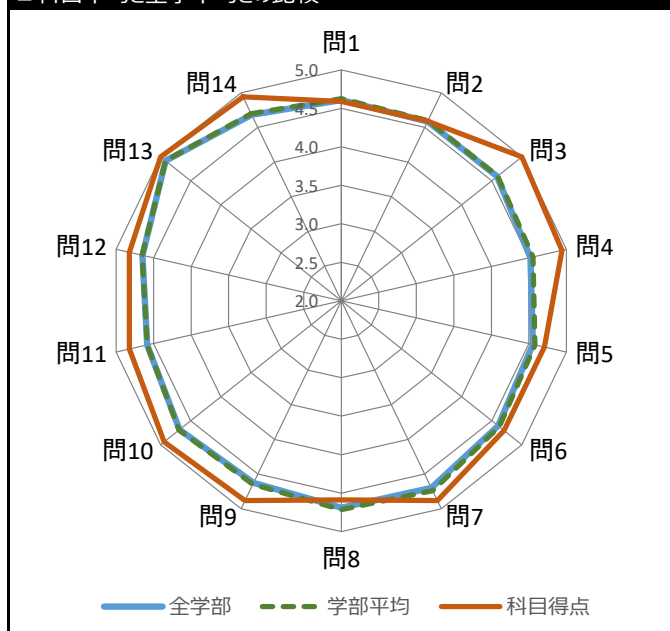


科目名	英語LS1-1	[1F0604]	履修者数	17	回答率	
教員名	Benjamin Tutcher		回答数	紙	17	100.0%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
					100.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 12 blue, 3 green, 2 orange]						4.59	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 11 blue, 5 green, 1 orange]						4.59	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 17 blue]						5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 16 blue, 1 green]						4.94	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 12 blue, 5 green]						4.71	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 13 blue, 3 green, 1 orange]						4.71	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 15 blue, 2 green]						4.88	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 12 blue, 3 green, 2 orange]						4.59	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 15 blue, 2 green]						4.88	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 16 blue, 1 green]						4.94	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 15 blue, 1 green, 1 orange]						4.82	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 15 blue, 1 green, 1 orange]						4.82	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 17 blue]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 16 blue, 1 green]						4.94	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.82	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

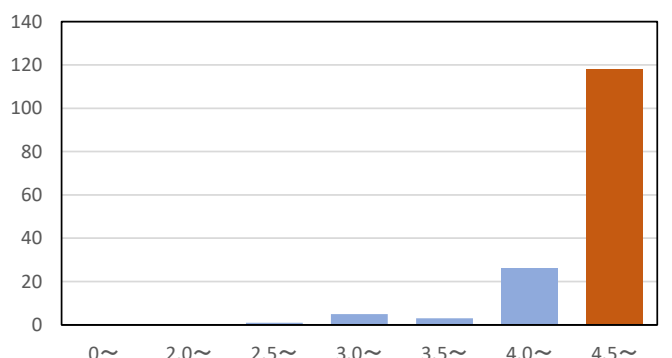


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

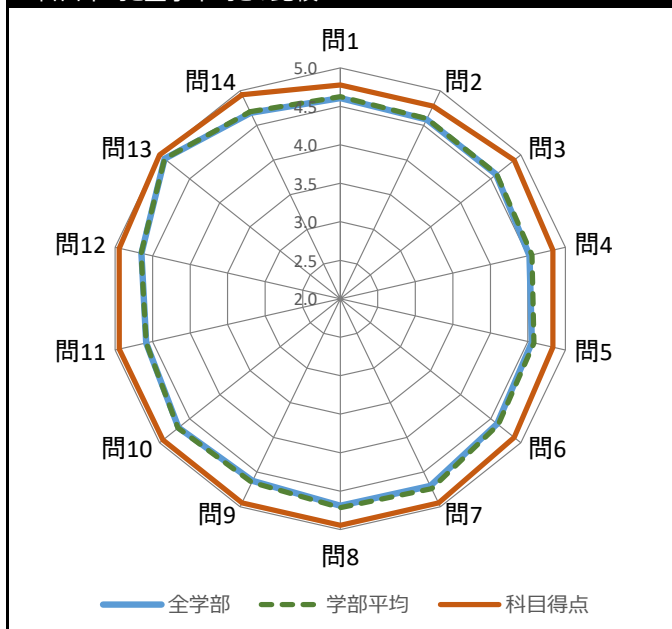


科目名	英語LS1-1	[1F0605]	履修者数	18	回答率	
教員名	Sam Bamkin		紙	18	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 14 blue, 4 green]						4.78	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 14 blue, 4 green]						4.78	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 16 blue, 2 green]						4.89	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 15 blue, 3 green]						4.83	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 15 blue, 3 green]						4.83	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 16 blue, 2 green]						4.89	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 17 blue, 1 green]						4.94	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 17 blue, 1 green]						4.94	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 17 blue, 1 green]						4.94	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 17 blue, 1 green]						4.94	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 17 blue, 1 green]						4.94	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 17 blue, 1 green]						4.94	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 18 blue]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 17 blue, 1 green]						4.94	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.90	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

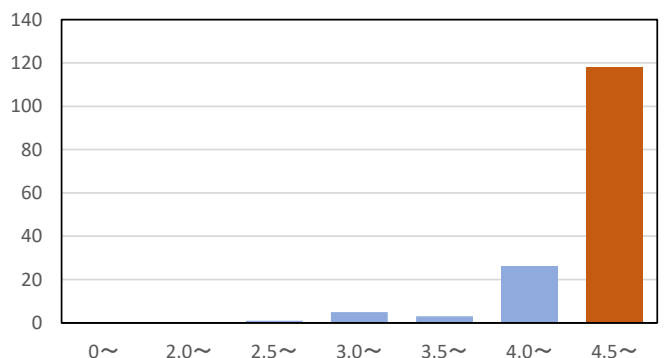


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

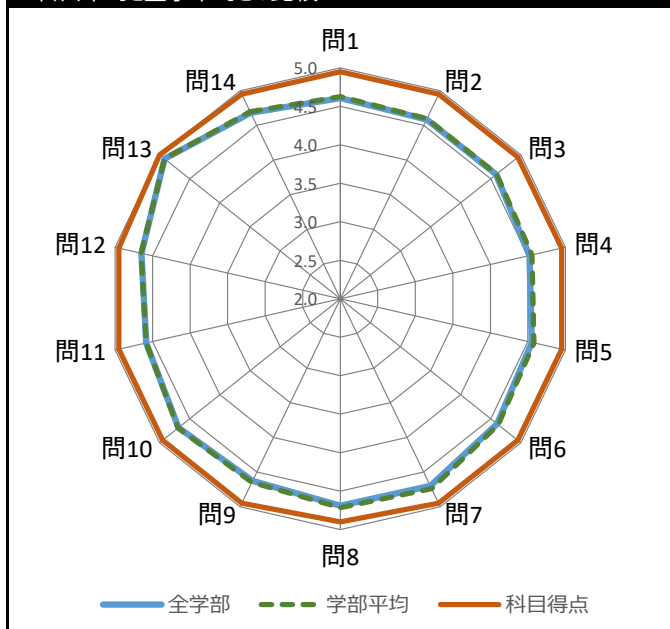


科目名	英語LS1-1	[1F0606]	履修者数	20	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst		回答数	紙	20	100.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
100.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.95	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.95	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.95	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.95	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.95	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.95	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.95	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.90	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.95	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.95	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.95	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.95	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 20 responses]							5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 19 responses]						1	4.95	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.95	4.66	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

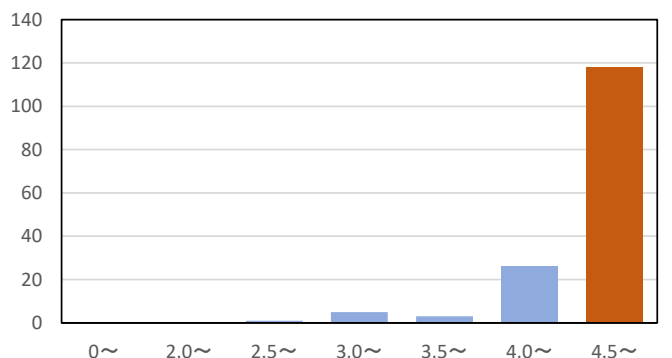


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

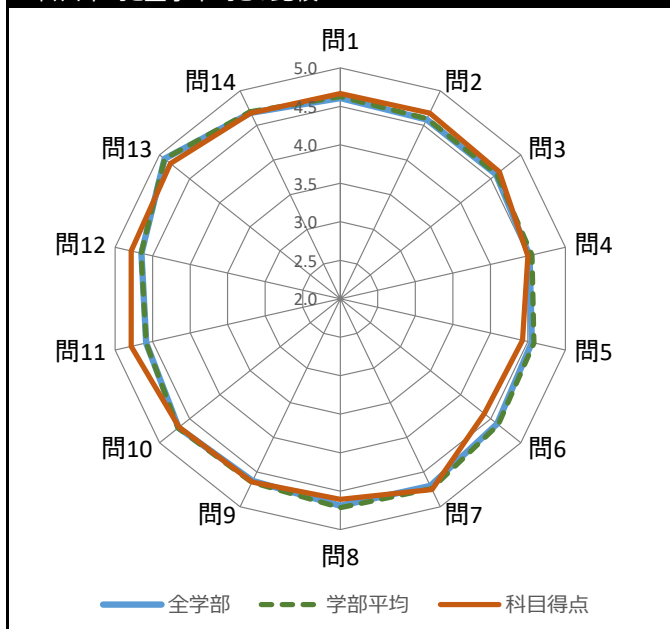


科目名	英語R2-1	[1F0801]	履修者数	35	回答率	
教員名	皆川 健次郎		回答数	紙	28	80.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
80.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart: 18 (Blue), 9 (Green), 1 (Yellow)]						4.67	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked Bar Chart: 19 (Blue), 9 (Green)]						4.68	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 19 (Blue), 8 (Green), 1 (Yellow)]						4.64	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked Bar Chart: 19 (Blue), 5 (Green), 3 (Yellow), 1 (Orange)]						4.50	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked Bar Chart: 16 (Blue), 8 (Green), 4 (Yellow)]						4.43	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked Bar Chart: 16 (Blue), 7 (Green), 5 (Yellow)]						4.39	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked Bar Chart: 21 (Blue), 7 (Green)]						4.75	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked Bar Chart: 19 (Blue), 7 (Green), 2 (Yellow)]						4.61	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 19 (Blue), 8 (Green), 1 (Yellow)]						4.64	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart: 19 (Blue), 9 (Green)]						4.68	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked Bar Chart: 22 (Blue), 6 (Green)]						4.79	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked Bar Chart: 22 (Blue), 6 (Green)]						4.79	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked Bar Chart: 23 (Blue), 5 (Green)]						4.82	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked Bar Chart: 20 (Blue), 7 (Green), 1 (Yellow)]						4.68	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.65	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

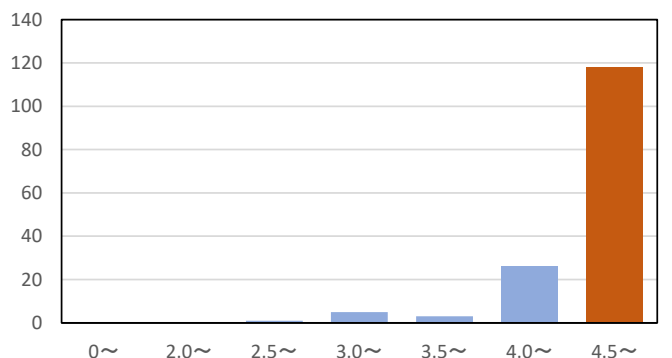


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

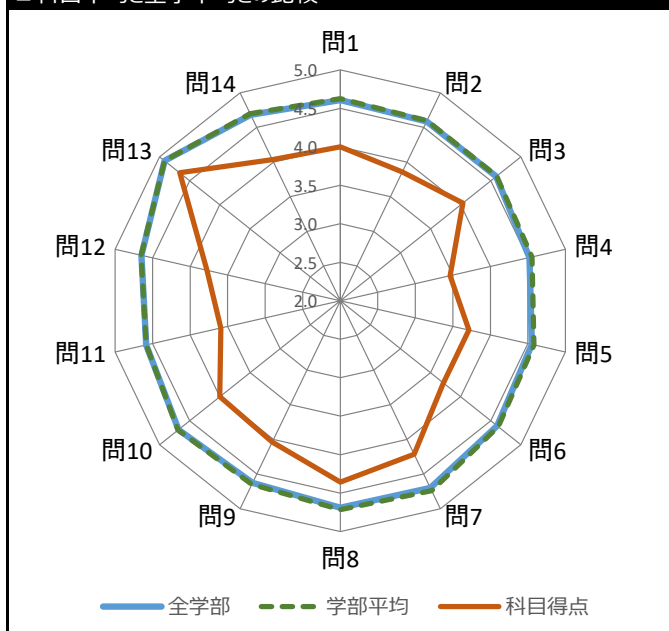


科目名	英語R2-1	[1F0802]	履修者数	35	回答率	
教員名	武久 智一		回答数	紙	28	80.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
80.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7	14	7				4.00	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7	12	7	2			3.86	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	10	3	2	1		4.04	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	7	5	11	4	1		3.46	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	8	6	12	2			3.71	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	8	6	12	2			3.71	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	14	8	4	2			4.21	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	13	12	3				4.36	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	11	8	6	2	1		4.04	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	10	8	8	1	1		4.00	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7	7	9	3	1		3.59	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	8	9	7	2	1		3.78	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	21	3	3	1			4.67	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	12	6	9	1			4.04	4.70	4.68
問1~14全問平均								3.96	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

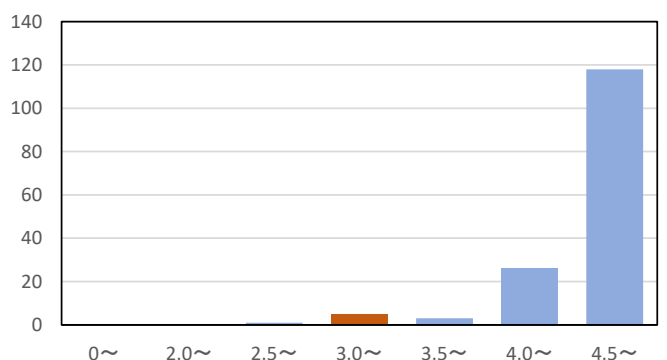


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

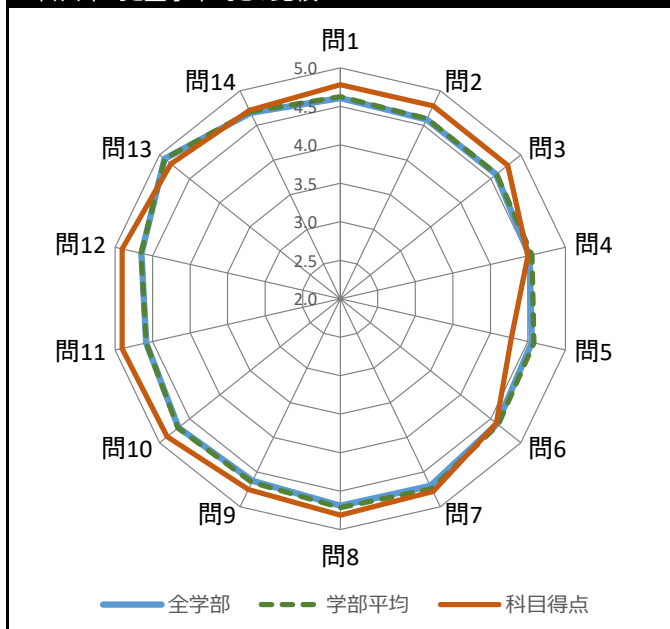


科目名	英語R2-1	[1F0803]	履修者数	38	回答率	
教員名	皆川 健次郎		回答数	紙	32	84.2%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
84.2%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 7 for 'No']						4.78	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.78	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.78	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 19 responses for 'Yes', 11 for 'No', and 1 for 'Don't know']						4.50	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 17 responses for 'Yes', 8 for 'No', and 6 for 'Don't know']						4.28	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 20 responses for 'Yes' and 11 for 'No']						4.59	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.78	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.81	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 25 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.75	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 28 responses for 'Yes' and 4 for 'No']						4.88	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 29 responses for 'Yes' and 3 for 'No']						4.91	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 29 responses for 'Yes' and 3 for 'No']						4.91	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 26 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.81	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 24 responses for 'Yes' and 7 for 'No']						4.72	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.73	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

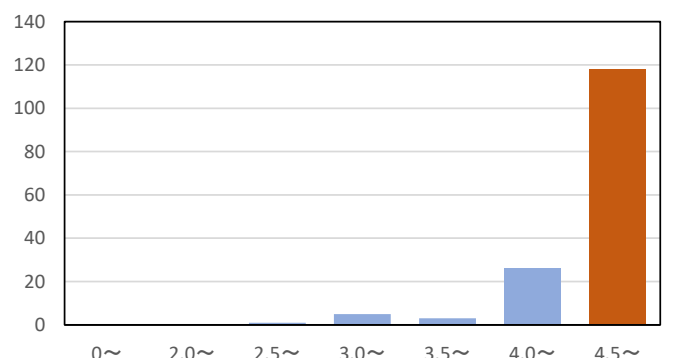


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

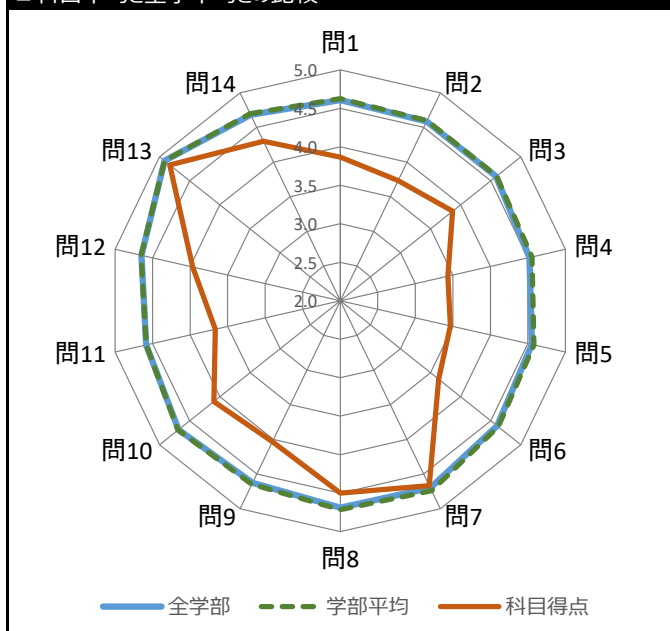


科目名	英語R2-1	[1F0804]	履修者数	38	回答率	
教員名	武久 智一		回答数	紙	30	78.9%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
78.9%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	10	11	5	3	1		3.87	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	10	10	3	6	1		3.73	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	9	6	3	1		3.87	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	8	8	5	7	2		3.43	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	9	9	4	3	5		3.47	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	9	10	4	5	2		3.63	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	21	8	1				4.67	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	19	8	2	1			4.50	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	14	8	4	3	1		4.03	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	13	9	6	2			4.10	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	9	9	6	5	1		3.67	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	11	9	8	2			3.97	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	25	5					4.83	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16	10	2	1	1		4.30	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.00	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

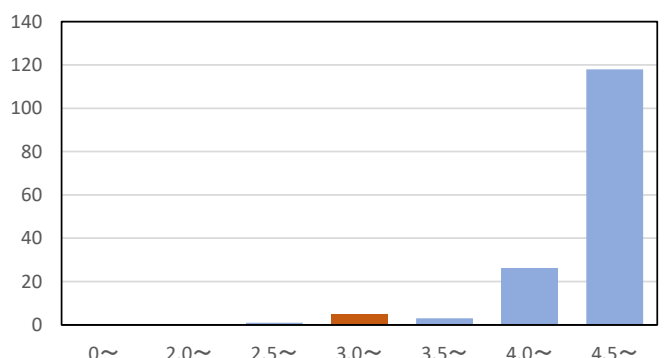


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

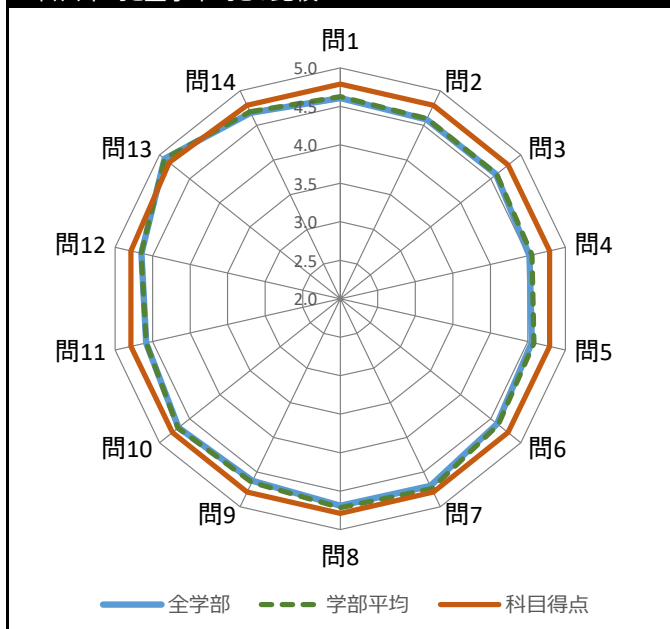


科目名	英語W2-1	[1F1001]	履修者数	24	回答率	
教員名	遠藤 花子		紙	19	79.2%	79.2%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 16 blue, 3 green]						4.84	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 15 blue, 4 green]						4.79	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.79	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

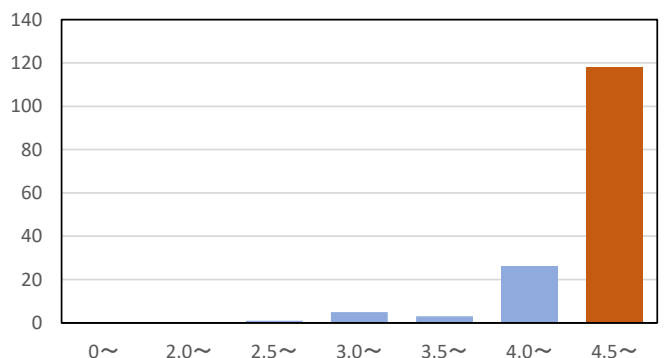


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

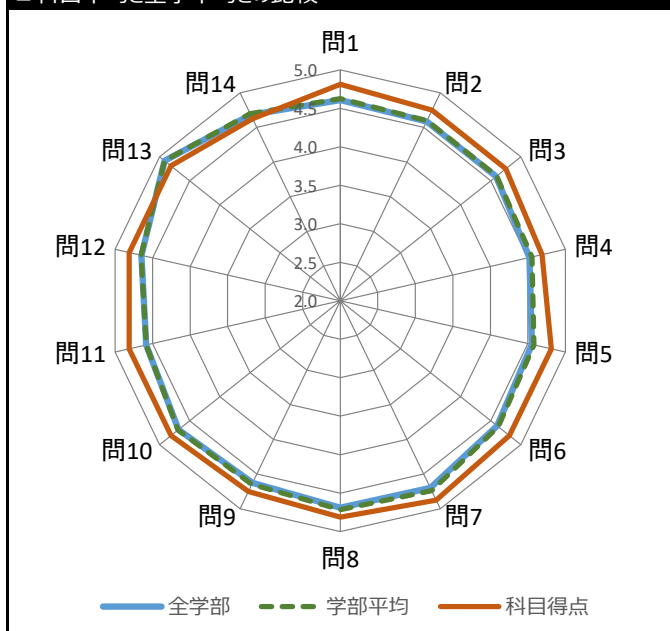


科目名	英語W2-1	[1F1002]	履修者数	22	回答率	
教員名	遠藤 花子		紙	16	72.7%	72.7%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 13 blue, 3 green]						4.81	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 12 blue, 4 green]						4.75	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 12 blue, 4 green]						4.75	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 11 blue, 5 green]						4.69	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 13 blue, 3 green]						4.81	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 13 blue, 3 green]						4.81	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 14 blue, 2 green]						4.88	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 13 blue, 3 green]						4.81	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 12 blue, 4 green]						4.75	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 13 blue, 3 green]						4.81	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 13 blue, 3 green]						4.81	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 13 blue, 3 green]						4.81	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 13 blue, 3 green]						4.81	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 12 blue, 3 green, 1 orange]						4.63	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.78	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

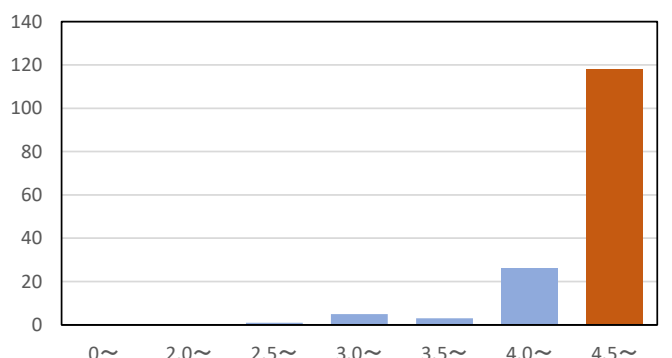


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

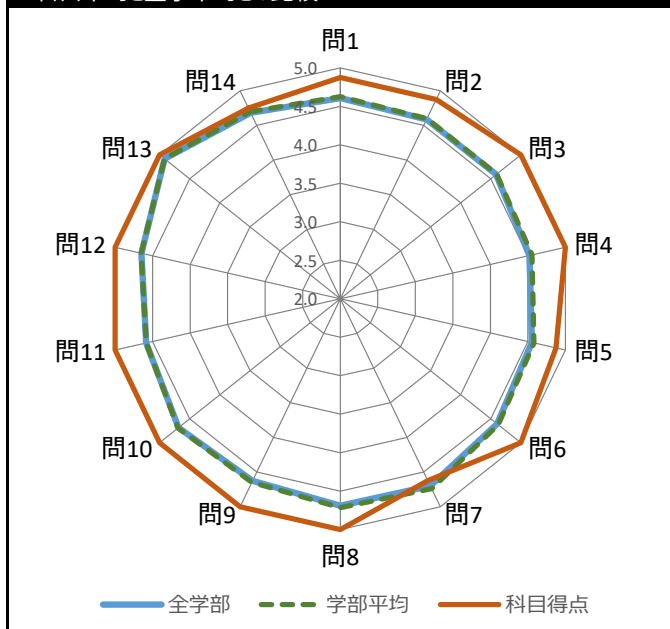


科目名	英語W2-1	[1F1003]	履修者数	8	回答率	
教員名	川崎 修一		回答数	紙	8	100.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
100.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 6 blue, 1 green, 1 yellow]						4.63	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 6 blue, 2 green]						4.75	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.93	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

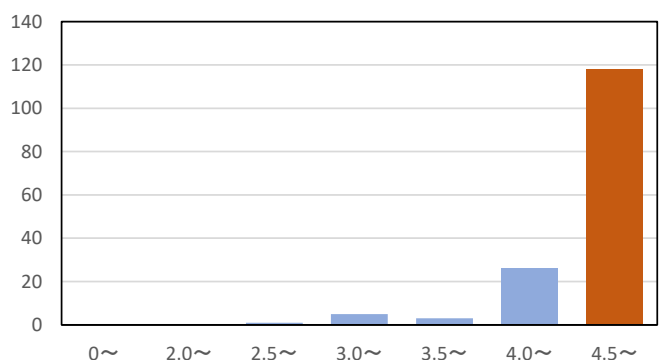


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

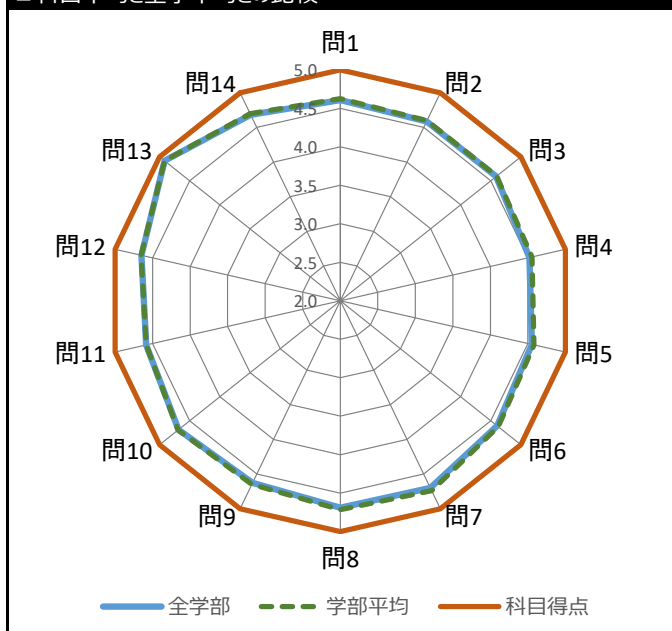


科目名	英語LS2-1	[1F1200]	履修者数	7	回答率	
教員名	川崎 修一		回答数	紙	5	71.4%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
71.4%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5						5.00	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5						5.00	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5						5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	5						5.00	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5						5.00	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	5						5.00	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5						5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5						5.00	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	5						5.00	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	5						5.00	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5						5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5						5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								5.00	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

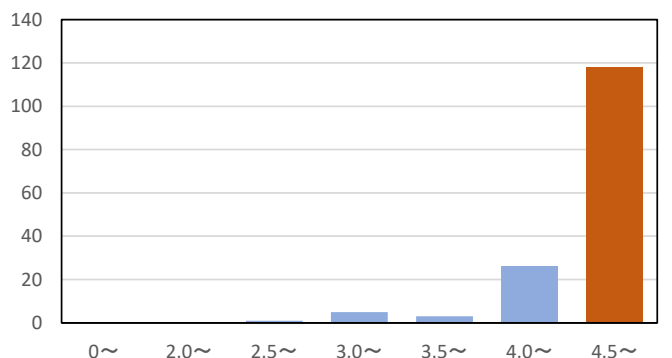


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

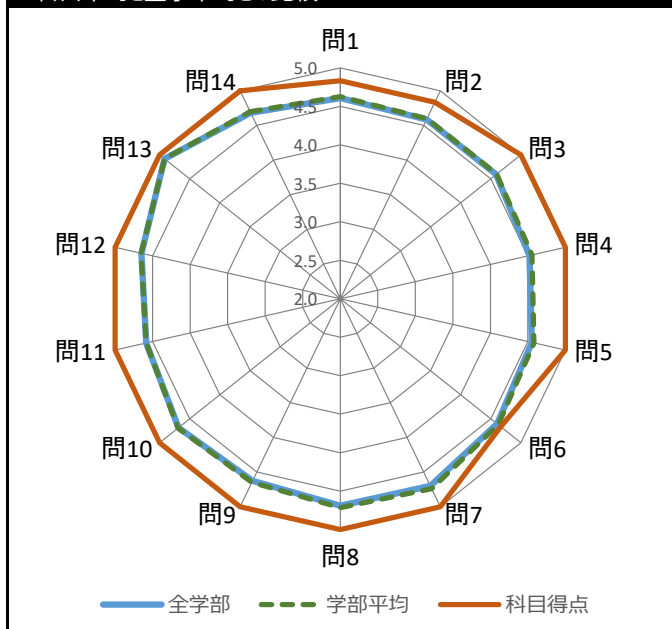


科目名	英語文献を読む I	[1F1400]	履修者数	10	回答率		
教員名	遠藤 花子		回答数	紙	6	60.0%	
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0	0.0%
							60.0%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 5 responses for '5' and 1 for '4']						4.83	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 5 responses for '5' and 1 for '4']						4.83	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 5 responses for '5' and 1 for '4']						4.67	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.95	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

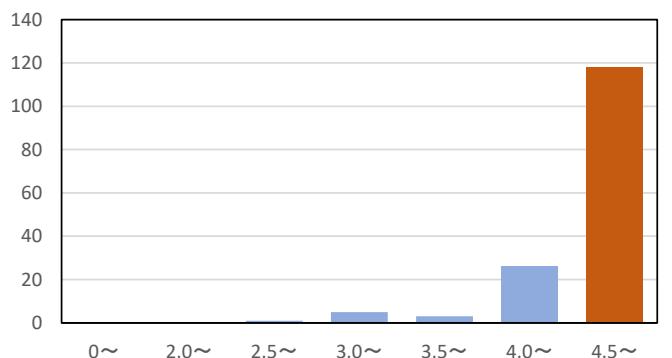


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

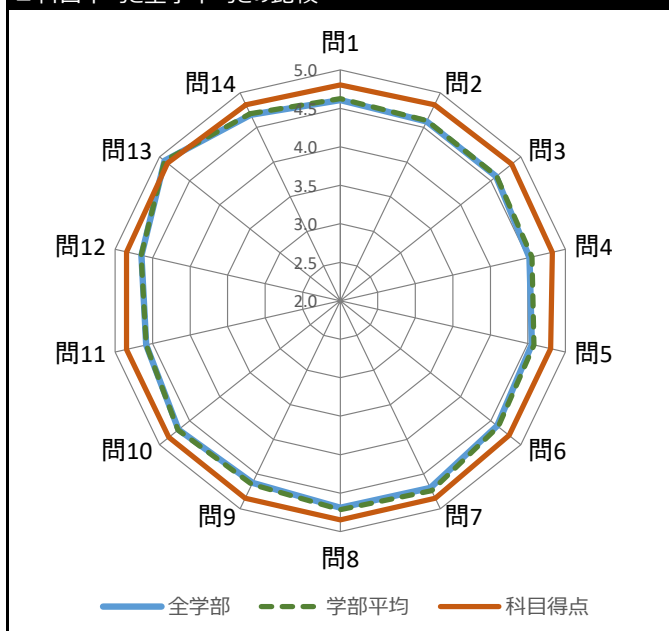


科目名	中国語	[1F2901]	履修者数	47	回答率	
教員名	郭 嘉璋		回 紙	46	97.9%	97.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes' and 9 for 'No']						4.80	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 38 responses for 'Yes' and 8 for 'No']						4.83	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 39 responses for 'Yes' and 7 for 'No']						4.85	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 38 responses for 'Yes' and 8 for 'No']						4.83	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes' and 9 for 'No']						4.80	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 37 responses for 'Yes' and 9 for 'No']						4.80	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 39 responses for 'Yes' and 7 for 'No']						4.85	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 39 responses for 'Yes' and 7 for 'No']						4.85	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 39 responses for 'Yes' and 7 for 'No']						4.85	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 39 responses for 'Yes' and 7 for 'No']						4.85	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 39 responses for 'Yes' and 7 for 'No']						4.85	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 39 responses for 'Yes' and 7 for 'No']						4.85	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 40 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.87	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 38 responses for 'Yes' and 8 for 'No']						4.83	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.84	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

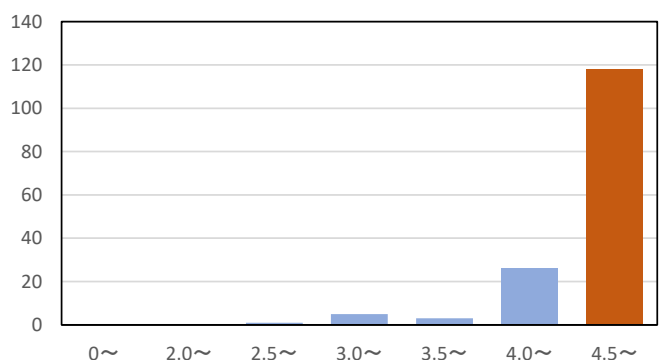


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Red]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

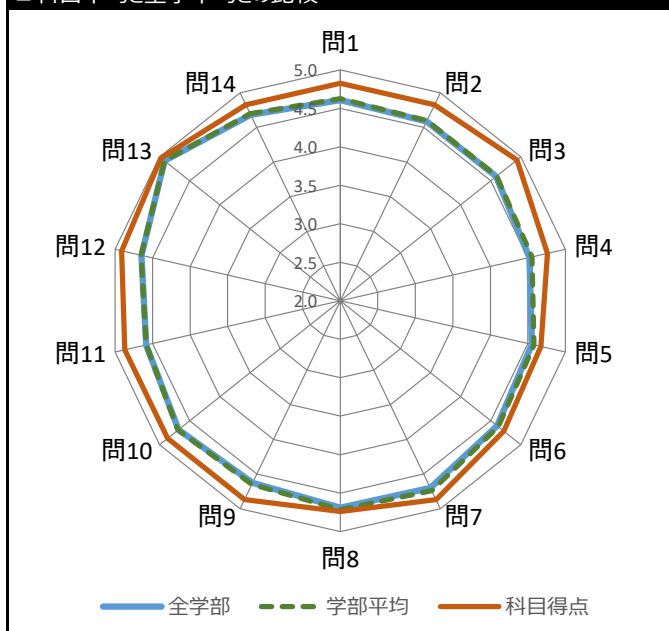


科目名	中国語	[1F2902]	履修者数	51	回答率	
教員名	郭 嘉璋		回答数	紙	46	90.2%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.83	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.83	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.93	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.76	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.67	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.72	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.87	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.74	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.87	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.87	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.87	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.91	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.98	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.83	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.83	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

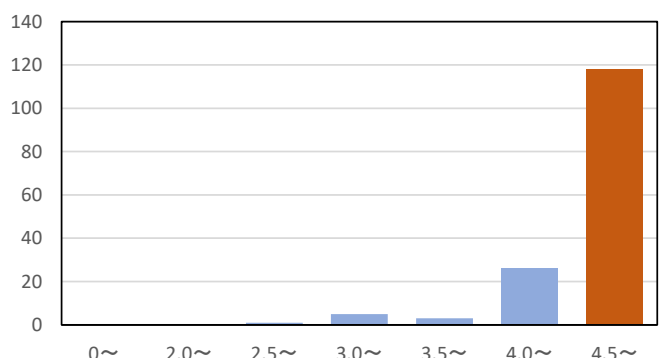


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

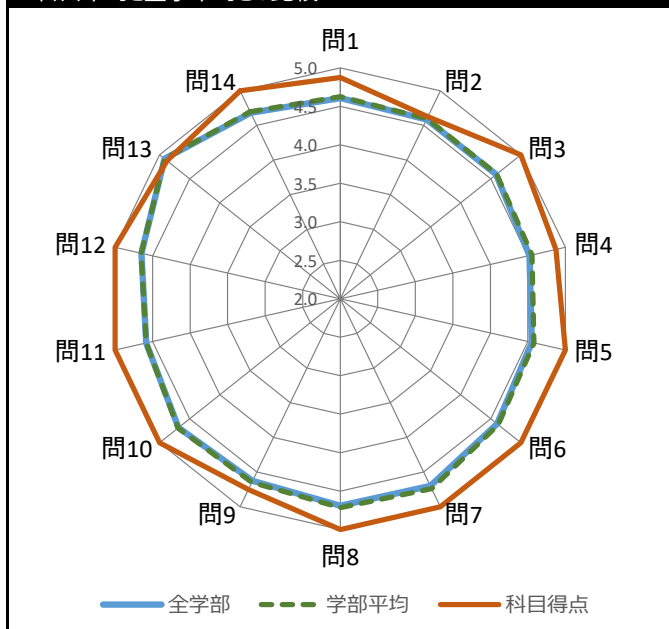


科目名	基礎ゼミ I	[1G0130]	履修者数	8	回答率	
教員名	渋谷 真樹		回 紙	8	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 6 blue, 1 green, 1 yellow]						4.63	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 6 blue, 2 green]						4.75	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.93	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

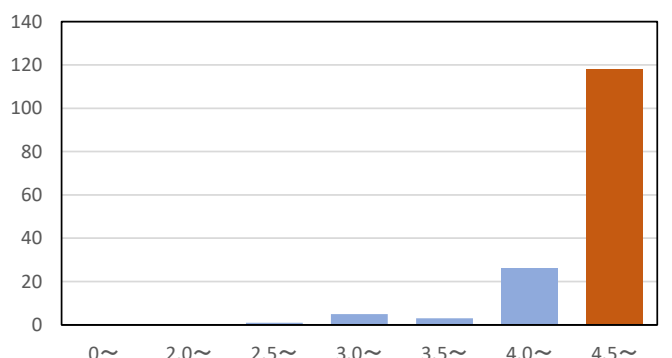


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

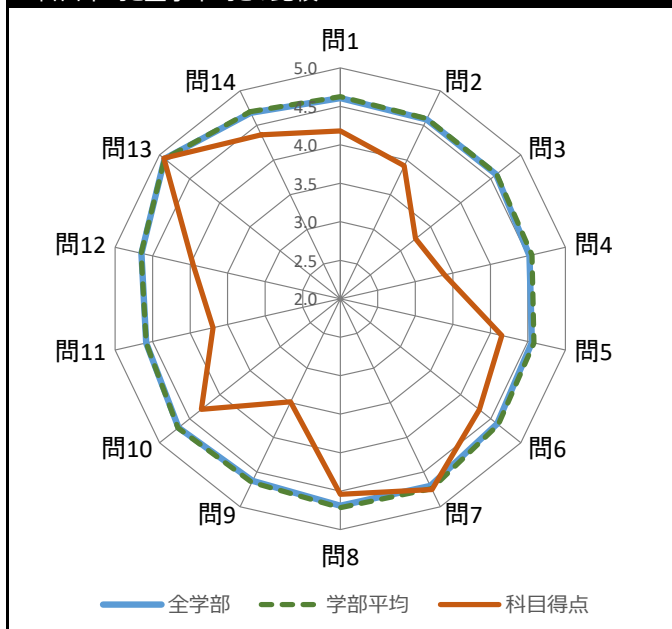


科目名	人体の構造と機能 I	[1H0101]	履修者数	75	回答率	
教員名	井上 明宏		回 紙	72	96.0%	96.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	29	32	8				4.18	4.63	4.61	
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	22	31	13	3	3		3.92	4.60	4.59	
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	14	18	19	14	7		3.25	4.60	4.59	
4	授業の内容はわかりやすかった。	13	22	21	12	4		3.39	4.56	4.52	
5	授業の内容は興味のあるものだった。	31	26	11	3			4.15	4.58	4.55	
6	この授業は自分にとって価値があった。	35	25	9				4.31	4.62	4.61	
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	57						13	4.75	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	47						22	4.54	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	20	19	14	14	5		3.49	4.65	4.63	
10	教員の熱意が伝わってきた。	35	27	8				4.31	4.69	4.69	
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	25	16	18	10	3		3.69	4.58	4.58	
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	24	27	17				3.96	4.65	4.65	
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	69							4.93	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	36	27	6				4.37	4.70	4.68	
問1~14全問平均								4.09	4.66	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

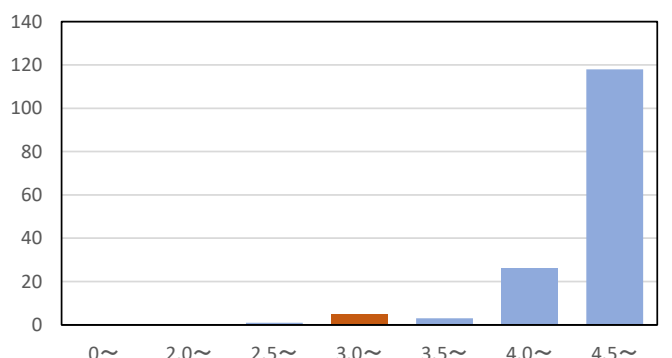


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

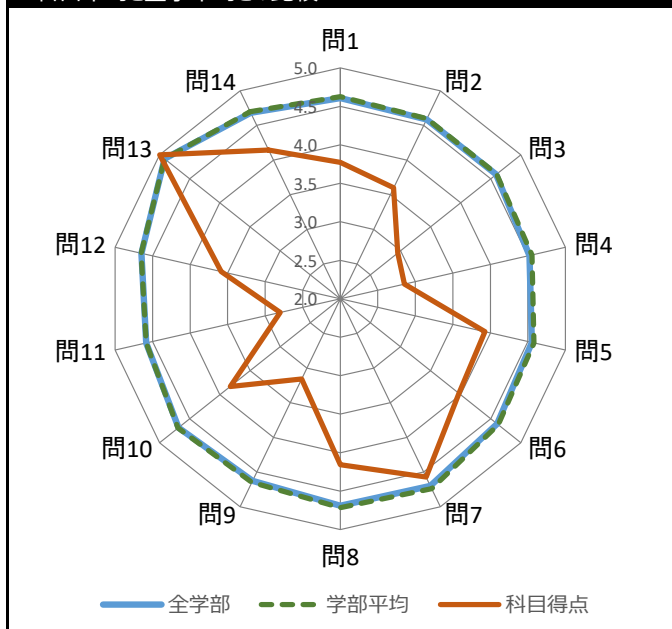


科目名	人体の構造と機能 I	[1H0102]	履修者数	72	回答率	
教員名	井上 明宏		紙	70	97.2%	97.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	12	36	16	6			3.77	4.63	4.61		
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	12	31	15	11			3.60	4.60	4.59		
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	14	21	19	7		2.96	4.60	4.59		
4	授業の内容はわかりやすかった。	7	11	25	17	9		2.86	4.56	4.52		
5	授業の内容は興味のあるものだった。	17	35	13	3			3.93	4.58	4.55		
6	この授業は自分にとって価値があった。	18	34	14	3			3.97	4.62	4.61		
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	46						20	3	4.57	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	35	16	15	3			4.16	4.72	4.69		
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	18	11	15	16	10		3.16	4.65	4.63		
10	教員の熱意が伝わってきた。	24	24	11	8	3		3.83	4.69	4.69		
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7	14	20	16	13		2.80	4.58	4.58		
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	14	21	28	6			3.59	4.65	4.65		
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	70								5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23	35	9				4.14	4.70	4.68		
問1~14全問平均								3.74	4.66	4.64		

■ 科目平均と全学部平均との比較

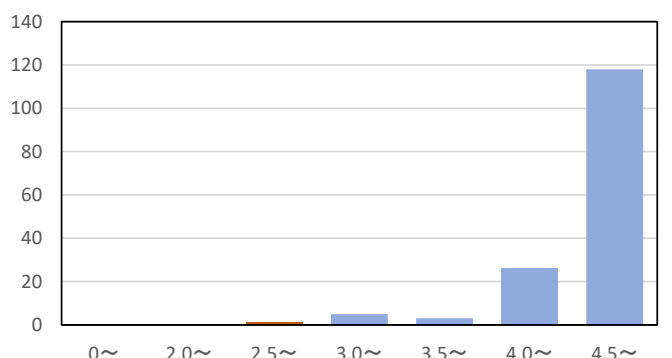


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
(Blue)	5	強く思う
(Green)	4	思う
(Yellow)	3	どちらともいえない
(Orange)	2	そうは思わない
(Red)	1	全くそうは思わない
(Grey)	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

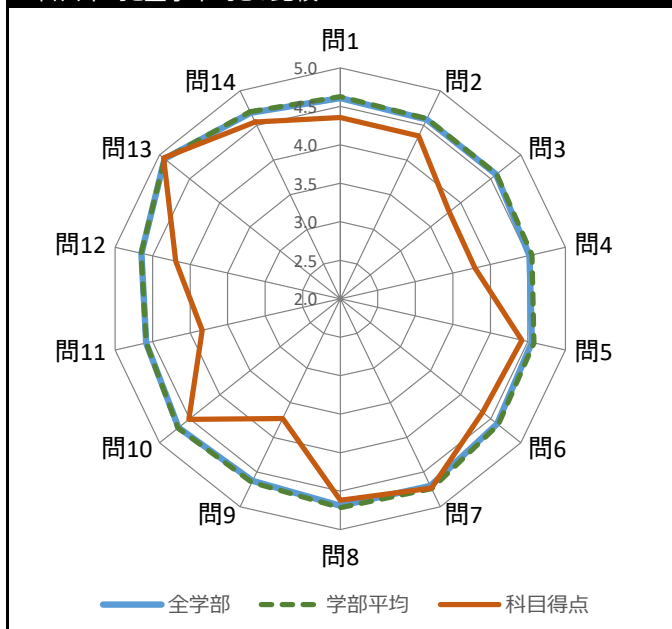


科目名	人体の構造と機能Ⅱ	[1H0201]	履修者数	76	回答率	
教員名	井上 明宏		紙	63	82.9%	82.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 31 (blue), 23 (green), 7 (yellow), 1 (orange), 2 (red)]						4.35	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 31 (blue), 26 (green), 3 (yellow), 3 (orange), 3 (red)]						4.35	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 21 (blue), 20 (green), 13 (yellow), 7 (orange), 2 (red)]						3.81	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 19 (blue), 23 (green), 10 (yellow), 11 (orange)]						3.79	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 34 (blue), 20 (green), 8 (yellow)]						4.42	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 34 (blue), 20 (green), 8 (yellow)]						4.37	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 47 (blue), 15 (green)]						4.73	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 43 (blue), 17 (green), 2 (yellow), 2 (orange)]						4.62	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 27 (blue), 9 (green), 13 (yellow), 8 (orange), 5 (red)]						3.73	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 37 (blue), 20 (green), 5 (yellow)]						4.52	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 23 (blue), 19 (green), 9 (yellow), 9 (orange), 2 (red)]						3.84	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 28 (blue), 22 (green), 10 (yellow), 3 (orange)]						4.19	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 58 (blue), 4 (green)]						4.94	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 39 (blue), 18 (green), 5 (yellow)]						4.55	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.30	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

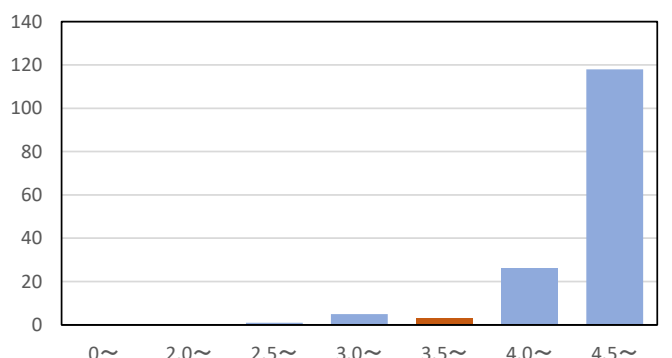


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

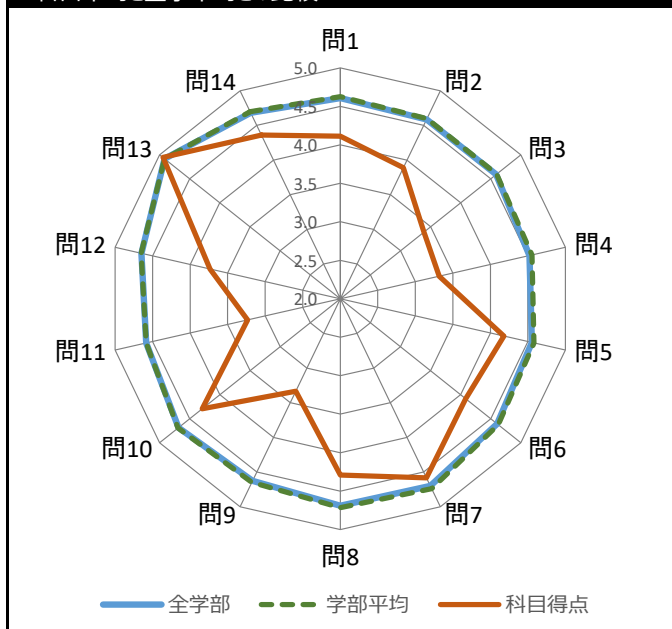


科目名	人体の構造と機能Ⅱ	[1H0202]	履修者数	74	回答率	
教員名	井上 明宏		紙	72	97.3%	97.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	31	26	8	6			4.11	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	23	26	17	4			3.89	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17	18	21	8	8		3.39	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	15	18	19	15	5		3.32	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	26	37	6				4.18	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	27	31	10	3			4.08	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	54	13	3				4.58	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	43	17	6	4			4.29	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	24	9	17	11	11		3.33	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	41	17	8	3			4.30	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	18	13	19	12	10		3.24	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	23	21	19	4	5		3.74	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	68				4		4.94	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	37	25	9				4.36	4.70	4.68
問1~14全問平均								3.98	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

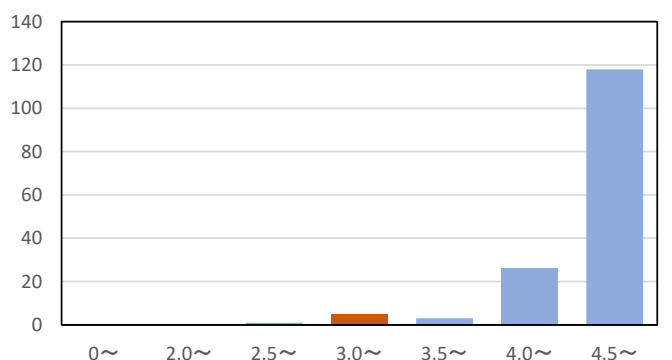


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
(Blue)	5	強く思う
(Green)	4	思う
(Yellow)	3	どちらともいえない
(Orange)	2	そうは思わない
(Red)	1	全くそうは思わない
(Grey)	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

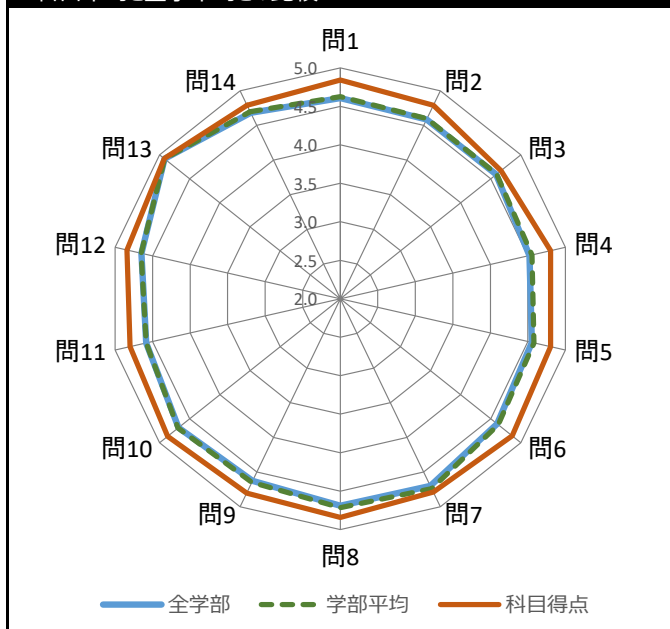


科目名	疾病の成り立ちと回復の促進VI	[1H0900]	履修者数	142	回答率	
教員名	梅野 充		回答数	紙	76	53.5%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
53.5%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 64% 'Yes' and 12% 'Somewhat Yes']						4.84	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 61% 'Yes' and 14% 'Somewhat Yes']						4.79	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 54% 'Yes', 19% 'Somewhat Yes', 3% 'Somewhat No', 24% 'No']						4.67	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 61% 'Yes' and 15% 'Somewhat Yes']						4.80	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 61% 'Yes' and 15% 'Somewhat Yes']						4.80	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 65% 'Yes' and 11% 'Somewhat Yes']						4.86	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 61% 'Yes' and 14% 'Somewhat Yes']						4.79	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 64% 'Yes' and 12% 'Somewhat Yes']						4.84	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 61% 'Yes' and 15% 'Somewhat Yes']						4.80	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 66% 'Yes' and 10% 'Somewhat Yes']						4.87	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 61% 'Yes' and 15% 'Somewhat Yes']						4.80	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 64% 'Yes' and 12% 'Somewhat Yes']						4.84	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 70% 'Yes' and 6% 'Somewhat Yes']						4.92	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 60% 'Yes' and 16% 'Somewhat Yes']						4.79	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.82	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

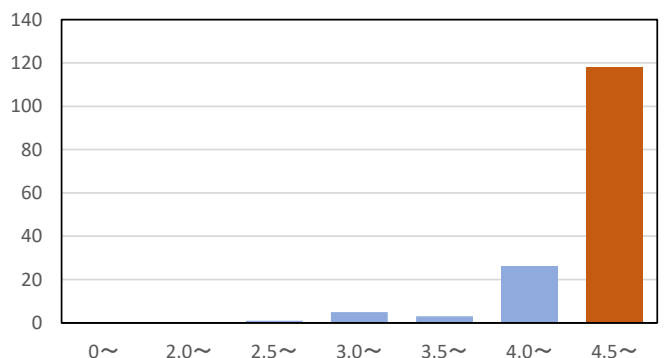


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

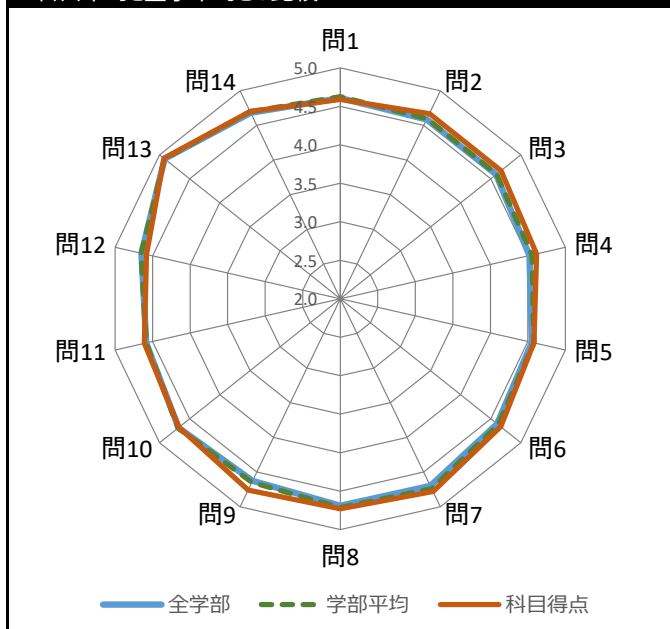


科目名	リハビリテーション医学	[1H1100]	履修者数	138	回答率	
教員名	田中 清和		紙	100	72.5%	72.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.59	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree', 31% 'Agree']						4.67	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree', 25% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.67	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.62	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.58	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree', 29% 'Agree']						4.67	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 79% 'Strongly agree', 20% 'Agree']						4.78	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 75% 'Strongly agree', 23% 'Agree']						4.73	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 77% 'Strongly agree', 22% 'Agree']						4.76	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.68	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 29% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.61	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 8% 'Disagree']						4.58	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 93% 'Strongly agree', 7% 'Disagree']						4.93	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree', 22% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.70	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.68	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

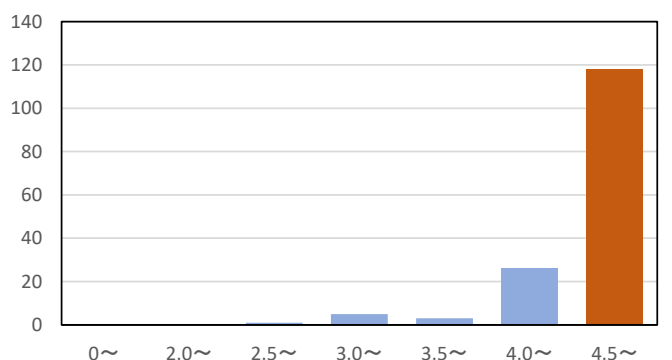


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

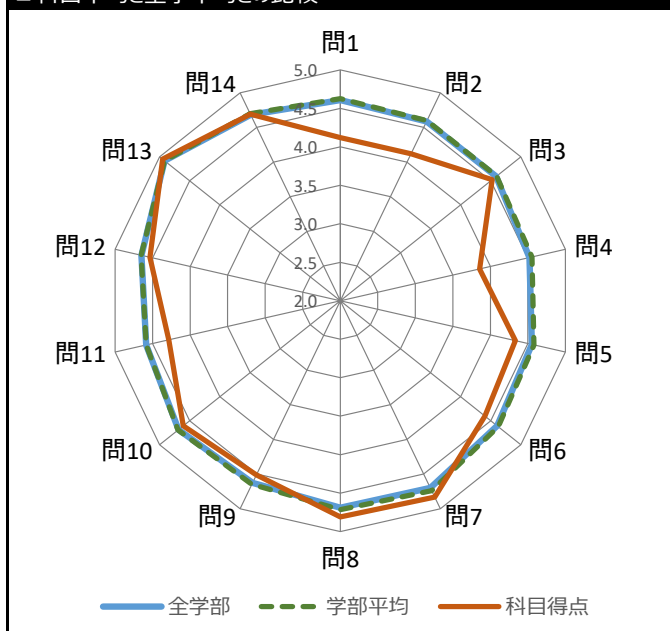


科目名	遺伝と遺伝カウンセリング	[1H1200]	履修者数	127	回答率	
教員名	守田 美奈子		紙	84	66.1%	66.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	40	24	12	6			4.12	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	38	25	15	5			4.12	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	54	23	4	3			4.52	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	34	21	16	9	4		3.86	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	47	21	13	3			4.33	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	46	29	6	3			4.40	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	71	12					4.83	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	69	14					4.81	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	58	18	3	3			4.51	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	57	24	3				4.61	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	44	28	6	4			4.29	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	56	19	7				4.54	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	80	4					4.95	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	63	16	5				4.69	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.47	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

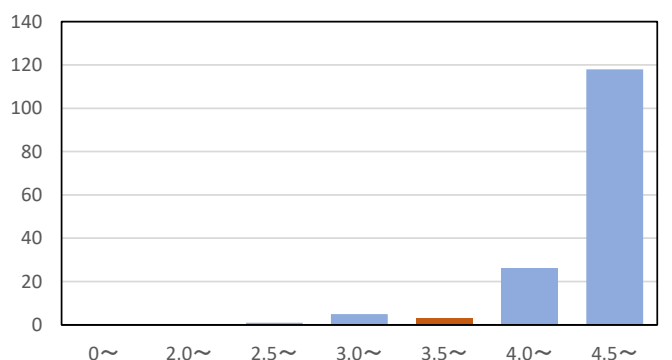


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
(Blue)	5	強く思う
(Green)	4	思う
(Yellow)	3	どちらともいえない
(Orange)	2	そうは思わない
(Red)	1	全くそうは思わない
(Grey)	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

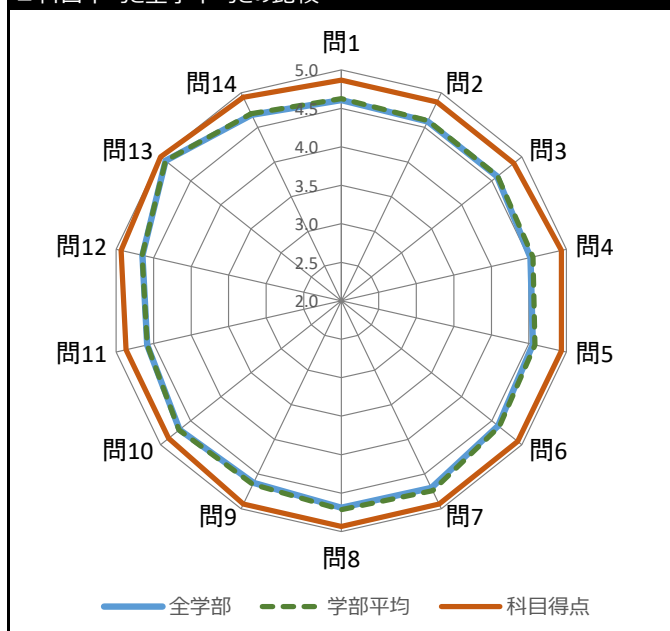


科目名	ラボラトリー・プラクティス	[1H1400]	履修者数	15	回答率	
教員名	壹岐 聖子		回答数	紙	15	100.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
100.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.87	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.87	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.87	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.93	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.93	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.93	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.93	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.93	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.93	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.87	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.87	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.93	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.93	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.91	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

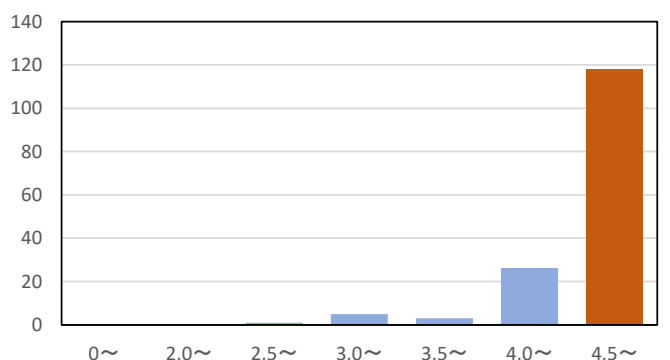


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

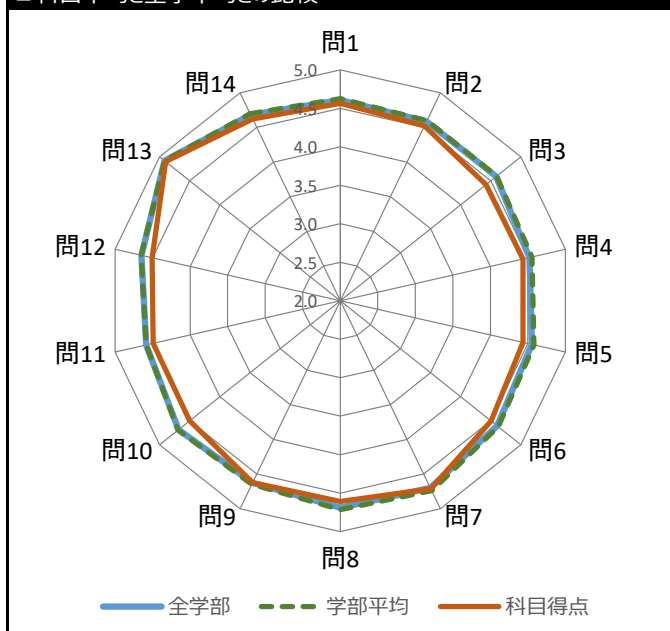


科目名	看護学概論 I	[110101]	履修者数	74	回答率	
教員名	川原 由佳里		紙	69	93.2%	93.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.57	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.52	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.42	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.43	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.43	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.51	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.71	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.61	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.62	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.50	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.49	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.51	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.90	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.62	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.56	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

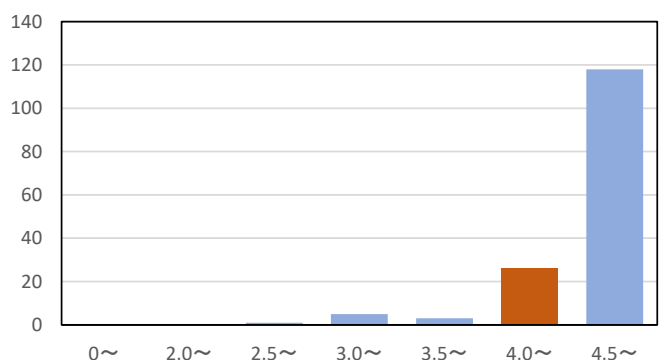


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

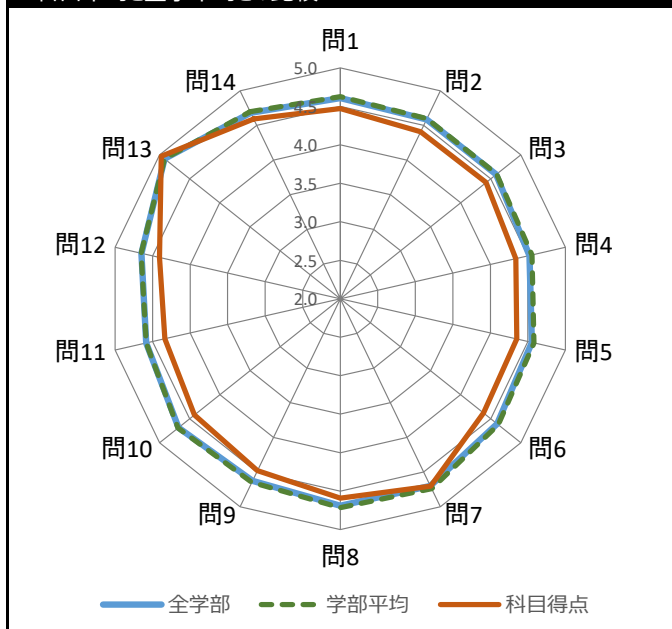


科目名	看護学概論 I	[110102]	履修者数	72	回答率	
教員名	川原 由佳里		回答数	紙	71	98.6%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
98.6%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.47	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.41	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.42	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.34	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.35	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.38	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.70	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.59	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.48	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.42	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.34	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.41	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.97	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.59	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.49	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

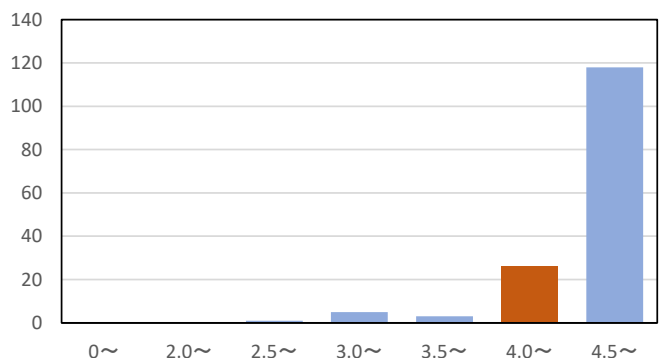


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

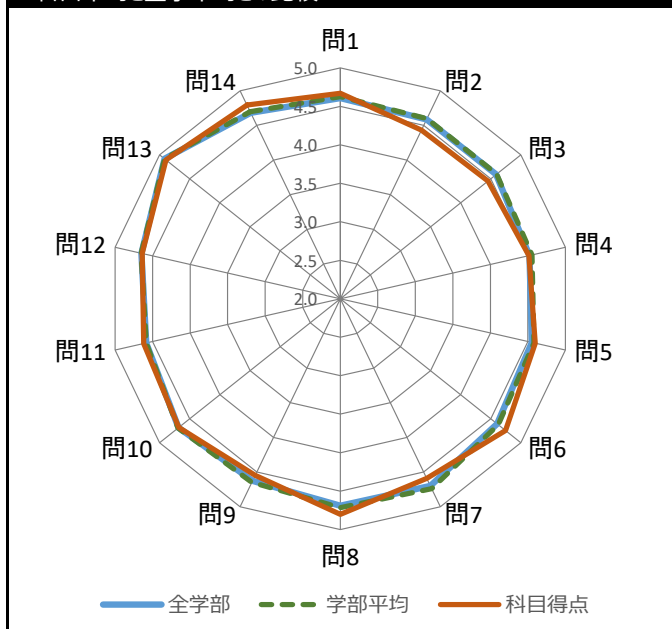


科目名	看護関係法規	[110300]	履修者数	136	回答率	
教員名	安部 陽子		紙	98	72.1%	72.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing 68% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.67	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked bar chart showing 59% 'Strongly agree', 25% 'Agree', 9% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.43	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked bar chart showing 62% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 10% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.45	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked bar chart showing 59% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 7% 'Disagree', 7% 'Strongly disagree']						4.52	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked bar chart showing 63% 'Strongly agree', 29% 'Agree', 5% 'Disagree', 5% 'Strongly disagree']						4.60	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked bar chart showing 73% 'Strongly agree', 20% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.75	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked bar chart showing 67% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 5% 'Disagree', 5% 'Strongly disagree']						4.59	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked bar chart showing 79% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 2% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.80	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked bar chart showing 66% 'Strongly agree', 20% 'Agree', 9% 'Disagree', 9% 'Strongly disagree']						4.55	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing 70% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 4% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.68	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked bar chart showing 66% 'Strongly agree', 25% 'Agree', 6% 'Disagree', 6% 'Strongly disagree']						4.62	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Stacked bar chart showing 68% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 6% 'Disagree', 6% 'Strongly disagree']						4.64	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked bar chart showing 89% 'Strongly agree', 6% 'Agree', 5% 'Disagree', 5% 'Strongly disagree']						4.90	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked bar chart showing 79% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 2% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.79	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.64	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

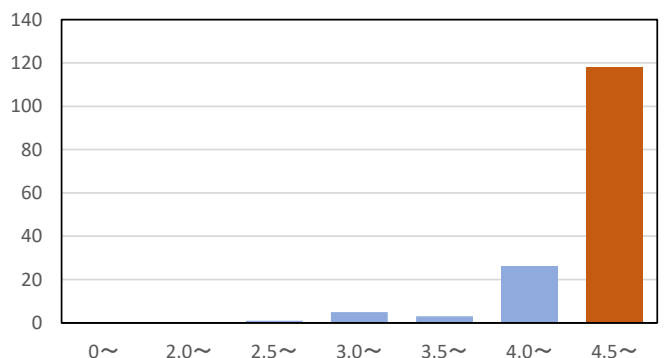


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

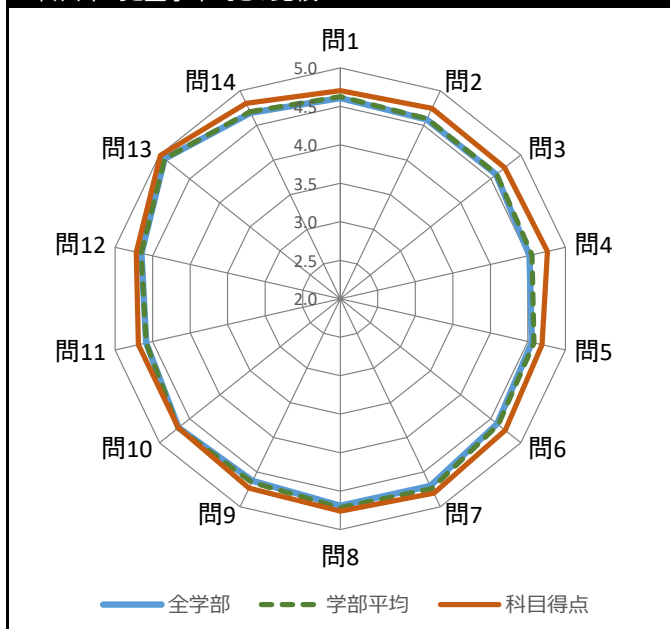


科目名	看護技術論 I	[1J0101]	履修者数	72	回答率	
教員名	堀川 英起		紙	71	98.6%	98.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.70	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.75	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.73	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.76	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.69	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.74	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.80	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.76	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.73	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.69	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.69	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.72	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.99	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.82	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.76	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

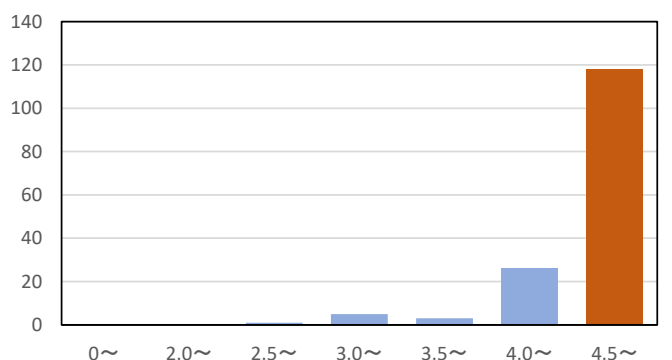


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

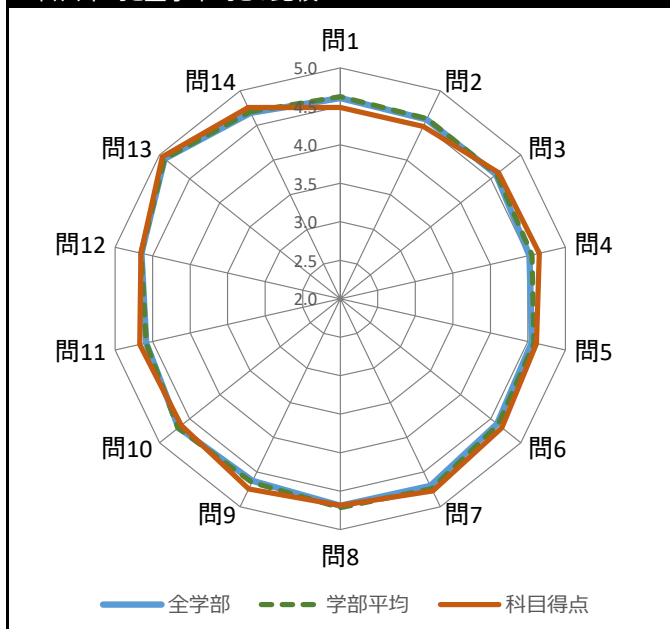


科目名	看護技術論 I	[1J0102]	履修者数	72	回答率	
教員名	古城門 靖子		紙	70	97.2%	97.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 39 (blue), 26 (green), 5 (yellow)]						4.49	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 38 (blue), 28 (green), 4 (yellow)]						4.49	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 47 (blue), 20 (green), 3 (yellow)]						4.63	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 46 (blue), 22 (green), 1 (yellow)]						4.65	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 45 (blue), 23 (green), 2 (yellow)]						4.61	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 49 (blue), 20 (green), 1 (yellow)]						4.69	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 55 (blue), 14 (green), 1 (yellow)]						4.77	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 49 (blue), 20 (green), 1 (yellow)]						4.69	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 53 (blue), 16 (green), 1 (yellow)]						4.74	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 48 (blue), 19 (green), 3 (yellow)]						4.64	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 48 (blue), 21 (green), 1 (yellow)]						4.67	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 48 (blue), 20 (green), 2 (yellow)]						4.66	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 67 (blue), 3 (yellow)]						4.96	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 53 (blue), 17 (green), 1 (yellow)]						4.76	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.67	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

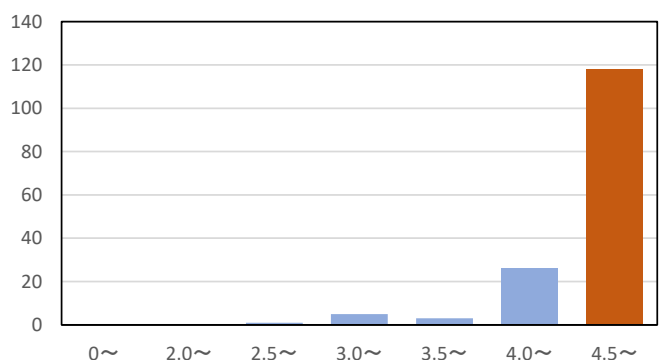


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

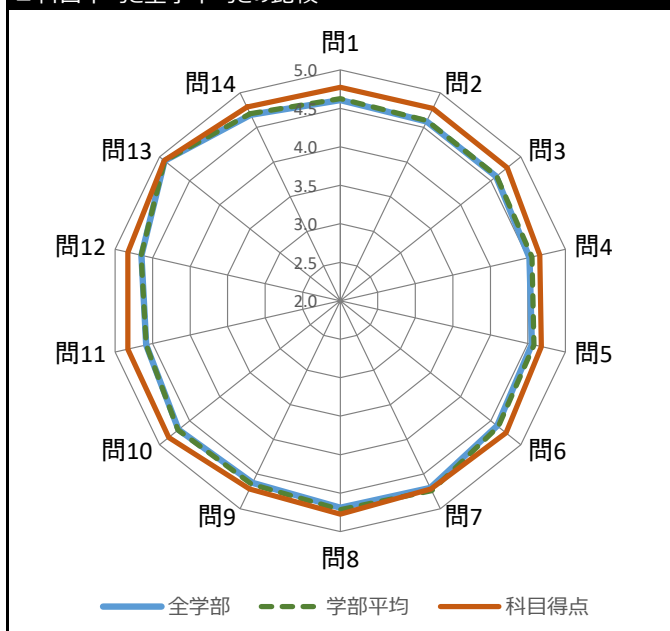


科目名	看護援助論 I	[1K0101]	履修者数	70	回答率	
教員名	細野 知子		紙	53	75.7%	75.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.77	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.77	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.77	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.66	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.68	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.75	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.72	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.77	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.72	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.85	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.83	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.83	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.92	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.79	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.77	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

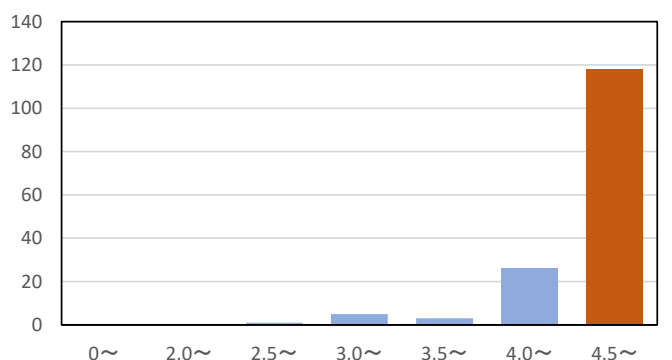


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

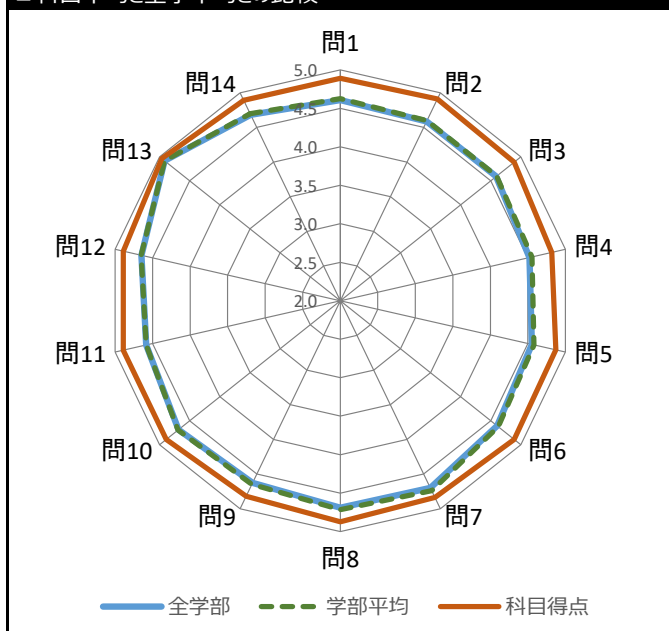


科目名	看護援助論 I	[1K0102]	履修者数	68	回答率	
教員名	細野 知子		紙	55	80.9%	80.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 49 correct, 6 incorrect]						4.89	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 50 correct, 5 incorrect]						4.91	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 49 correct, 6 incorrect]						4.89	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 46 correct, 8 incorrect]						4.82	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 48 correct, 7 incorrect]						4.87	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 49 correct, 6 incorrect]						4.89	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 46 correct, 9 incorrect]						4.84	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 48 correct, 7 incorrect]						4.87	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 47 correct, 7 incorrect]						4.82	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 49 correct, 6 incorrect]						4.89	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 49 correct, 6 incorrect]						4.89	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 49 correct, 6 incorrect]						4.89	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 53 correct, 2 incorrect]						4.96	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 49 correct, 6 incorrect]						4.89	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.88	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

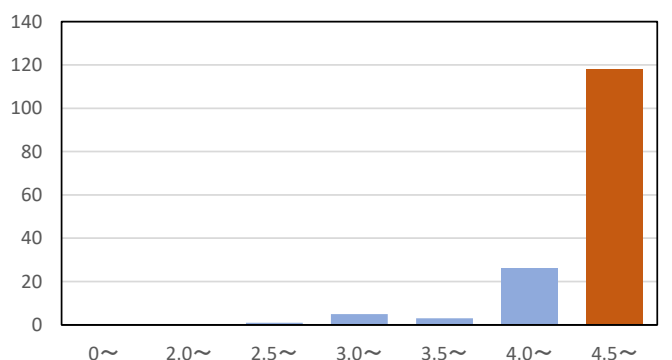


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Red]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Grey]	1	全くそうは思わない
[White]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

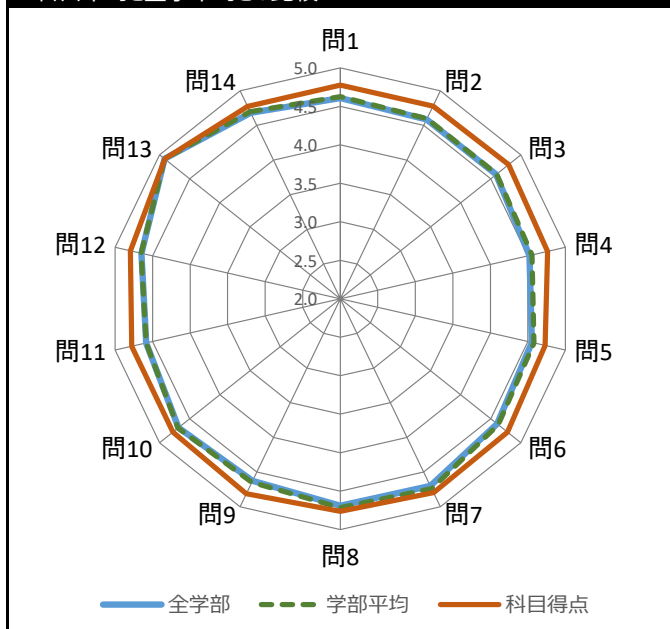


科目名	看護援助論Ⅱ	[1K0201]	履修者数	70	回答率	
教員名	千葉 京子		紙	59	84.3%	84.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 45% blue, 13% green]						4.78	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 47% blue, 11% green]						4.78	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 47% blue, 12% green]						4.80	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 46% blue, 12% green]						4.76	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 45% blue, 12% green, 2% yellow]						4.73	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 46% blue, 13% green]						4.78	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 47% blue, 12% green]						4.80	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 46% blue, 12% green]						4.76	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 48% blue, 11% green]						4.81	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 46% blue, 13% green]						4.78	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 47% blue, 11% green]						4.78	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 47% blue, 12% green]						4.80	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 54% blue, 5% green]						4.92	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 46% blue, 11% green]						4.78	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.79	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

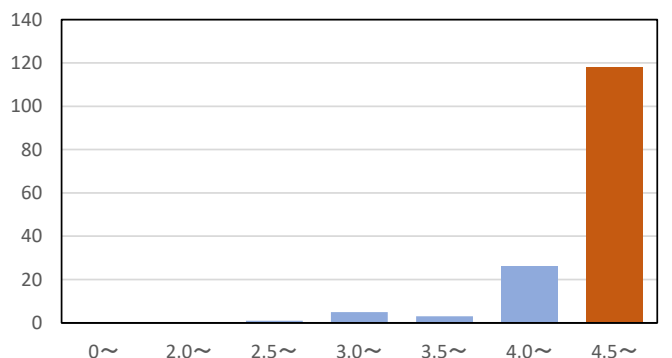


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

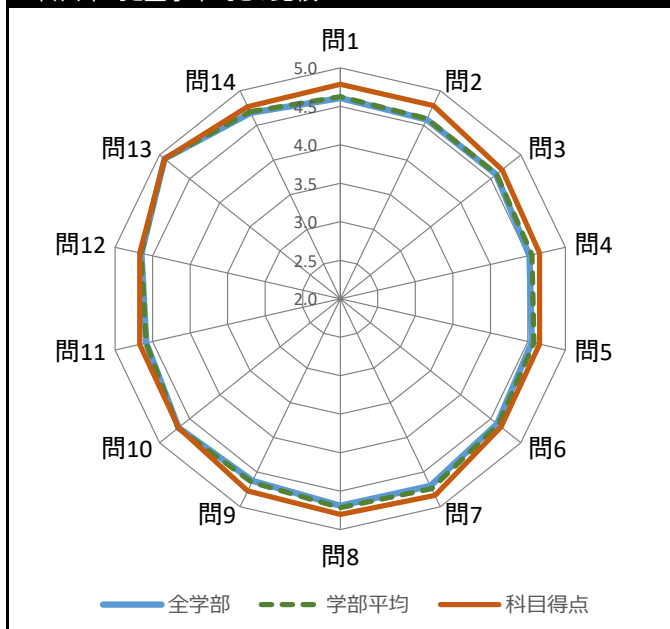


科目名	看護援助論Ⅱ	[1K0202]	履修者数	68	回答率	
教員名	千葉 京子		紙	61	89.7%	89.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 49 blue, 11 green]						4.79	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 48 blue, 13 green]						4.79	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 43 blue, 17 green]						4.69	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 41 blue, 19 green]						4.66	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 42 blue, 17 green, 2 orange]						4.66	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 43 blue, 16 green, 2 orange]						4.67	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 51 blue, 10 green]						4.84	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 49 blue, 12 green]						4.80	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 47 blue, 14 green]						4.77	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 45 blue, 13 green, 3 orange]						4.69	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 43 blue, 16 green, 2 orange]						4.67	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 43 blue, 16 green, 2 orange]						4.67	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 56 blue, 5 green]						4.92	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 47 blue, 14 green]						4.77	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.74	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

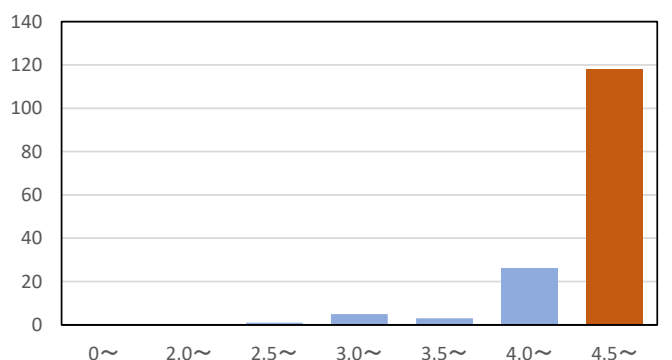


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

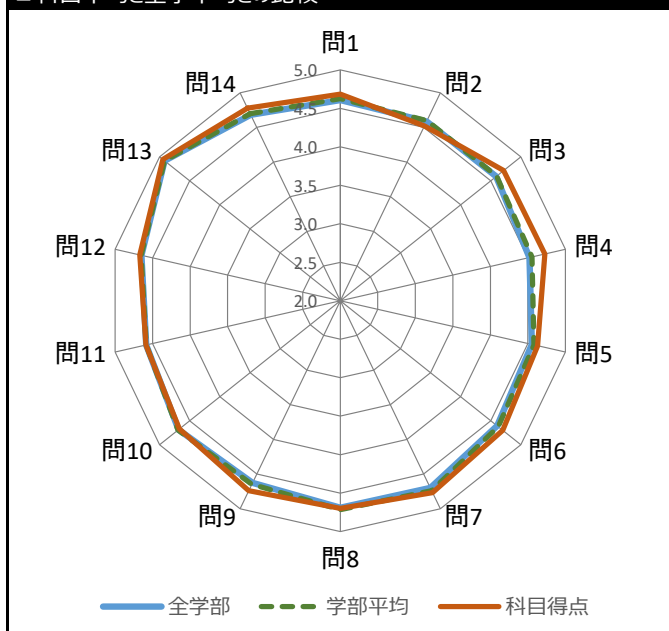


科目名	看護援助論Ⅲ	[1K0301]	履修者数	73	回答率	
教員名	清田 明美		紙	73	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 50% blue, 23% green]						4.68	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 39% blue, 33% green]						4.52	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 52% blue, 21% green]						4.71	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 53% blue, 20% green]						4.73	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 50% blue, 19% green, 4% yellow]						4.63	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 52% blue, 20% green]						4.70	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 56% blue, 17% green]						4.77	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 51% blue, 22% green]						4.70	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 54% blue, 19% green]						4.74	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 49% blue, 24% green]						4.67	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 44% blue, 28% green]						4.59	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 50% blue, 22% green]						4.67	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 69% blue, 4% yellow]						4.95	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 56% blue, 16% green]						4.78	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.70	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

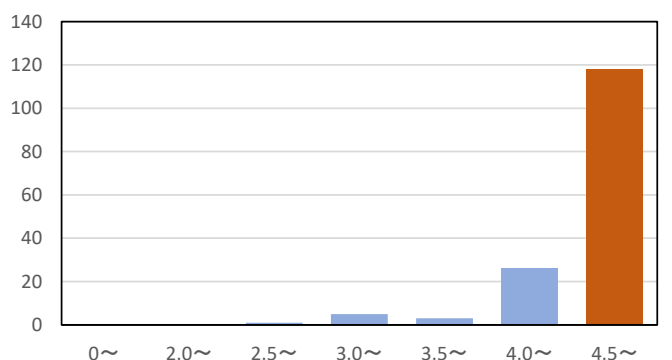


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

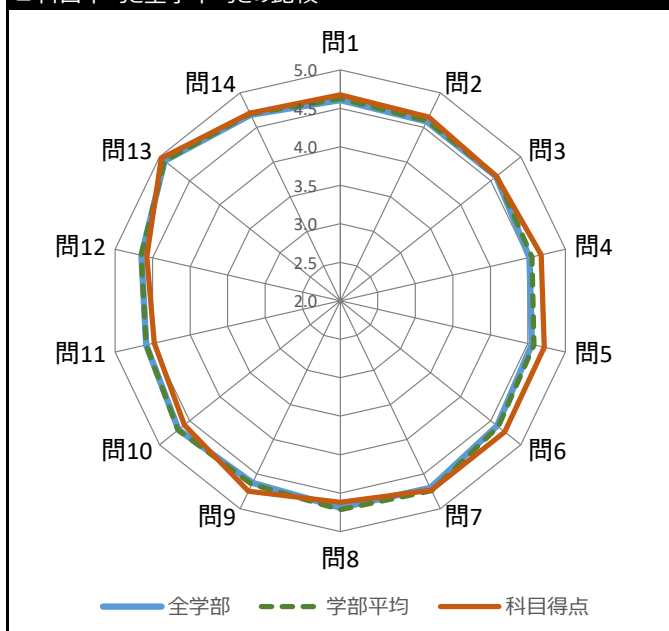


科目名	看護援助論Ⅲ	[1K0302]	履修者数	72	回答率	
教員名	清田 明美		紙	71	98.6%	98.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.68	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.65	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.59	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.68	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.72	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.73	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.73	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.62	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.75	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.59	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.48	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							4.58	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.97	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.70	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.68	4.66	4.64

■科目平均と全学部平均との比較

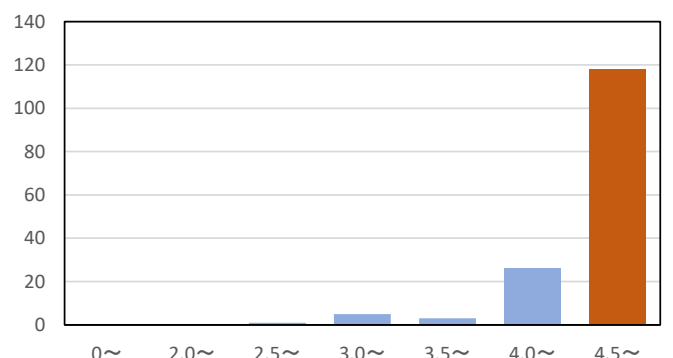


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

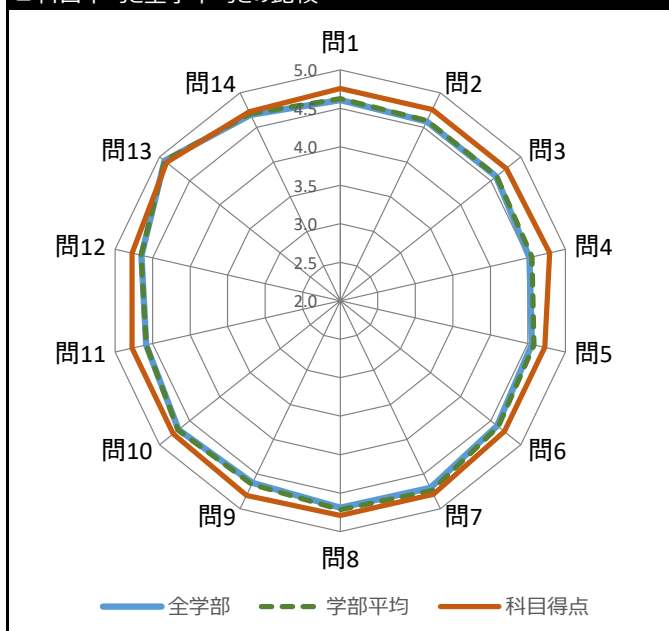


科目名	看護援助論Ⅳ	[1K0401]	履修者数	70	回答率	
教員名	清田 明美		回 紙	62	88.6%	88.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.76	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.76	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 11% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.76	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.79	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.73	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.73	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.79	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.79	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 50% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.81	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.77	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.77	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 49% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.77	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 55% for 'Strongly agree' and 5% for 'Disagree']						4.89	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree', 2% for 'Disagree']						4.73	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.77	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

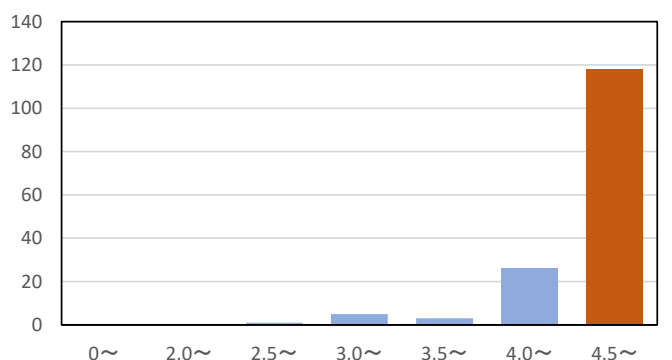


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

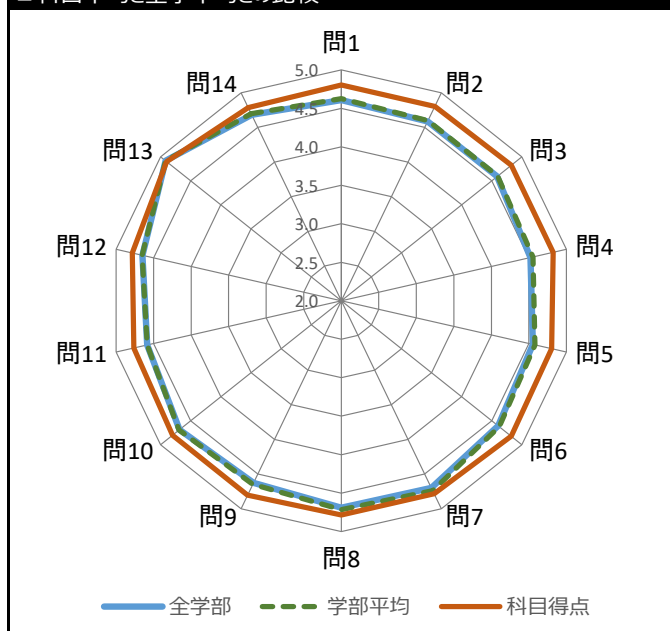


科目名	看護援助論Ⅳ	[1K0402]	履修者数	68	回答率	
教員名	清田 明美		紙	51	75.0%	75.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 41 responses for 'Yes' and 10 for 'No']						4.80	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 41 responses for 'Yes' and 10 for 'No']						4.80	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 42 responses for 'Yes' and 9 for 'No']						4.82	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 42 responses for 'Yes' and 9 for 'No']						4.82	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 41 responses for 'Yes' and 10 for 'No']						4.80	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 42 responses for 'Yes' and 9 for 'No']						4.82	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 40 responses for 'Yes' and 11 for 'No']						4.78	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 40 responses for 'Yes' and 11 for 'No']						4.78	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 41 responses for 'Yes' and 10 for 'No']						4.80	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 41 responses for 'Yes' and 10 for 'No']						4.80	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 39 responses for 'Yes' and 12 for 'No']						4.76	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 40 responses for 'Yes' and 11 for 'No']						4.78	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 46 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.90	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 40 responses for 'Yes' and 11 for 'No']						4.78	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.81	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

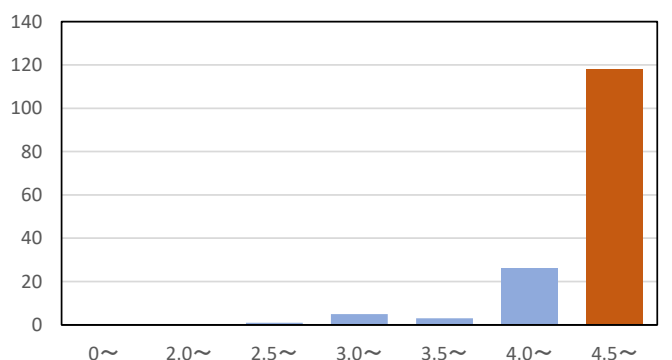


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

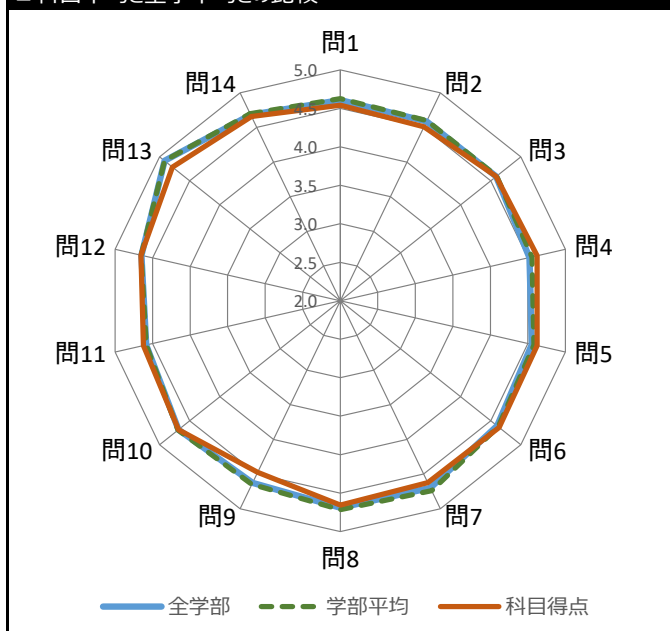


科目名	看護援助論Ⅴ	[1K0501]	履修者数	70	回答率	
教員名	江本 リナ		紙	61	87.1%	87.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.54	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.51	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.59	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.62	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.62	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.64	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.62	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.66	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.48	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.69	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.62	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.66	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.79	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.66	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.62	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

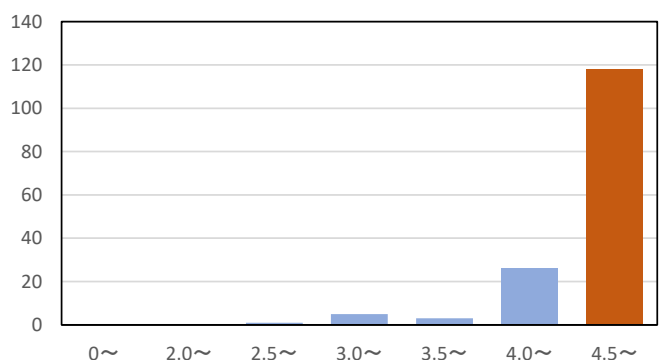


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

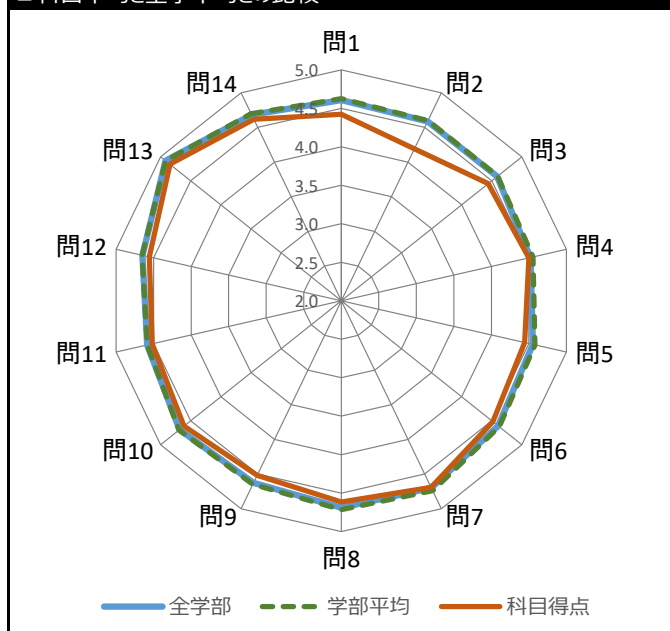


科目名	看護援助論Ⅴ	[1K0502]	履修者数	68	回答率	
教員名	江本 リナ		紙	52	76.5%	76.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	30	16	4	2			4.42	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	27	14	7	2	2		4.19	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	32	13	6				4.44	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	32	14	6				4.50	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	31	14	6				4.44	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	32	15	5				4.52	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	38	12	2				4.69	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	35	14	3				4.62	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	31	17	4				4.52	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	35	14	3				4.62	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	31	18	2				4.52	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	33	15	4				4.56	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	45	6					4.85	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	34	16	2				4.62	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.54	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

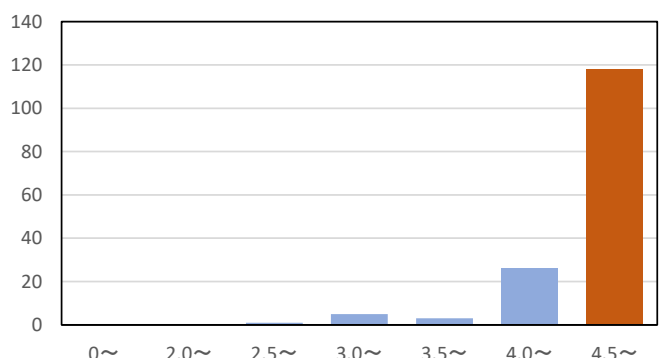


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

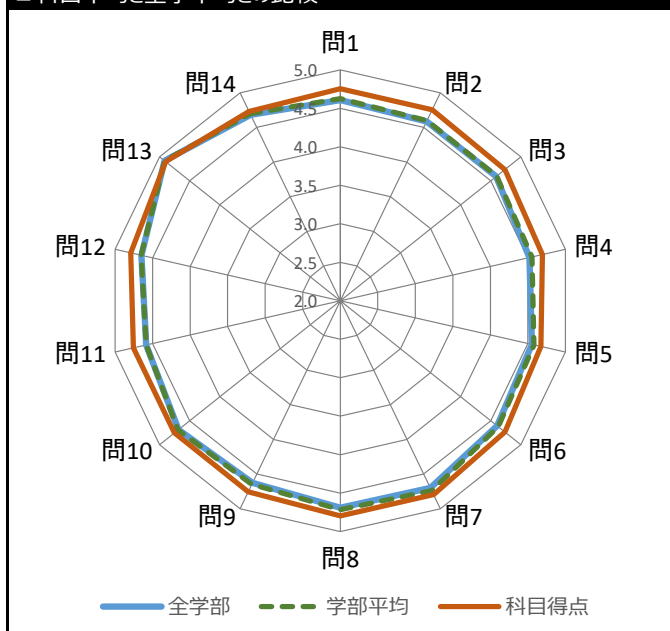


科目名	看護援助論VI	[1K0601]	履修者数	72	回答率	
教員名	新田 真弓		紙	49	68.1%	68.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.76	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.76	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.73	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.69	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.67	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.73	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.80	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.80	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.76	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.76	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.76	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.79	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.90	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.73	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.76	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

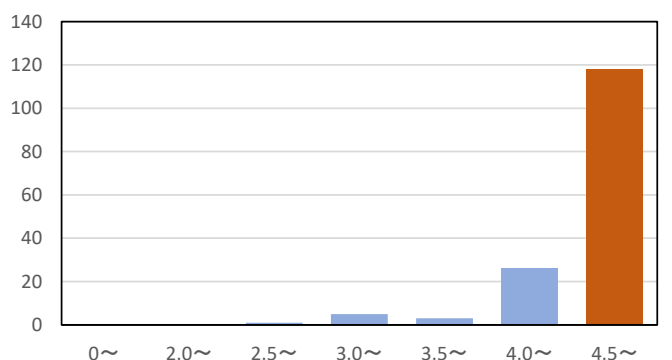


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

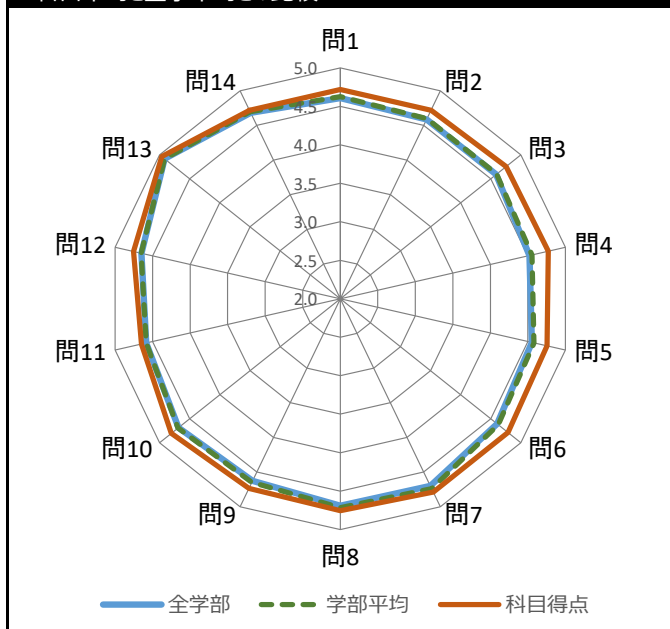


科目名	看護援助論VI	[1K0602]	履修者数	70	回答率	
教員名	新田 真弓		回答数	紙	57	81.4%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
81.4%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 41 blue, 16 green]						4.72	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 41 blue, 16 green]						4.72	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 43 blue, 14 green]						4.75	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 45 blue, 11 green]						4.77	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 44 blue, 12 green]						4.75	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 45 blue, 12 green]						4.79	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 45 blue, 12 green]						4.79	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 43 blue, 14 green]						4.75	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 42 blue, 15 green]						4.74	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 46 blue, 11 green]						4.81	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 40 blue, 14 green, 3 orange]						4.65	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 46 blue, 8 green, 3 orange]						4.75	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 54 blue, 2 green]						4.96	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 42 blue, 14 green]						4.72	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.76	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

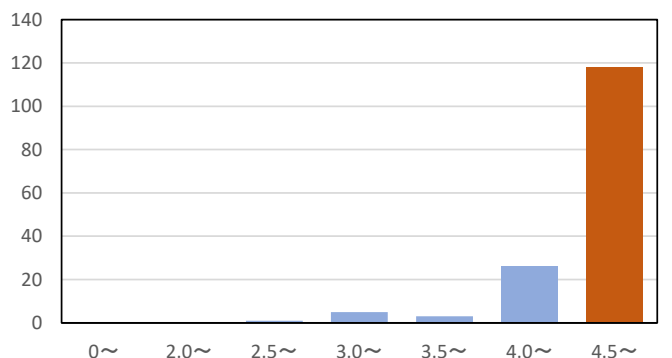


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

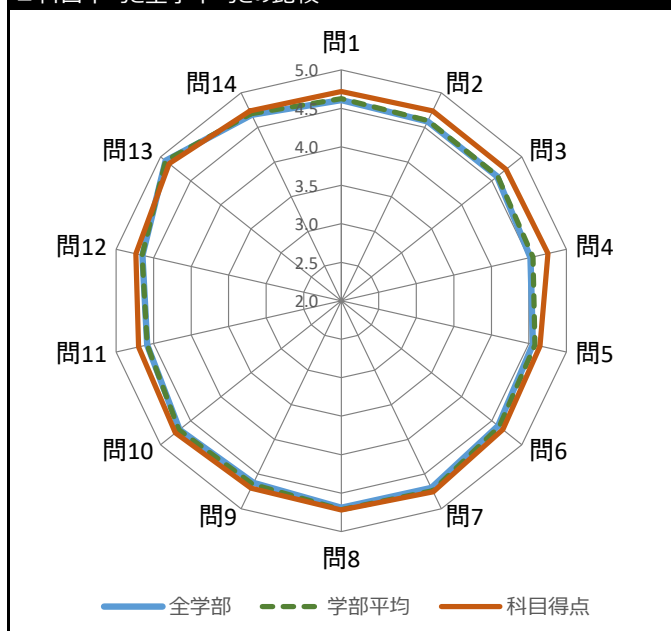


科目名	看護援助論Ⅶ	[1K0701]	履修者数	70	回答率	
教員名	堀川 英起		紙	57	81.4%	81.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.72	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.74	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.74	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.75	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.65	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.68	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.75	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.72	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.70	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.75	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.70	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							4.74	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.86	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.74	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.73	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

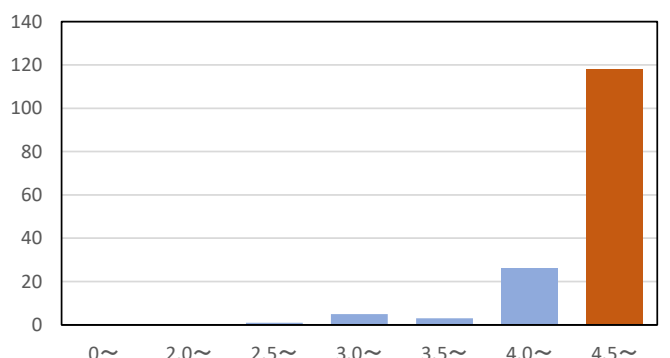


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

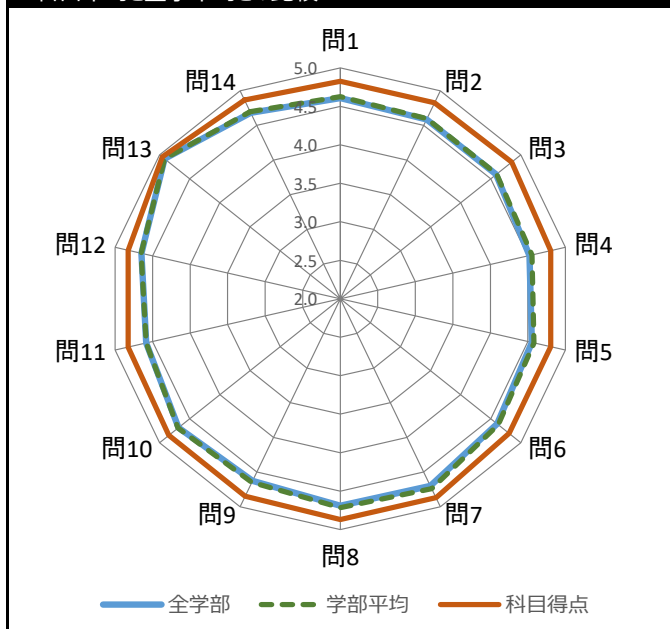


科目名	看護援助論Ⅶ	[1K0702]	履修者数	68	回答率	
教員名	古城門 靖子		回答数	紙	46	67.6%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
67.6%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.83	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.83	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.85	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.80	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.80	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.80	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.87	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.87	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.85	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.85	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.83	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.83	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.96	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.87	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.84	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

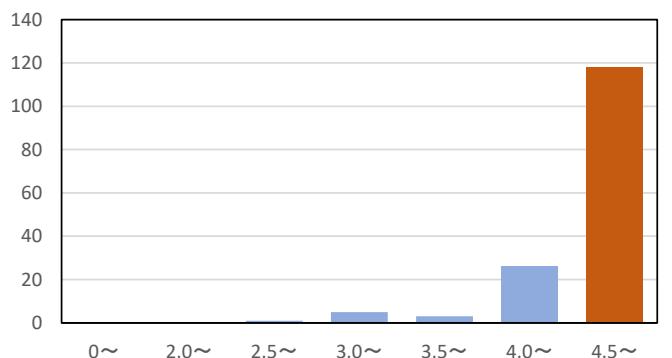


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

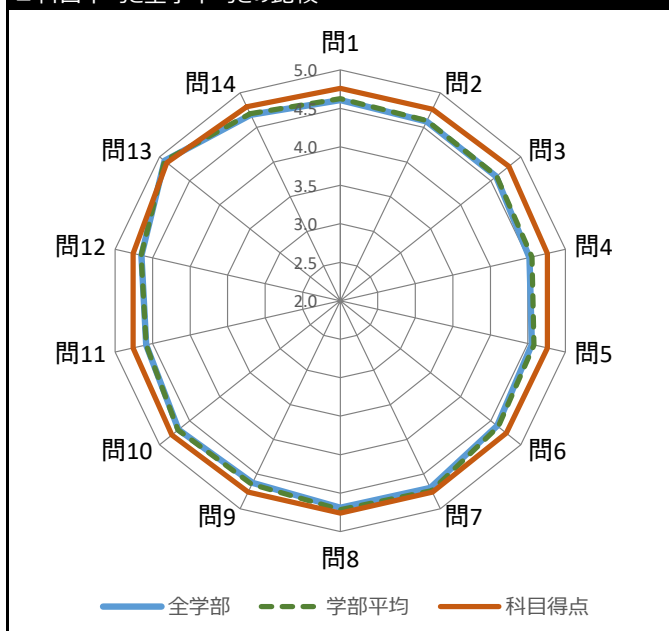


科目名	精神保健看護学Ⅱ	[1L0201]	履修者数	72	回答率	
教員名	堀井 湖浪		紙	25	34.7%	34.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 19 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.76	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 19 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.76	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 20 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.80	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 19 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.76	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 19 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.76	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 19 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.76	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 19 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.76	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 19 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.76	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 19 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.76	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 20 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.80	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 19 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.76	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 19 responses for 'Yes' and 6 for 'No']						4.76	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 22 responses for 'Yes' and 3 for 'No']						4.88	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 20 responses for 'Yes' and 5 for 'No']						4.80	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.78	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

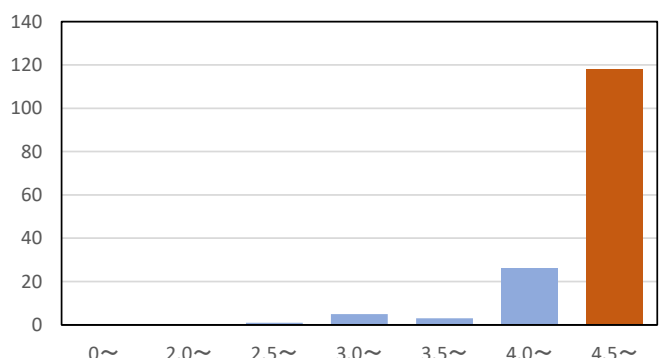


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

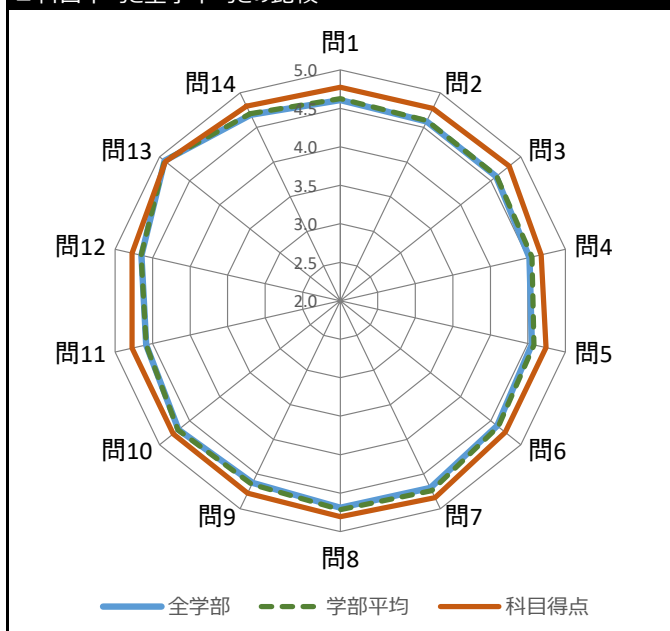


科目名	精神保健看護学Ⅱ	[1L0202]	履修者数	70	回答率	
教員名	堀井 湖浪		紙	31	44.3%	44.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 24 blue, 7 green]						4.77	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 24 blue, 7 green]						4.77	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 25 blue, 6 green]						4.81	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 22 blue, 8 green, 1 yellow]						4.68	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 24 blue, 6 green, 1 yellow]						4.74	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 23 blue, 8 green]						4.74	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 26 blue, 5 green]						4.84	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 25 blue, 6 green]						4.81	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 24 blue, 7 green]						4.77	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 24 blue, 7 green]						4.77	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 24 blue, 7 green]						4.77	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 24 blue, 7 green]						4.77	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 28 blue, 3 green]						4.90	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 25 blue, 6 green]						4.81	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.78	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

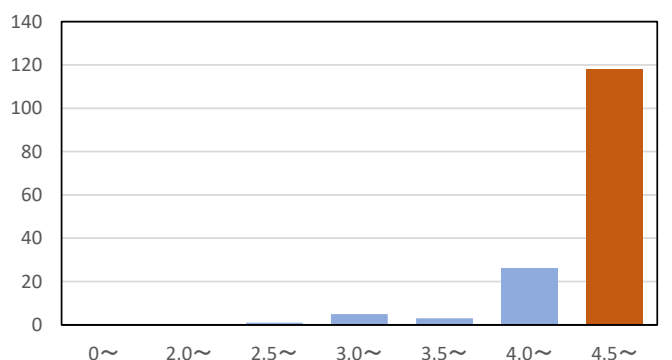


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

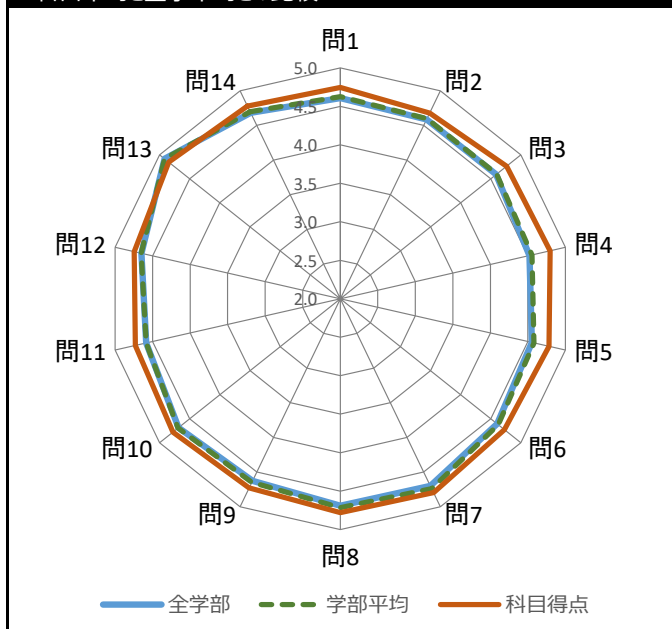


科目名	発達看護学概論	[1M0101]	履修者数	70	回答率	
教員名	江本 リナ		回答数	紙	59	84.3%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
84.3%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.75	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 42% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.68	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 46% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.76	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 48% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.80	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.78	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 44% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.73	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 48% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.80	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.78	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.73	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.78	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.73	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 46% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.75	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 51% 'Strongly agree' and 7% 'Agree']						4.85	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.78	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.76	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

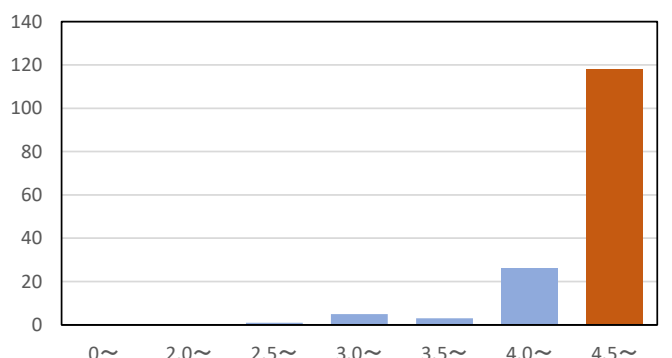


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

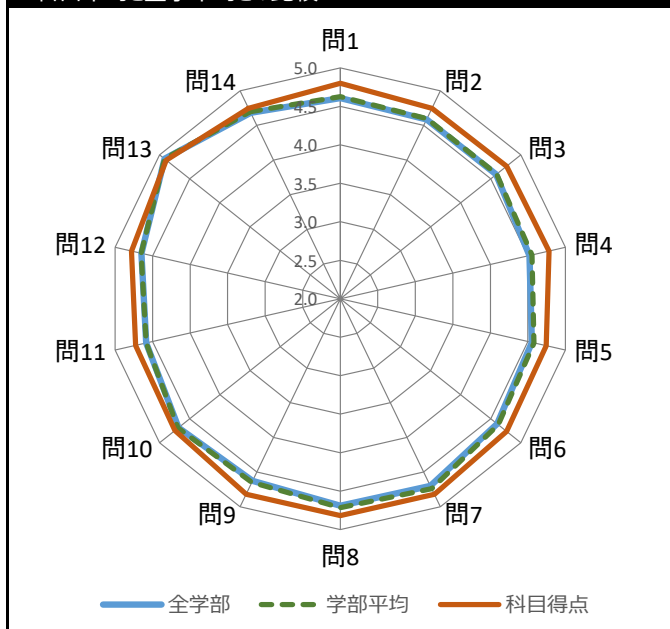


科目名	発達看護学概論	[1M0102]	履修者数	68	回答率	
教員名	江本 リナ		回答数	紙	55	80.9%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
80.9%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 45 blue, 9 green]						4.80	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 42 blue, 12 green]						4.75	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 43 blue, 11 green]						4.76	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 44 blue, 10 green]						4.78	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 43 blue, 10 green, 2 yellow]						4.75	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 43 blue, 11 green]						4.76	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 46 blue, 8 green]						4.82	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 46 blue, 8 green]						4.82	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 46 blue, 8 green]						4.82	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 42 blue, 12 green]						4.75	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 42 blue, 11 green, 2 yellow]						4.73	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 45 blue, 8 green, 2 yellow]						4.78	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 50 blue, 4 green]						4.89	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 44 blue, 8 green, 3 yellow]						4.75	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.78	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

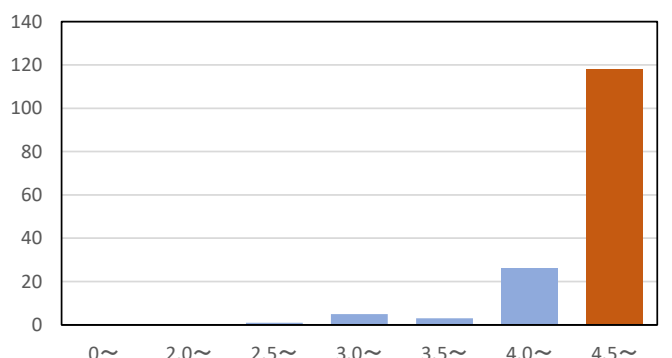


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

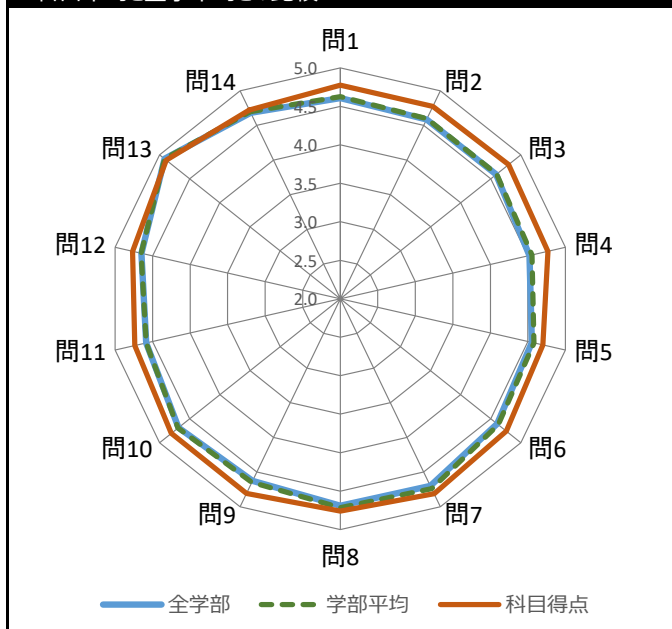


科目名	発達看護学(成人期の看護)	[1M0200]	履修者数	138	回答率	
教員名	本庄 恵子		回答数	紙	129	93.5%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
93.5%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 101 (blue), 27 (green)]						4.78	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 102 (blue), 25 (green)]						4.78	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 104 (blue), 24 (green)]						4.80	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 101 (blue), 26 (green)]						4.77	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 94 (blue), 31 (green), 4 (yellow)]						4.70	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 101 (blue), 25 (green)]						4.76	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 106 (blue), 22 (green)]						4.81	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 102 (blue), 23 (green), 4 (yellow)]						4.76	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 105 (blue), 23 (green)]						4.81	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 105 (blue), 23 (green)]						4.81	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 99 (blue), 26 (green), 4 (yellow)]						4.74	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 102 (blue), 24 (green)]						4.77	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 115 (blue), 12 (green)]						4.89	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 97 (blue), 28 (green), 4 (yellow)]						4.72	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.78	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

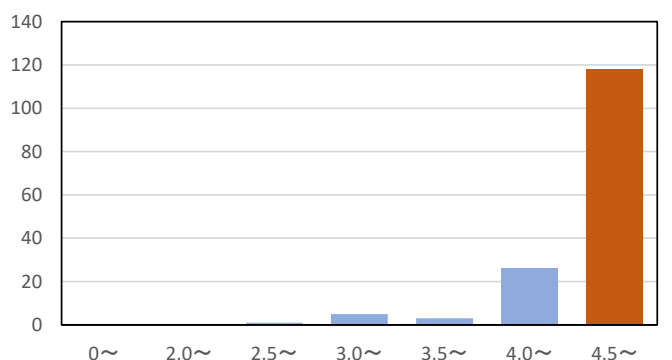


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

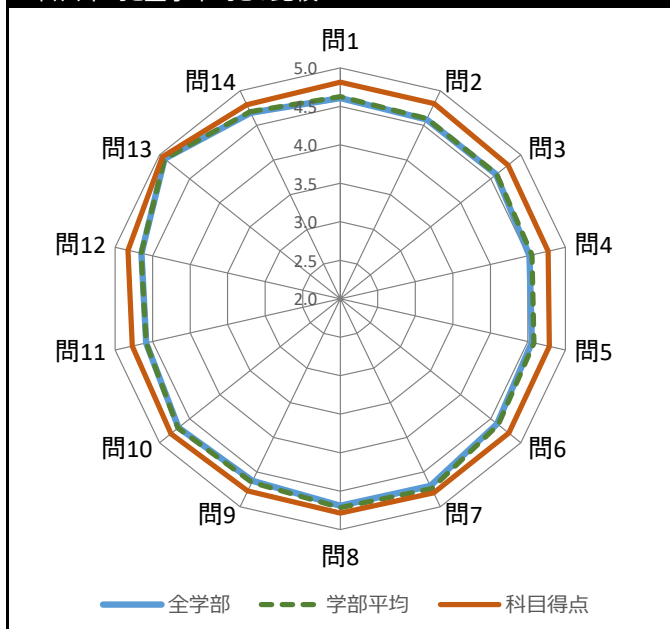


科目名	発達看護学 I ②	[1M0400]	履修者数	142	回答率	
教員名	加藤 千穂		回答数	紙	70	49.3%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
49.3%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.81	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.81	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.79	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.77	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.79	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.80	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.80	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.79	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.77	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.81	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.77	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.83	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.96	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.80	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.81	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

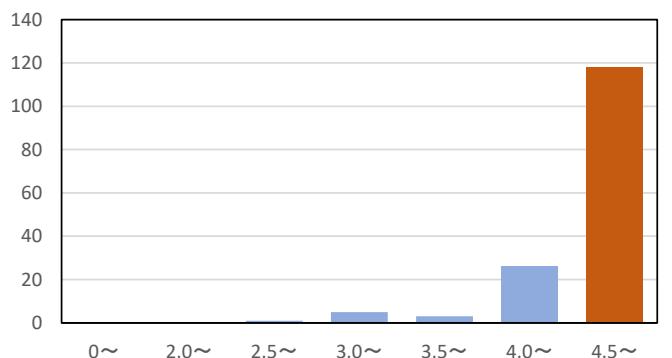


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

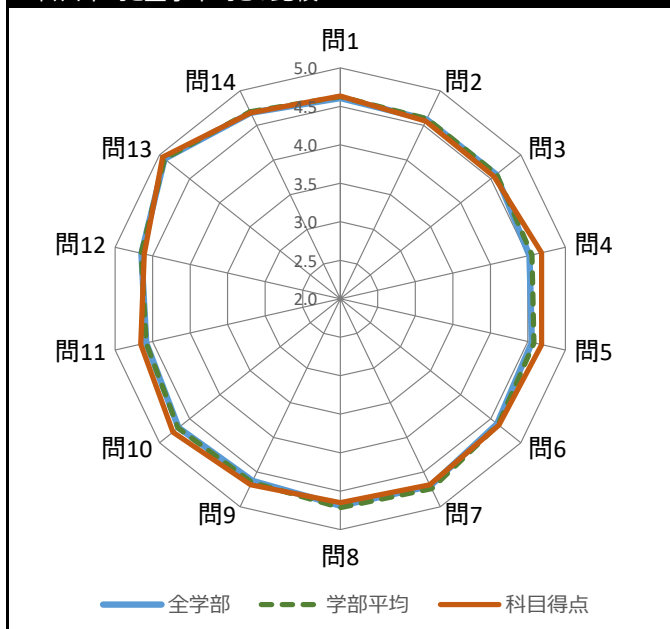


科目名	発達看護学Ⅱ②	[1M0601]	履修者数	72	回答率	
教員名	江本 リナ		回答数	紙	41	56.9%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
56.9%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.63	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.56	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.55	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.68	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.68	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.63	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.68	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.65	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.68	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.78	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.66	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.61	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.95	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.68	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.67	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

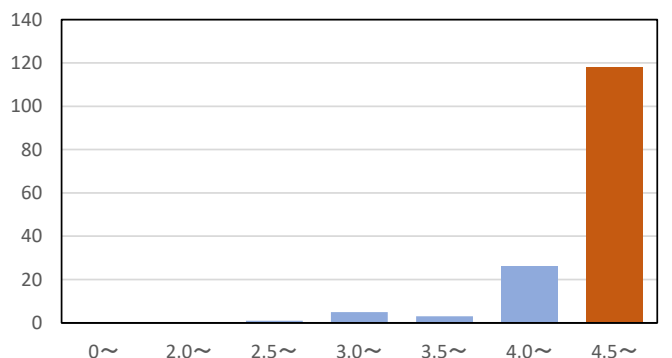


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

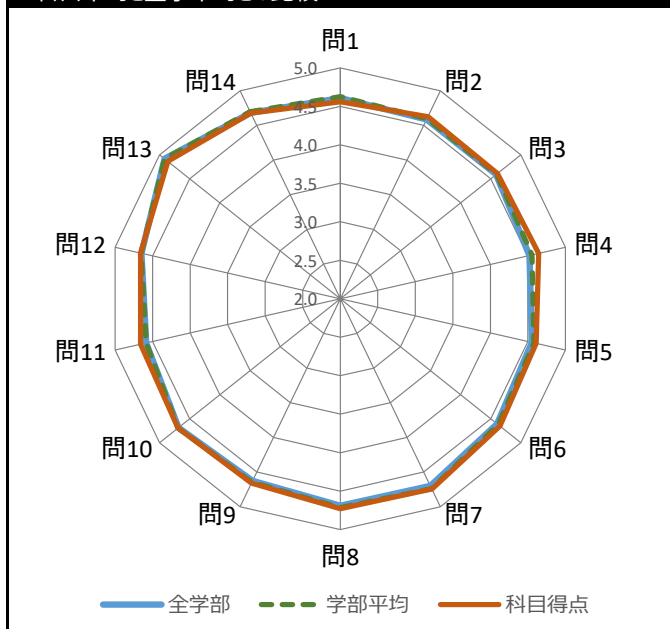


科目名	発達看護学Ⅱ②	[1M0602]	履修者数	70	回答率	
教員名	江本 リナ		回答数	紙	59	84.3%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
84.3%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.56	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.63	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.61	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.64	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.61	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.66	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.75	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.73	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.66	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.69	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.66	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.66	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.86	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.68	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.67	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

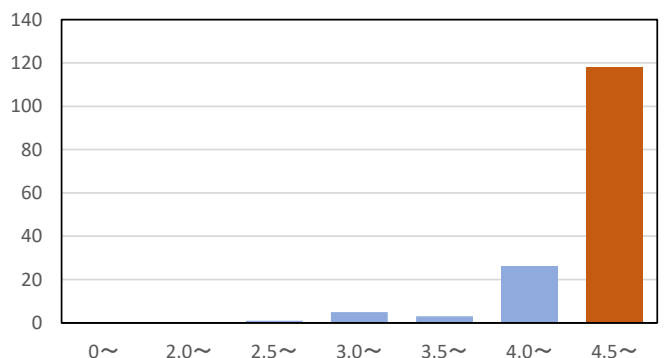


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

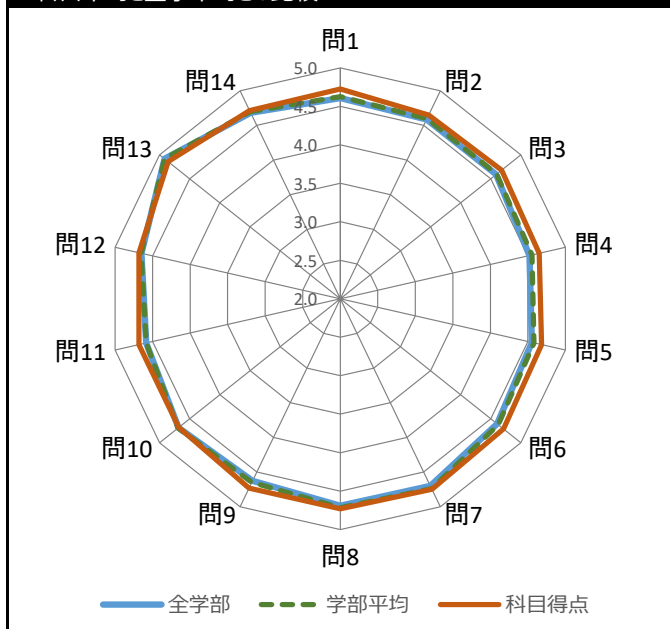


科目名	発達看護学Ⅲ②	[1M0800]	履修者数	142	回答率	
教員名	千葉 京子		回 紙	63	44.4%	44.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 45% blue, 17% green]							4.73	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 43% blue, 18% green, 2% yellow]							4.65	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 44% blue, 18% green]							4.68	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 42% blue, 20% green]							4.65	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 44% blue, 18% green]							4.68	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 45% blue, 18% green]							4.71	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 47% blue, 16% green]							4.75	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 46% blue, 17% green]							4.73	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 46% blue, 17% green]							4.73	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 44% blue, 18% green]							4.68	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 43% blue, 20% green]							4.68	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 44% blue, 18% green]							4.68	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 54% blue, 9% green]							4.86	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 45% blue, 18% green]							4.71	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.71	4.66	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

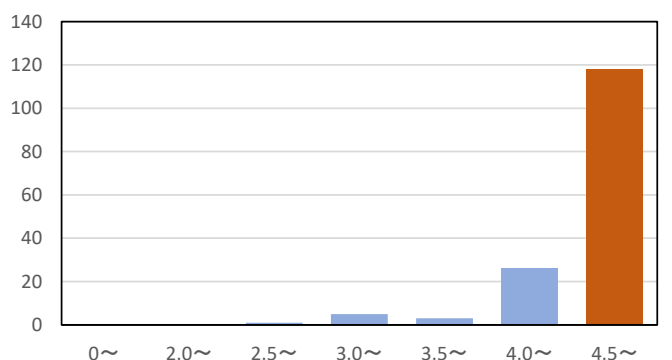


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

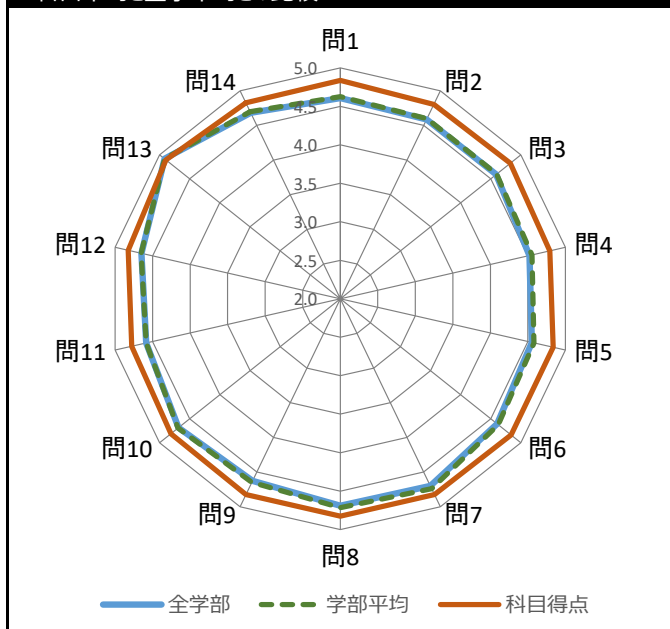


科目名	慢性期ケア	[1N0200]	履修者数	138	回答率	
教員名	田中 孝美		回答数	紙	86	62.3%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
62.3%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.84	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.80	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.83	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.79	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.84	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.84	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.83	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.83	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.83	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.81	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.78	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.83	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.90	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.83	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.82	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

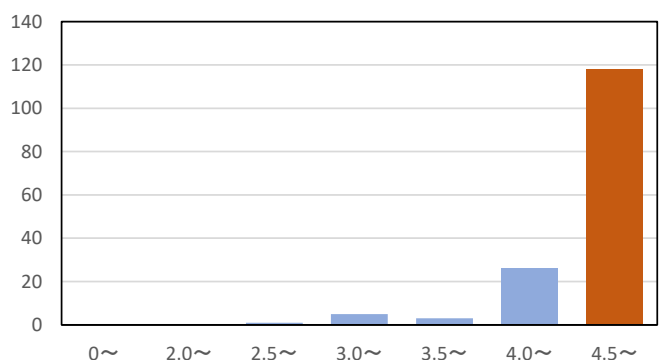


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

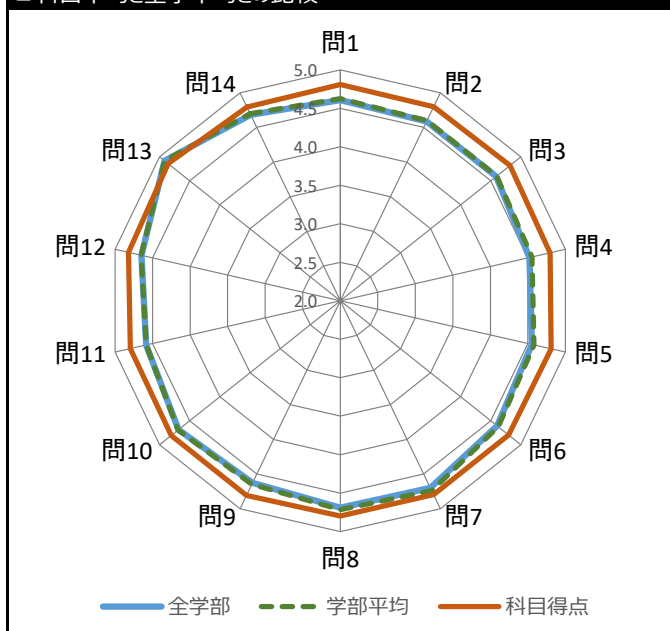


科目名	急性期ケア	[1N0300]	履修者数	138	回答率	
教員名	三浦 英恵		回答数	紙	84	60.9%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 68% blue, 16% green]						4.81	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 67% blue, 17% green]						4.80	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 69% blue, 15% green]						4.82	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 67% blue, 17% green]						4.80	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 68% blue, 16% green]						4.81	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 67% blue, 17% green]						4.80	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 67% blue, 17% green]						4.80	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 67% blue, 17% green]						4.80	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 68% blue, 16% green]						4.81	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 68% blue, 16% green]						4.81	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 67% blue, 17% green]						4.80	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 69% blue, 15% green]						4.82	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 72% blue, 12% green]						4.86	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 66% blue, 17% green]						4.80	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.81	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

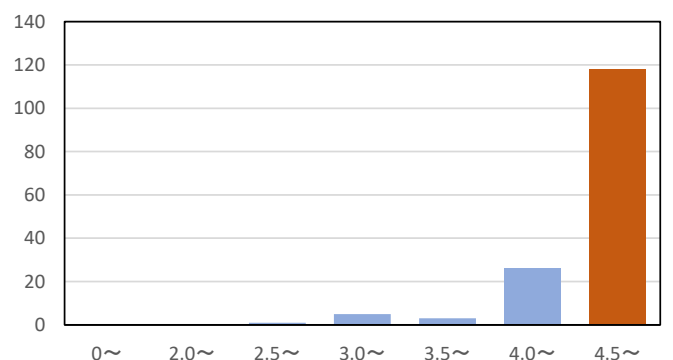


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

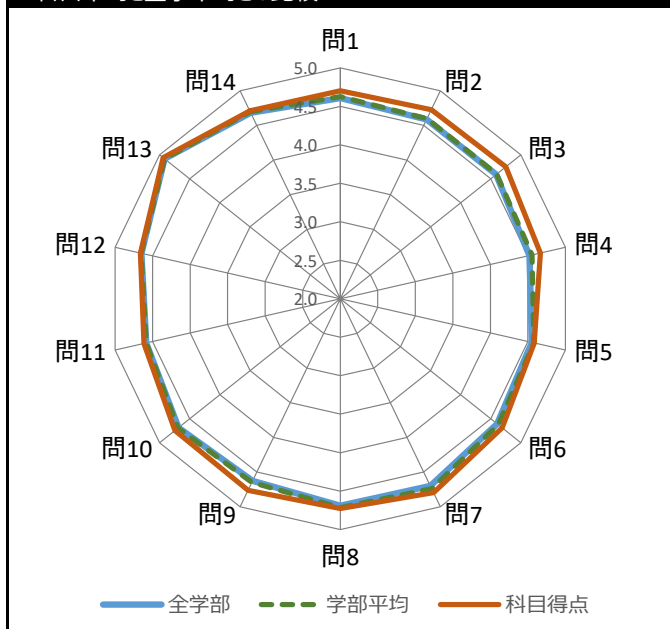


科目名	緩和・終末期ケア	[1N0400]	履修者数	141	回答率	
教員名	吉田 みつ子		回答数	紙	84	59.6%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
59.6%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.70	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.73	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.75	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.67	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.58	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.69	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.80	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.73	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.76	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.75	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.61	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.66	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.94	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.71	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.72	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

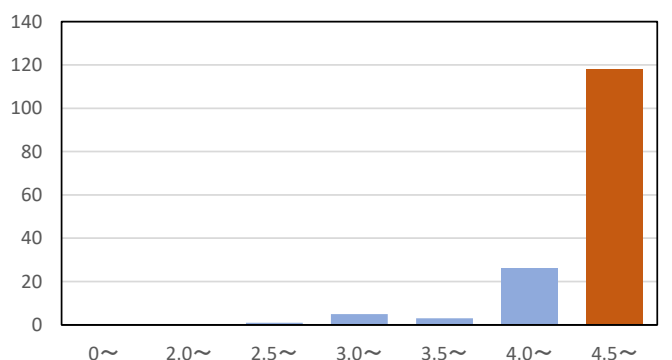


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

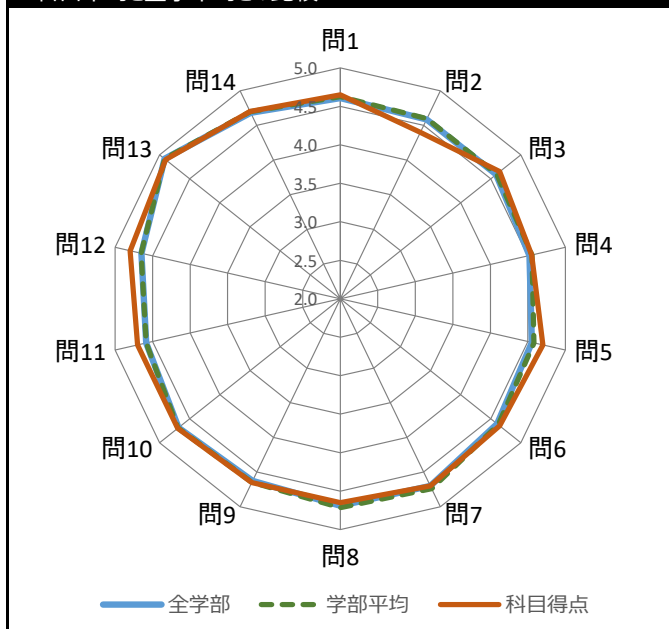


科目名	保健福祉行政論	[100300]	履修者数	20	回答率	
教員名	櫻山 豊夫		紙	20	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 14 'Strongly agree', 5 'Agree', 1 'Disagree']						4.65	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 11 'Strongly agree', 6 'Agree', 3 'Disagree']						4.40	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 14 'Strongly agree', 5 'Agree', 1 'Disagree']						4.65	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 12 'Strongly agree', 7 'Agree', 1 'Disagree']						4.55	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 15 'Strongly agree', 4 'Agree', 1 'Disagree']						4.70	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 14 'Strongly agree', 5 'Agree', 1 'Disagree']						4.65	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 15 'Strongly agree', 4 'Agree', 1 'Disagree']						4.70	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 14 'Strongly agree', 5 'Agree', 1 'Disagree']						4.65	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 14 'Strongly agree', 5 'Agree', 1 'Disagree']						4.65	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 15 'Strongly agree', 4 'Agree', 1 'Disagree']						4.70	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 15 'Strongly agree', 4 'Agree', 1 'Disagree']						4.70	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 16 'Strongly agree', 4 'Agree']						4.80	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 18 'Strongly agree', 2 'Disagree']						4.90	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 14 'Strongly agree', 6 'Agree']						4.70	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.67	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

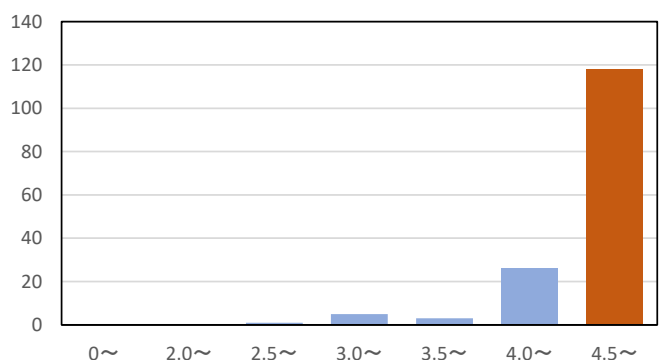


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

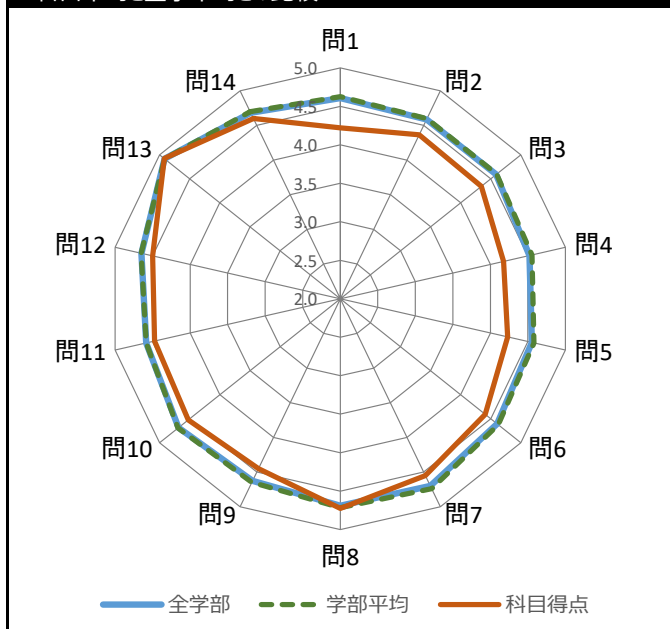


科目名	在宅看護学	[100500]	履修者数	150	回答率	
教員名	石田 千絵		回答数	紙	41	27.3%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
27.3%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.22	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.37	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.34	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.18	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.23	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.41	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.55	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.73	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.45	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.53	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.48	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.50	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.93	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.60	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.46	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

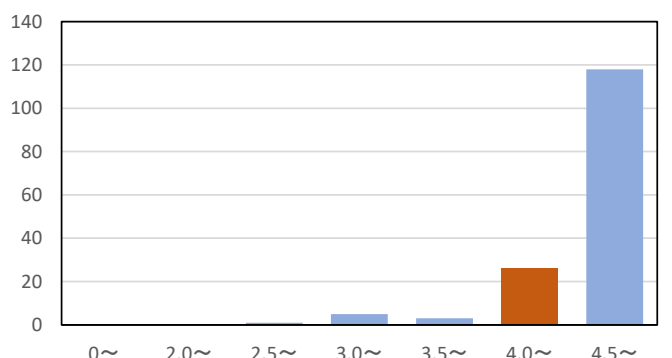


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

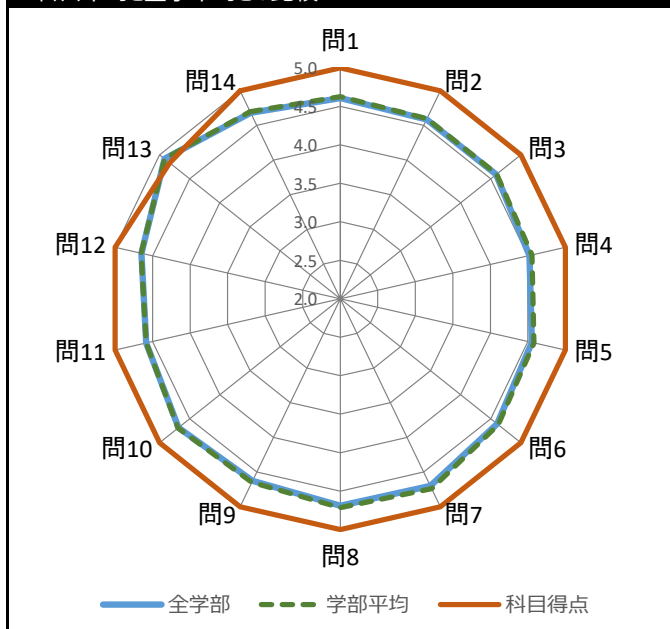


科目名	看護管理学Ⅱ	[1P0200]	履修者数	6	回答率	
教員名	安部 陽子		回答数	紙	6	100.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
						100.0%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	6						5.00	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6						5.00	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6						5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	6						5.00	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6						5.00	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	6						5.00	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6						5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6						5.00	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	6						5.00	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	6						5.00	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	6						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6						5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5				1		4.83	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6						5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.99	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

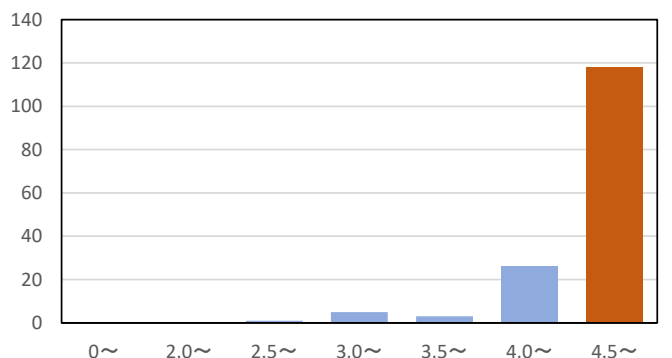


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

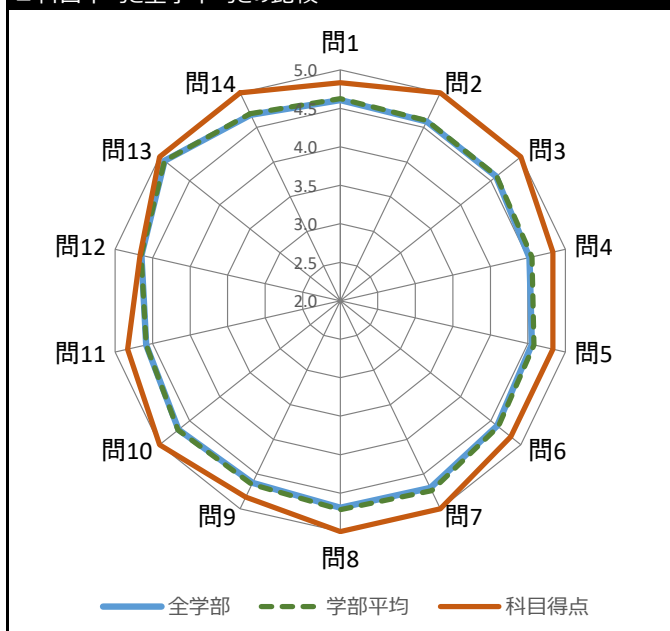


科目名	看護教育方法	[1P0500]	履修者数	16	回答率	
教員名	西田 朋子		回答数	紙	6	37.5%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
37.5%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]							4.83	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 6 blue]							5.00	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 6 blue]							5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]							4.83	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]							4.83	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]							4.83	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 6 blue]							5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 6 blue]							5.00	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]							4.83	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 6 blue]							5.00	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 5 blue, 1 green]							4.83	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 5 blue, 1 yellow]							4.67	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 6 blue]							5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 6 blue]							5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.90	4.66	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

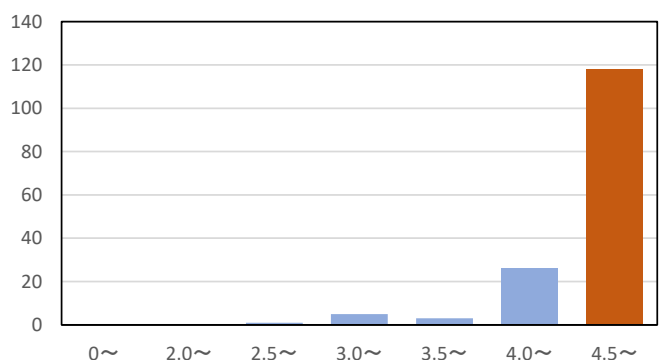


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

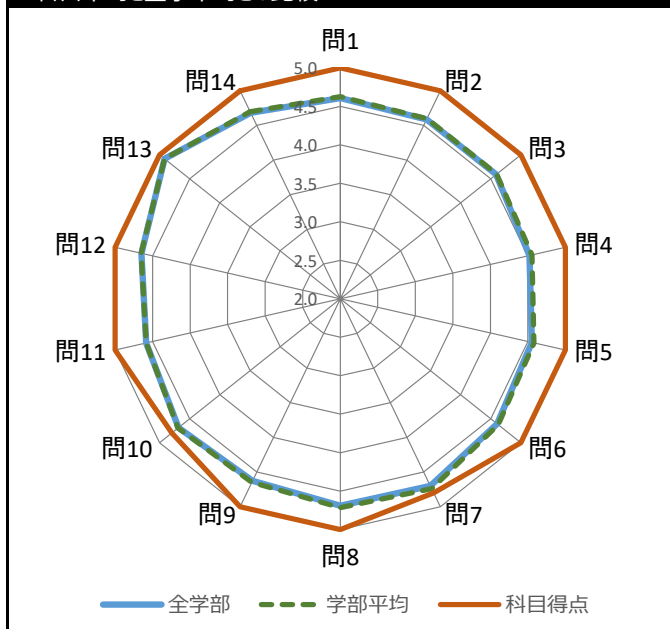


科目名	応用看護学特論 I ①	[1Q0100]	履修者数	6	回答率	
教員名	安部 陽子		回答数	紙	5	83.3%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
83.3%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5							5.00	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5							5.00	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5							5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	5							5.00	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5							5.00	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	5							5.00	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4				1			4.80	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5							5.00	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	5							5.00	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	4				1			4.80	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5							5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5							5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5							5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5							5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.97	4.66	4.64	

■ 科目平均と全学平均との比較

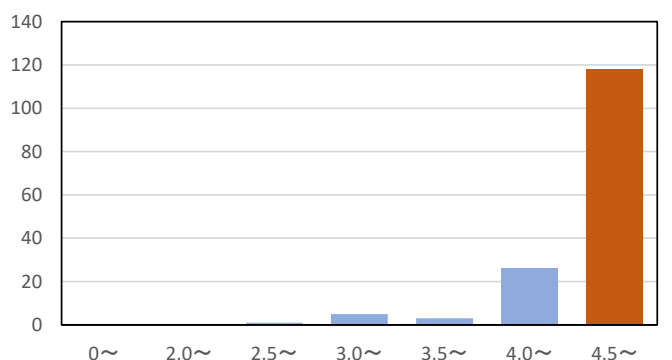


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

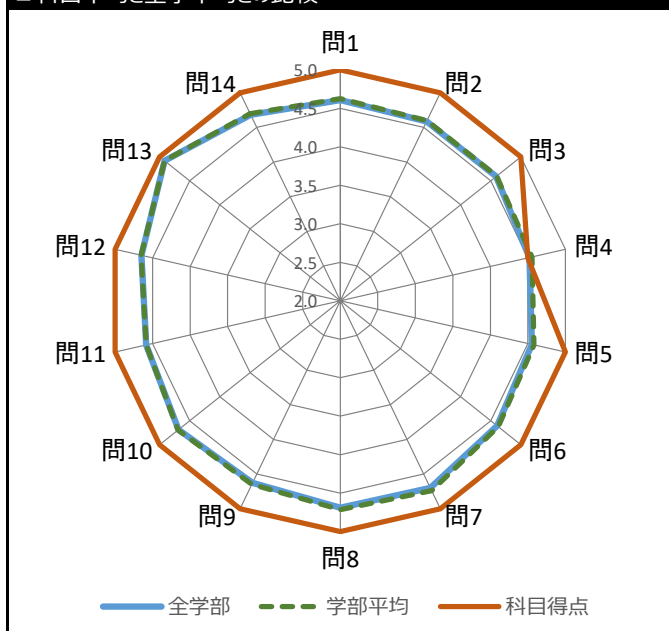


科目名	応用看護学特論 I ②	[1Q0200]	履修者数	2	回答率	
教員名	齋藤 英子		紙	2	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2						5.00	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2						5.00	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	2						5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	1	1					4.50	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	2						5.00	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	2						5.00	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2						5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	2						5.00	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	2						5.00	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	2						5.00	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	2						5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	2						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2						5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.96	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

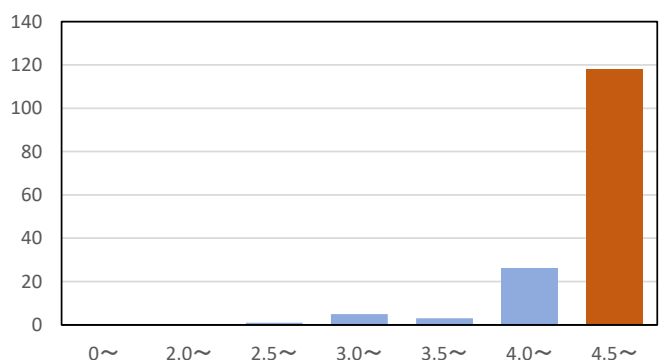


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

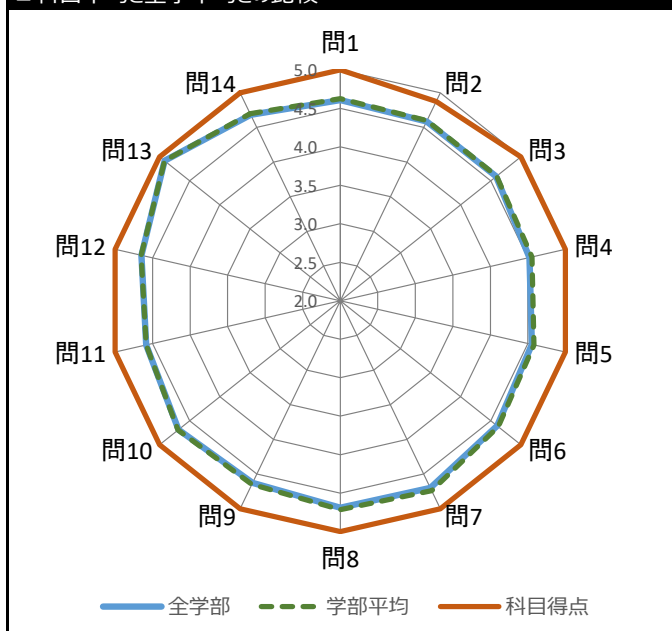


科目名	応用看護学特論 I ③	[1Q0300]	履修者数	8	回答率	
教員名	江本 リナ		回答数	紙	8	100.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
						100.0%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	8							5.00	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7					1		4.88	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8							5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	8							5.00	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	8							5.00	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	8							5.00	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	8							5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8							5.00	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	8							5.00	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	8							5.00	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	8							5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	8							5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	8							5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8							5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.99	4.66	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

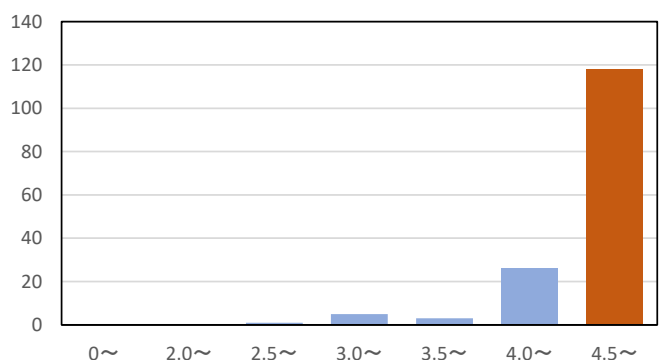


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

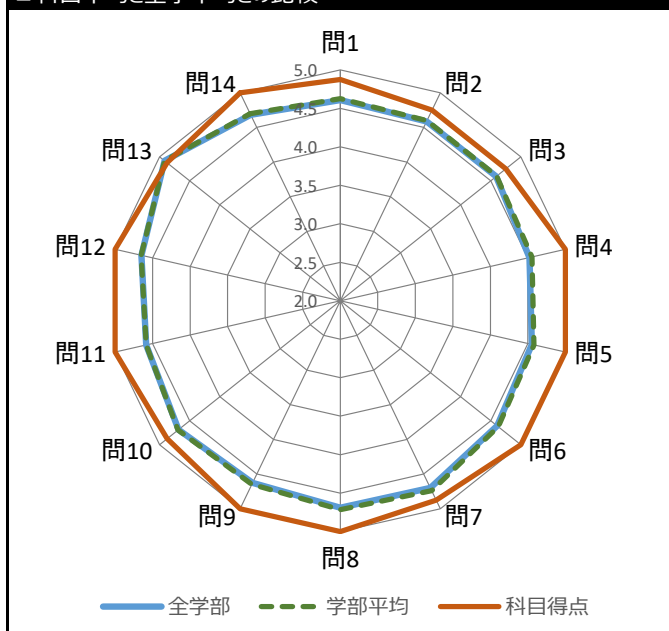


科目名	応用看護学特論Ⅱ①	[1Q0500]	履修者数	8	回答率	
教員名	古城門 靖子		回 紙	8	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 6 blue, 2 green]						4.75	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 6 blue, 2 green]						4.75	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 8 blue]						5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						4.88	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]						5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.93	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

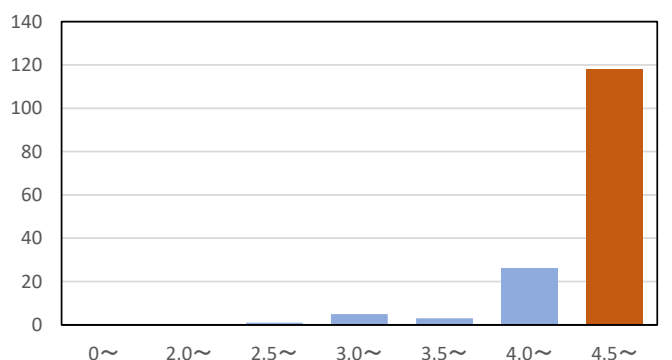


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

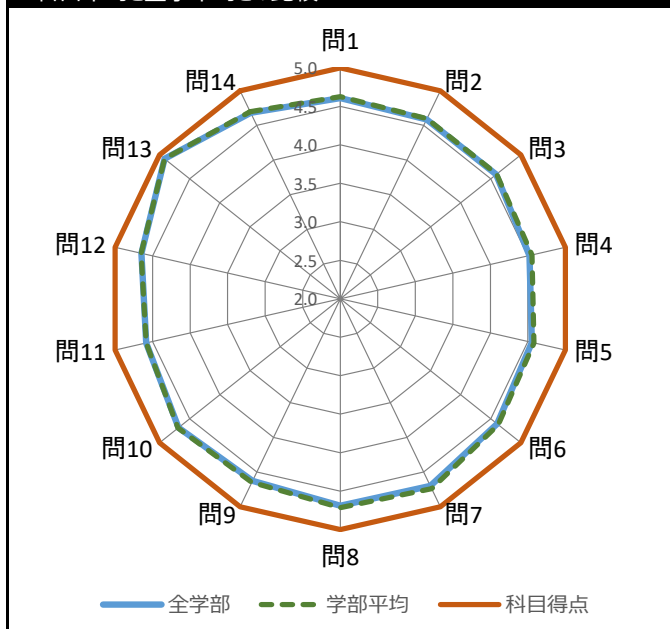


科目名	応用看護学特論Ⅱ②	[1Q0600]	履修者数	4	回答率	
教員名	坂口 千鶴		紙	2	50.0%	50.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2						5.00	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2						5.00	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	2						5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	2						5.00	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	2						5.00	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	2						5.00	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2						5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	2						5.00	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	2						5.00	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	2						5.00	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	2						5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	2						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2						5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								5.00	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

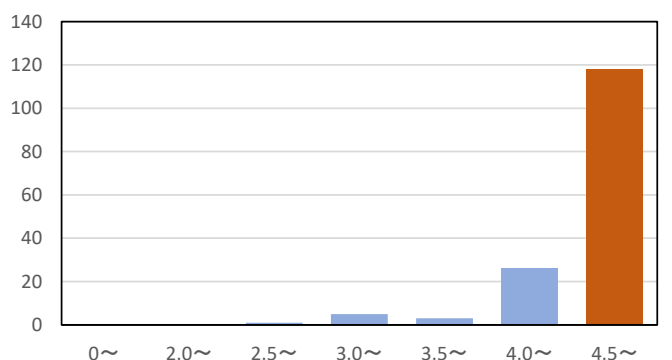


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

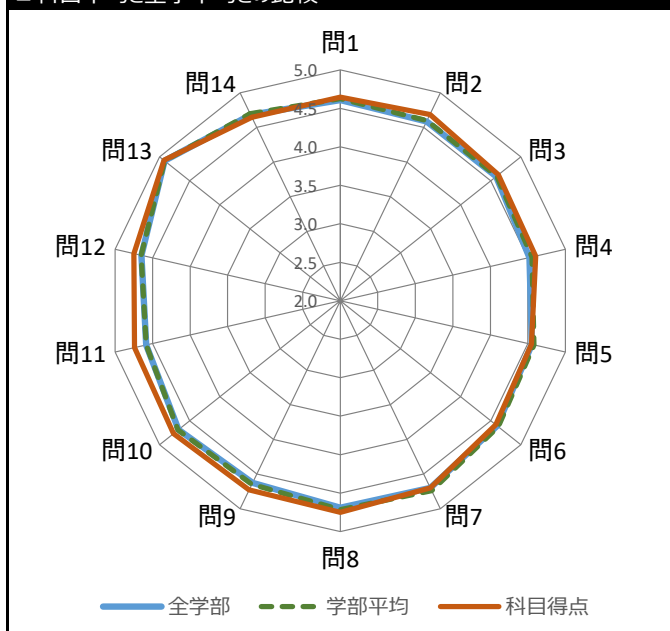


科目名	国際看護学 I	[1R0100]	履修者数	150	回答率	
教員名	織方 愛		紙	96	64.0%	64.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree' and 28% 'Agree']						3	4.65	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						3	4.69	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 30% 'Agree']						3	4.63	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 29% 'Agree']						3	4.60	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 30% 'Agree']						5	4.55	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 32% 'Agree']						4	4.58	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree' and 29% 'Agree']						3	4.70	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 72% 'Strongly agree' and 24% 'Agree']						3	4.75	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						3	4.73	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree' and 22% 'Agree']						3	4.77	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 72% 'Strongly agree' and 23% 'Agree']						3	4.74	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 72% 'Strongly agree' and 24% 'Agree']						3	4.75	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 89% 'Strongly agree' and 7% 'Agree']						7	4.93	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4	4.65	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.69	4.66	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

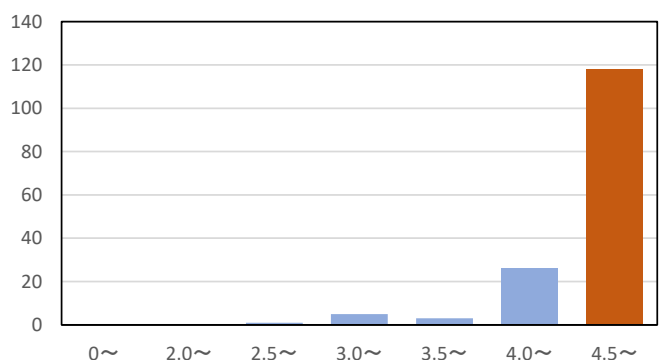


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

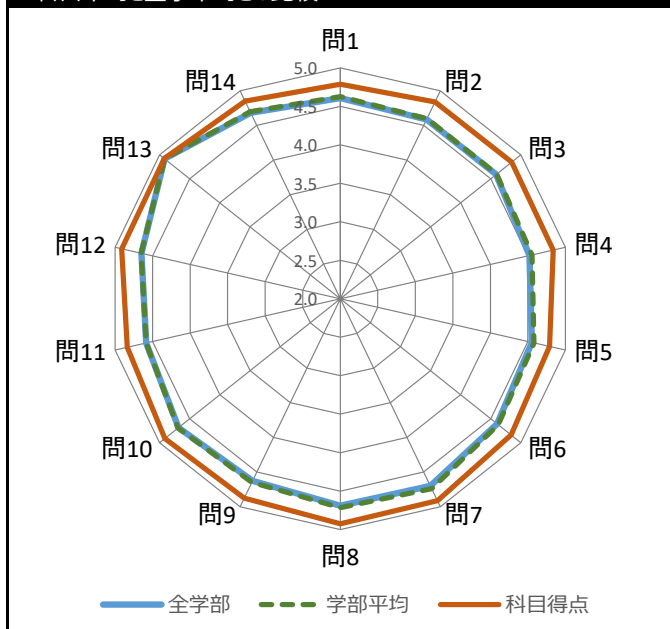


科目名	災害看護論Ⅱ	[1R0500]	履修者数	127	回答率	
教員名	内木 美恵		回答数	紙	80	63.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
63.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.79	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.84	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.85	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.84	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.79	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.84	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.91	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.93	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.88	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.91	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.84	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.91	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.93	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.85	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.86	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

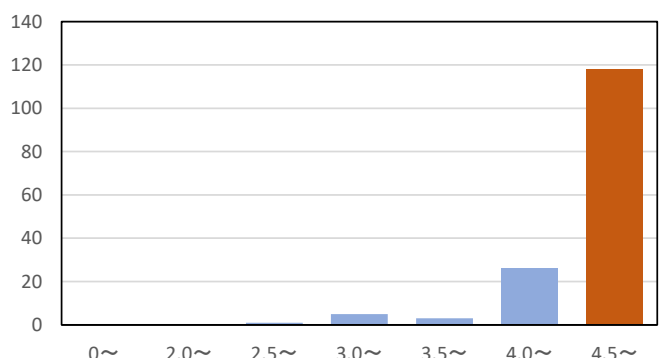


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

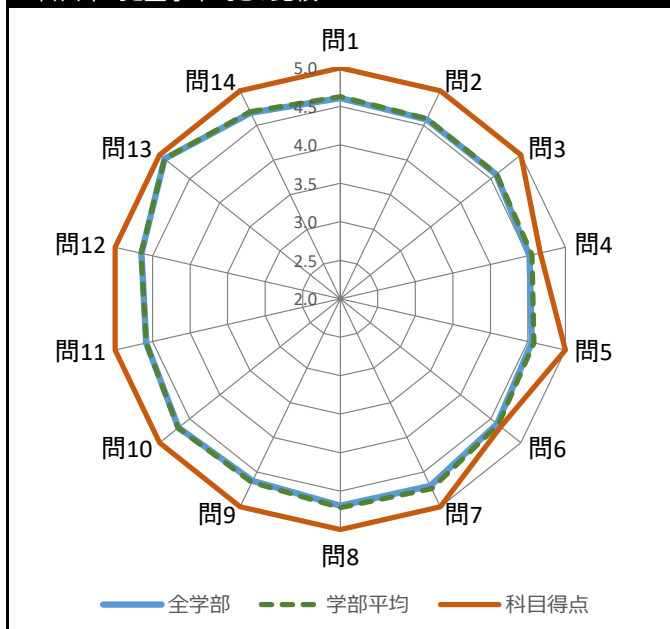


科目名	研究方法論Ⅲ	[1T0300]	履修者数	6	回答率		
教員名	川崎 洋平		回答数	紙	3	50.0%	
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0	0.0%
							50.0%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3						5.00	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3						5.00	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3						5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	2		1				4.67	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3						5.00	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	2		1				4.67	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3						5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	3						5.00	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	3						5.00	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	3						5.00	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	3						5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	3						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3						5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.95	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

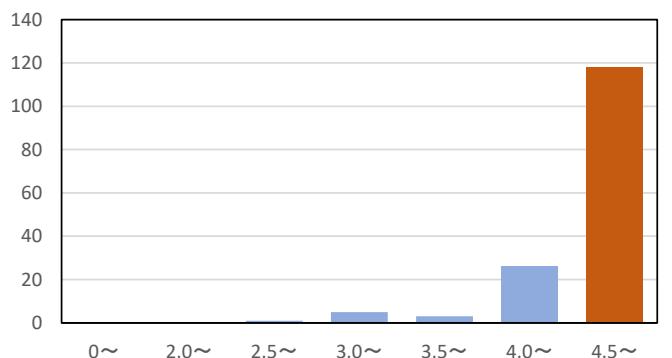


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

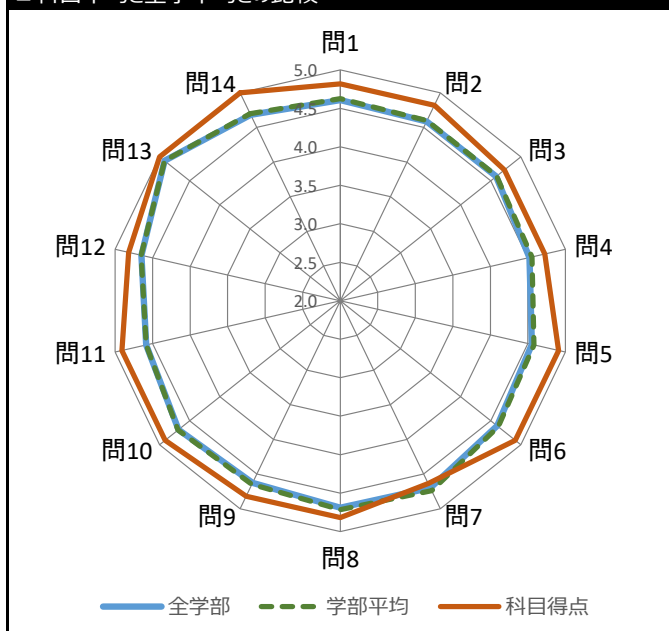


科目名	研究基礎 I	[1T0601]	履修者数	15	回答率	
教員名	川崎 修一		紙	11	73.3%	73.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 11 blue]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 11 blue]						5.00	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.84	4.66	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

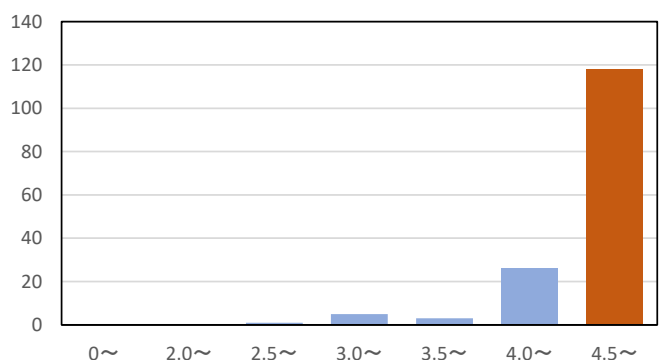


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

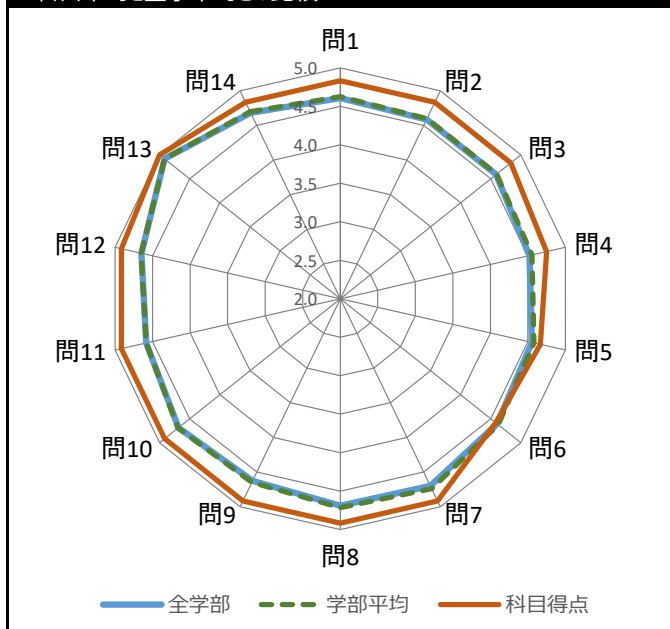


科目名	研究基礎 I	[1T0602]	履修者数	15	回答率	
教員名	角田 敦彦		回答数	紙	12	80.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
80.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green, 1 yellow]						4.75	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green, 1 yellow]						4.67	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green, 1 orange]						4.58	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 12 blue]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.85	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

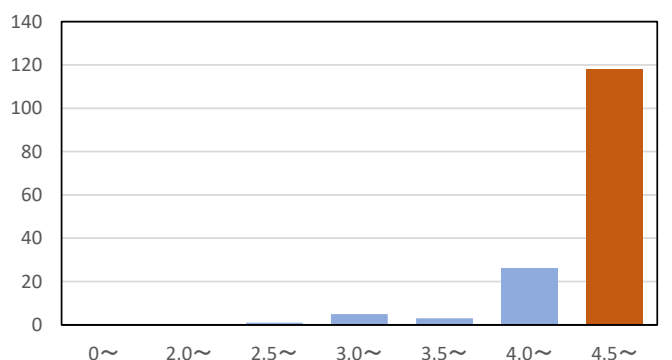


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

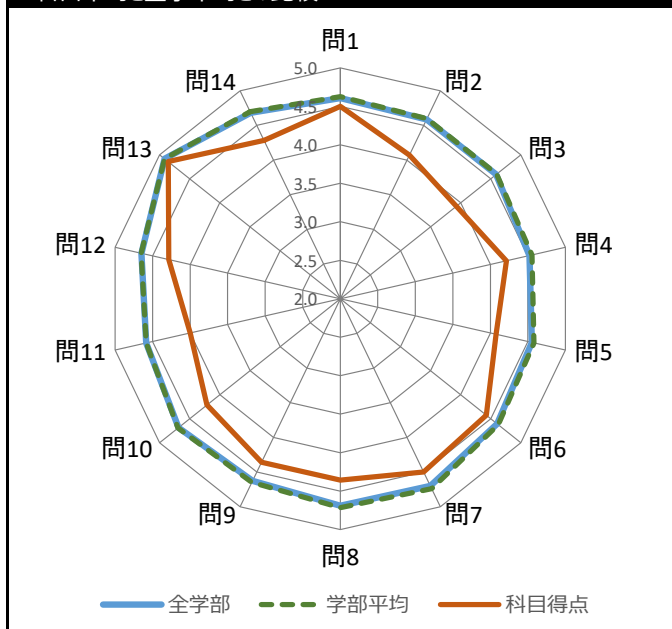


科目名	研究基礎 I	[1T0603]	履修者数	15	回答率	
教員名	井上 明宏		回答数	紙	14	93.3%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
93.3%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 8 blue, 5 green, 1 yellow]						4.50	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 7 blue, 4 green, 1 yellow, 1 orange, 1 red]						4.07	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 6 blue, 4 green, 2 yellow, 1 orange, 1 red]						3.93	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 6 blue, 5 green, 3 yellow]						4.21	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 6 blue, 3 green, 3 yellow, 1 orange, 1 red]						4.08	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 8 blue, 4 green, 2 yellow]						4.43	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 10 blue, 2 green, 1 yellow, 1 orange, 1 red]						4.50	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 8 blue, 4 green, 1 yellow, 1 orange, 1 red]						4.36	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 4 green, 1 yellow, 1 orange, 1 red]						4.36	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 6 blue, 5 green, 3 yellow]						4.21	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 6 blue, 4 green, 3 yellow, 1 orange, 1 red]						4.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 8 blue, 4 green, 1 yellow, 1 orange, 1 red]						4.29	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 13 blue, 1 yellow]						4.86	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 8 blue, 3 green, 2 yellow, 1 orange, 1 red]						4.29	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.29	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

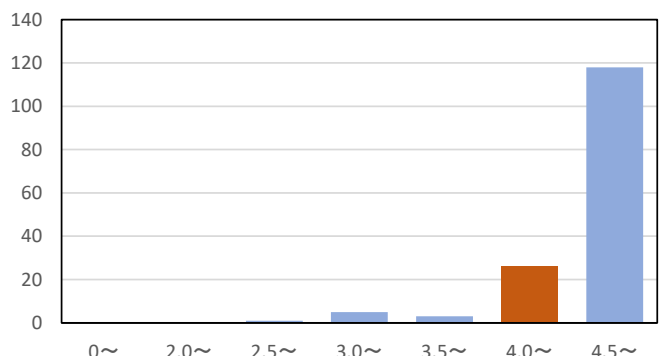


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

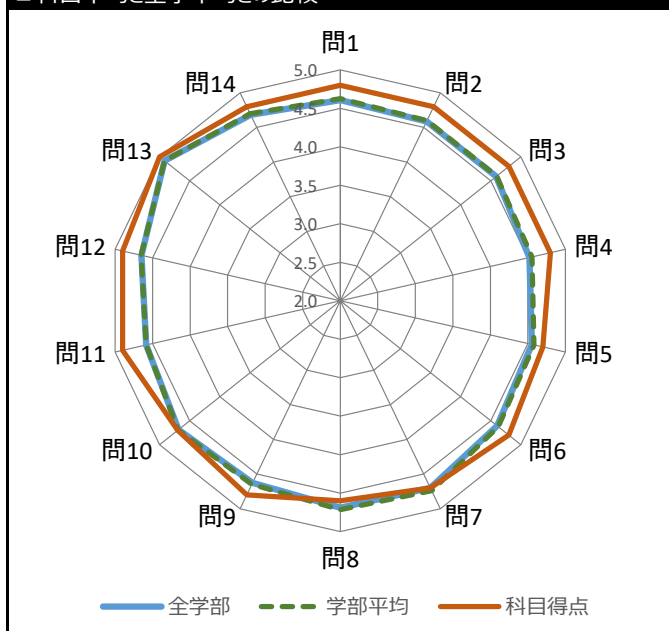


科目名	研究基礎 I	[1T0604]	履修者数	15	回答率	
教員名	川崎 洋平		紙	10	66.7%	66.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 8 blue, 1 green, 1 yellow]						4.70	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 7 blue, 2 green, 1 yellow]						4.60	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 9 blue, 1 green]						4.90	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 9 blue, 1 green]						4.90	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 10 blue]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.79	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

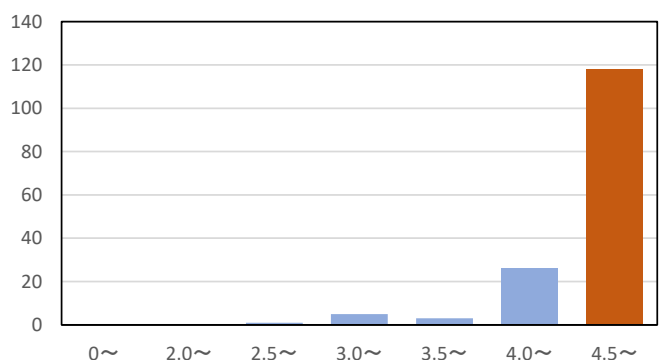


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

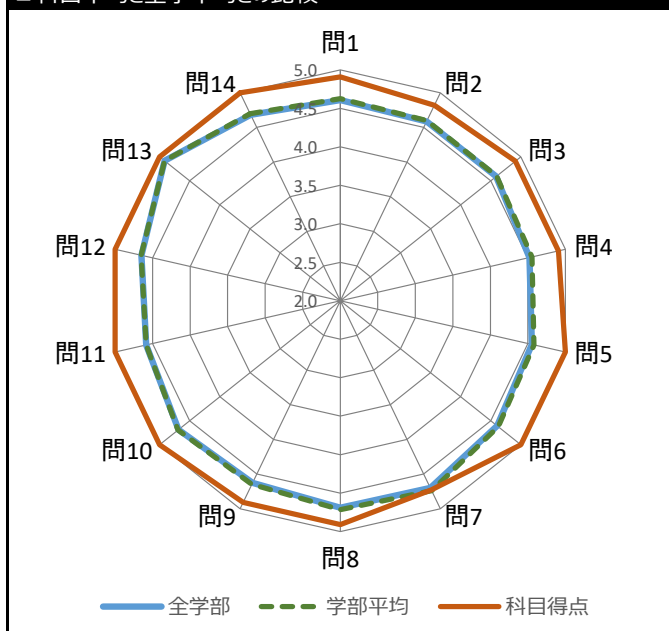


科目名	研究基礎 I	[1T0605]	履修者数	14	回答率	
教員名	遠藤 公久		紙	11	78.6%	78.6%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	10						1	4.91	4.63	4.61	
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9						2	4.82	4.60	4.59	
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10						1	4.91	4.60	4.59	
4	授業の内容はわかりやすかった。	10						1	4.91	4.56	4.52	
5	授業の内容は興味のあるものだった。	11							5.00	4.58	4.55	
6	この授業は自分にとって価値があった。	11							5.00	4.62	4.61	
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	9						1	1	4.73	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10						1	4.91	4.72	4.69	
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	10						1	4.91	4.65	4.63	
10	教員の熱意が伝わってきた。	11							5.00	4.69	4.69	
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	11							5.00	4.58	4.58	
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11							5.00	4.65	4.65	
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	11							5.00	4.92	4.92	
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11							5.00	4.70	4.68	
問1~14全問平均								4.94	4.66	4.64		

■ 科目平均と全学部平均との比較

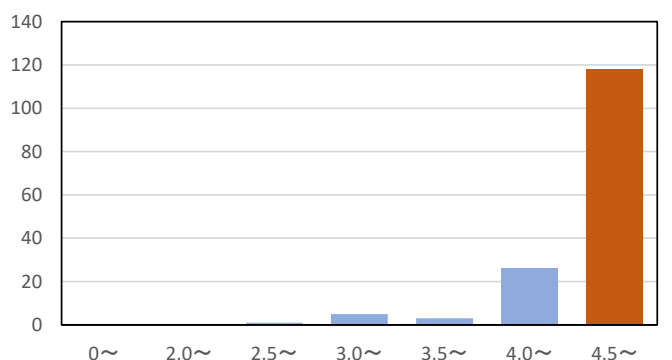


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

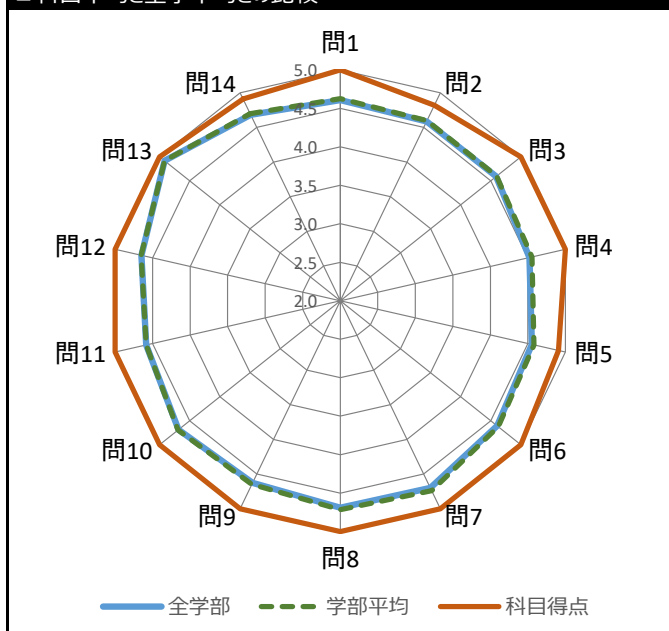


科目名	研究基礎 I	[1T0606]	履修者数	15	回答率	
教員名	遠藤 花子		回答数	紙	11	73.3%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
73.3%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	11							5.00	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9					2		4.82	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11							5.00	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	11							5.00	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	10					1		4.91	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	11							5.00	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	11							5.00	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	11							5.00	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	11							5.00	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	11							5.00	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	11							5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11							5.00	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	11							5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10					1		4.91	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.97	4.66	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

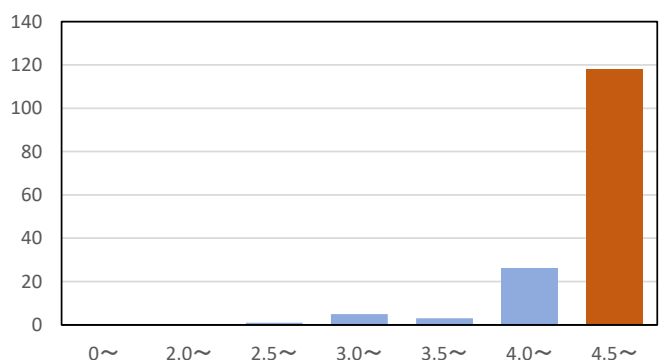


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

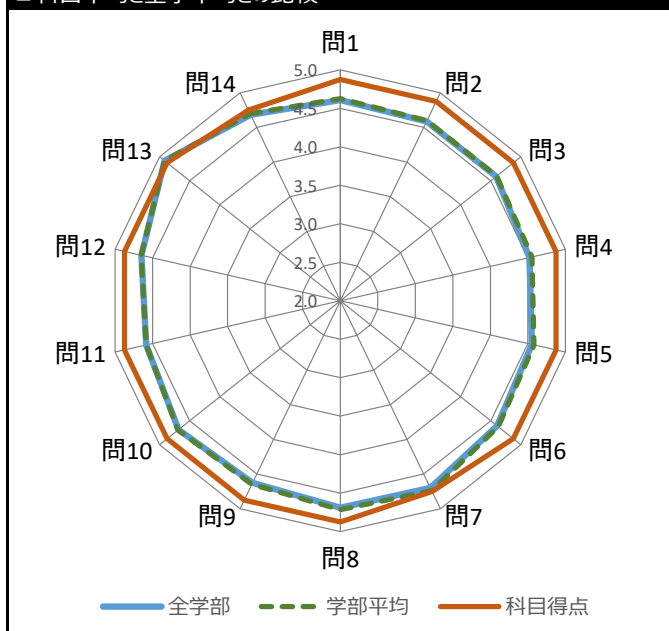


科目名	研究基礎 I	[1T0607]	履修者数	14	回答率	
教員名	鷹田 佳典		回答数	紙	8	57.1%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
57.1%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.88	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.88	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.88	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.88	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.88	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.88	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.75	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.88	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.88	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.88	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.88	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.88	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.88	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.75	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.86	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

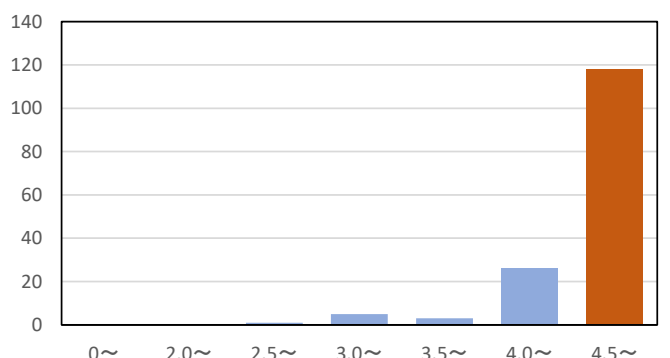


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

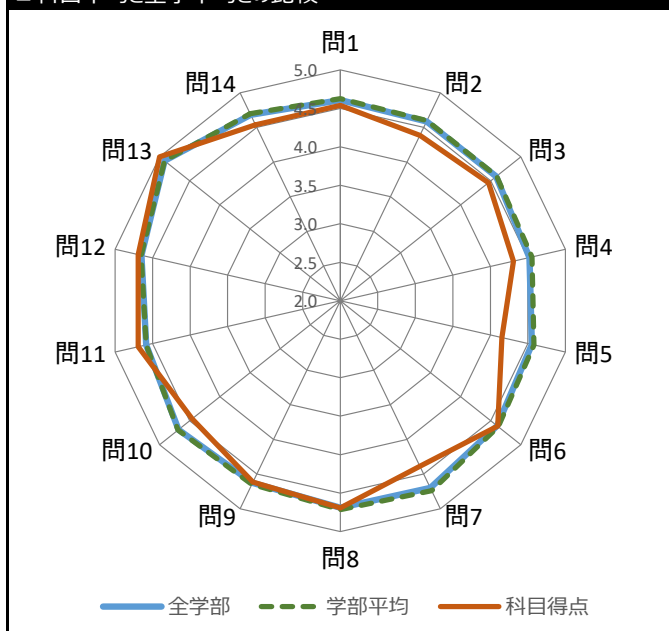


科目名	研究基礎 I	[1T0608]	履修者数	14	回答率	
教員名	越後 敬子		回答数	紙	13	92.9%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 8 blue, 4 green, 1 yellow]						4.54	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 7 blue, 4 green, 2 yellow]						4.38	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 7 blue, 5 green, 1 yellow]						4.46	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 6 blue, 5 green, 2 yellow]						4.31	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 6 blue, 3 green, 4 yellow]						4.15	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 9 blue, 3 green, 1 yellow]						4.62	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 9 blue, 1 green, 2 yellow, 1 orange]						4.38	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green, 1 yellow]						4.69	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 9 blue, 3 green, 1 yellow]						4.62	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green, 2 yellow]						4.46	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green, 1 yellow]						4.69	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green, 1 yellow]						4.69	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 13 blue]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 8 blue, 4 green, 1 yellow]						4.54	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.54	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

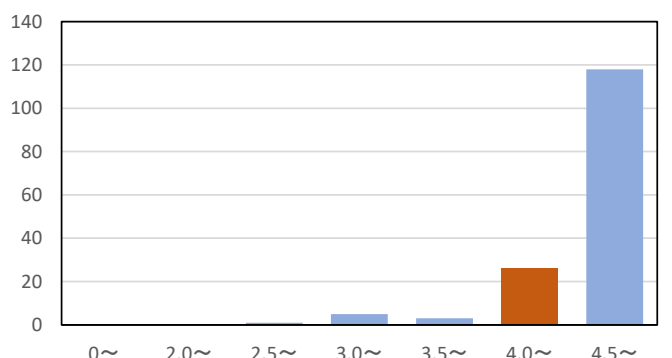


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

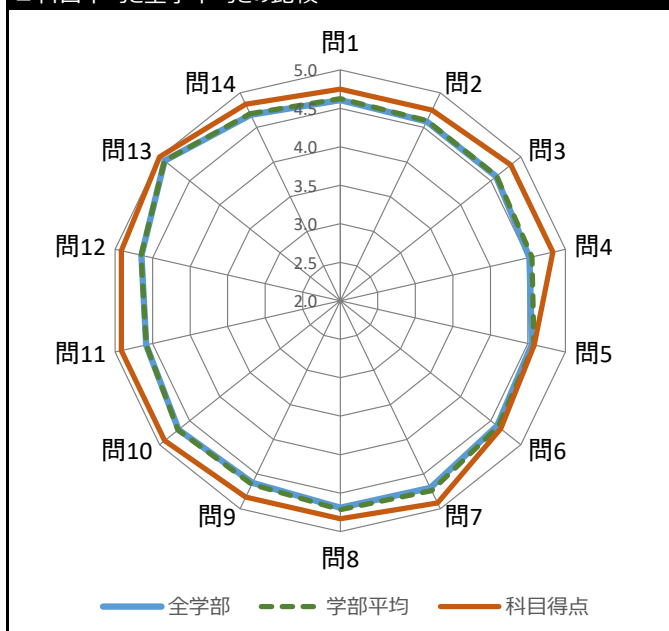


科目名	研究基礎 I	[1T0609]	履修者数	14	回答率	
教員名	伊藤 麻希		回答数	紙	12	85.7%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
85.7%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 9 blue, 3 green]						4.75	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 9 blue, 3 green]						4.75	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green, 1 orange]						4.58	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green, 1 orange]						4.67	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 11 blue, 1 green]						4.92	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 12 blue]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 10 blue, 2 green]						4.83	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.83	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

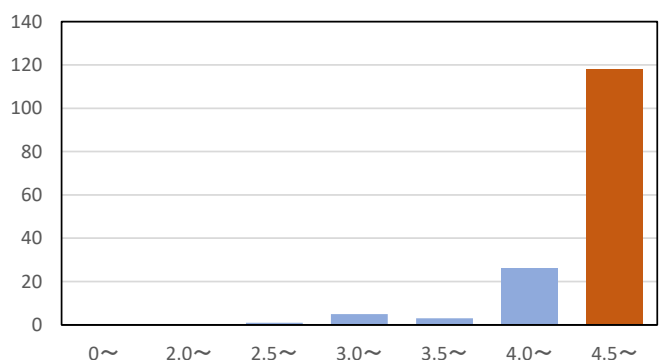


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

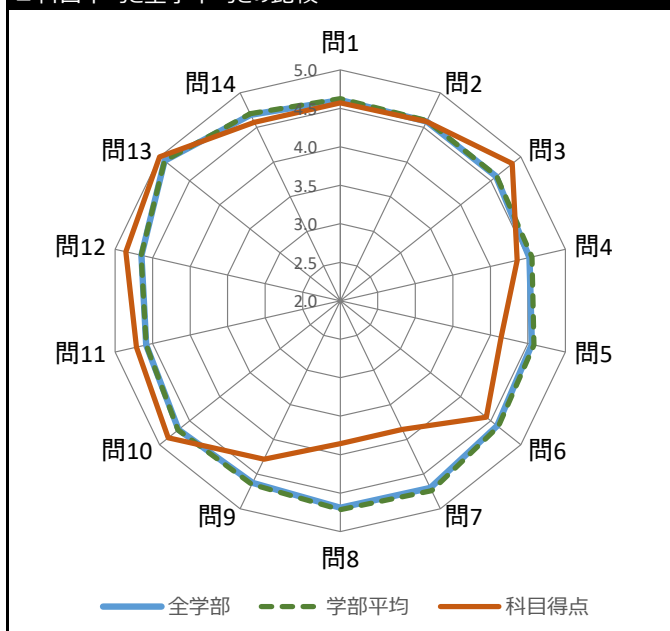


科目名	研究基礎 I	[1T0610]	履修者数	14	回答率	
教員名	鈴木 勝己		紙	14	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green, 2 yellow]						4.57	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green, 1 yellow, 2 grey]						4.58	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 12 blue, 2 green]						4.86	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 10 blue, 1 green, 2 yellow, 1 orange]						4.36	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green, 1 yellow, 1 orange, 1 red]						4.14	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 8 blue, 4 green, 2 yellow]						4.43	4.62	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 7 blue, 3 green, 1 yellow, 1 orange, 2 red]						3.86	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 6 blue, 4 green, 1 yellow, 2 orange, 1 red]						3.86	4.72	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 10 blue, 1 green, 1 yellow, 1 orange, 1 red]						4.29	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 12 blue, 2 green]						4.86	4.69	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 11 blue, 2 green, 1 yellow]						4.71	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 12 blue, 2 green]						4.86	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 14 blue]						5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green, 2 yellow]						4.57	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.50	4.66	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

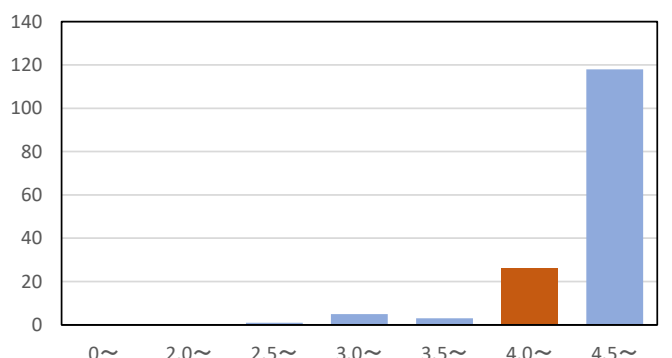


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

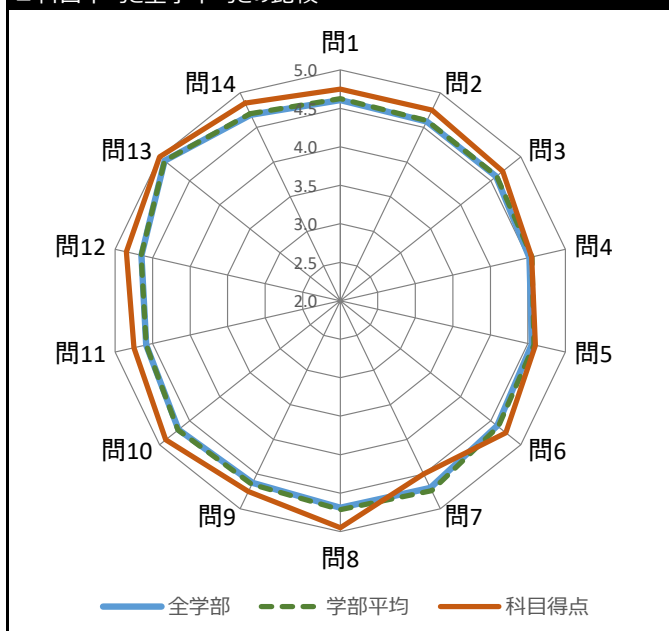


科目名	公衆衛生看護管理論	[1U0200]	履修者数	20	回答率	
教員名	井口 理		回答数	紙	20	100.0%
学部	看護学部	授業形態		講義	WEB	0
100.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 15 blue, 5 green]							4.75	4.63	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 15 blue, 5 green]							4.75	4.60	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 15 blue, 4 green, 1 orange]							4.70	4.60	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 11 blue, 9 green]							4.55	4.56	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 13 blue, 6 green, 1 orange]							4.60	4.58	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 15 blue, 5 green]							4.75	4.62	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 11 blue, 8 green, 1 orange]							4.50	4.74	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 19 blue, 1 orange]							4.95	4.72	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 16 blue, 3 green, 1 orange]							4.75	4.65	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 18 blue, 2 green]							4.90	4.69	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 15 blue, 5 green]							4.75	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 17 blue, 3 green]							4.85	4.65	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 20 blue]							5.00	4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 17 blue, 3 green]							4.85	4.70	4.68
問1~14全問平均								4.76	4.66	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

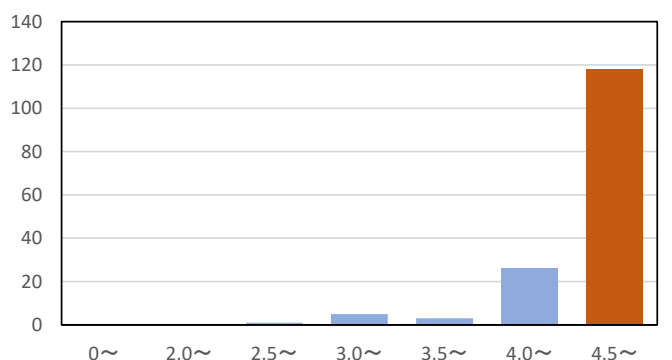


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1A0100	赤十字概論	角田敦彦	約7割の学生から回答をいただきました。評価としては概ね肯定的なもので、講義の目的やねらいをよく理解して受講いただけたものと嬉しく思います。今年度はオンラインと対面の混合開講で、回答にも寄せられていましたが、オンラインの際のコミュニケーションに若干の課題を感じました。この点は今後徐々に完全対面開講に移行することで解決できるのではないかと考えています。学年全員が出席する必修科目ということで、一人ひとりの意見を丁寧に聞くことがなかなか困難ではありますが、ディスカッションの機会を増やすなど、展開にも工夫を続けていきたいと考えます。
1A0200	赤十字国際活動論	角田敦彦	今年度は受講生が8名と少ないのが残念でした。授業の評価としては概ね肯定的な評価をいただいたことに安心しています。課題として、授業の双方向性（ディスカッションの機会）を確保することが挙げられますが、この点は来年度の講義に生かしていきたいと思えます。また、時間割についても過密な印象を持たれたようですが、前記の前半に15コマを取める必要があるため、すぐには改善が難しいかもしれません。この点は教務委員会とも協議しながら受講しやすい環境を整えていきたいと考えます。
1B0500	教育学概論	渋谷 真樹	「楽しく学ぶことができた」とのご意見いただき、うれしいです。今後も受講生の皆さんと対話しながら、よい学びの場をつくっていききたいと思います。
1B0801 1B0802 1B0803 1B0804	身体運動論Ⅱ（実技）	伊藤麻希	身体運動論Ⅱ（実技）の4クラスでは、共通して学生が積極的かつ好意的に取り組んでくれている様子が窺えた。前年度前期のアンケートでは授業時間に対する配慮が欠けていた部分への指摘が散見されたため、本年度では昨年に比べてゆとりのある授業を心がけた。結果として本年度はその点に関する指摘や授業内容に不足を感じる指摘はなかったため、適切な時間と内容で授業が行えたと感じている。また、本授業は体育実技のため、基本的に資料の配布は行わなかった。ヨガやピラティスを行う際は、身体を動かしながら解剖学や生理学の復習も意識した実技を行なっている。学生にとってどれくらい意義があるかは定かでないが、勉強したことが実際に身体を動かす中で実感・体感できるような授業を目指した。他の専門的で課題の多い授業に対し、リラクゼーションとリフレッシュに重点を置いた授業を行なっていることは、学生にも評価されていると感じている。しかし、ここ数年のコロナ禍での開講は行える種目に限りがあるため、ヨガやピラティス以外の種目も実施しなかったという意見が今年も見られた。本年度は感染のリスクも少なく運動負荷も高くないウォーキング実習を取り入れたが、今後は球技などの他種目も授業に取り入れられると良いのではないかと考えている。
1B1700	心理学概論	遠藤公久	概ね好評をいただきました。ありがとうございます。ご意見のなかにもありましたように、プレゼン資料の簡略化をはかろうかと考えます（文字が少し多いようなので）。
1C0300	社会保障論	奥貫妃文	全学部平均をやや下回る得点となりましたが、自由記載欄には、「話し方がハキハキしていて聞きやすい」「熱量が伝わってきた」「歴史の流れを話してくれるのでイメージが伝わりやすかった」「穴埋めの紙と答えの両方をGlexaに挙げてくれるので、予習復習しやすかった」等、おおむね好意的なコメントで占められており、ひとまずほっとしております。私自身は、毎回全力で授業に取り組んできた胸を張っていうことができます。他方、要望として挙がっていたのは「オンライン授業の時、後日紙のレジュメを配布してほしい」ということでした。来年度以降検討したいと思います。当該授業は学生にとっては必修科目であるとともに、社会保障制度の基本的枠組みを理解するうえで極めて重要な内容を含むものと考えられますので、複雑な根拠規定や行政上の運用、歴史的背景など、いかにわかりやすくかつ面白く伝えられるかに力を尽くしてきました。出来る限り一方通行にならないよう質疑の機会を授業中に一回は設け、次の授業で可能な限りフィードバックして共有できるよう心がけました。今後も学生のみなさんの声に真摯に耳を傾けながら、常にブラッシュアップを図りたいと思っています。
1C0500	世界の文化と宗教	佐藤 眞	学生の発表と教員の説明を組み合わせた授業でした。学生のみなさんには「発表ガイド」として、調べるポイント、参考文献などを提示したこともあって配布資料の作成、映像資料の作成とも大変良いものができたと思います。コメントの中に発表に関するフィードバックを評価してくれたものがありました。発表してそのままでは次の発表への改良、洗練が望まれませんので、取り入れています。2回目の発表はみなさん工夫、改良があり良かったと思います。

1C0700	日本国憲法	多田 庶弘	憲法は、普段の生活のなかでは、あまり気にすることがないと思います。しかし、みなさんが自由の生活のなかで、好きな音楽を聴いたり、映画を見たり、学問がすることができると、私たちの権利があるからです。ただし、憲法は民法などの法律と異なり、私たちの生活に身近に感じられないものであり、なんとなく難しいものになってしまう点もあると思います。だからこそ、自分自身でその内容を理解しようとするのが重要だと思います。みなさんの多くは、大学卒業後、医療、福祉の現場などで活躍していくことになると思いますが、その時に憲法を理解していることが必要になることが様々な場面であると思います。これからも、憲法に目を向けてください（憲法12条では「不断の努力」が明記されています）。
1C1200	社会学概論	鷹田佳典	社会学の面白さが少しでも伝わったようで良かったです。次回に向けてのアンケートの実施や、周囲の人との話し合いの時間などがよかったという評価があり、次年度も継続したいと思います。穴埋め問題がもう少しあってもよいという意見がありました。これについては増やす方向で検討したいと思います。板書の字ももっと見やすい大きさに書くようにしたいと思います。
1C1501	地域健康社会学	若林真美	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症の流行の見通しがつかない中、オンラインと対面を組み合わせた授業となりました。今年度、初めて実施される授業であり、手探りの部分もありましたが、学生の皆さんが授業中のグループディスカッションやペアワークなど積極的に参加し、授業と一緒に作り上げてくださり、私自身も毎回の授業がとても楽しみでした。授業後の振り返りの小レポートやグループプレゼンテーションでも各学生が他の授業で学んだことや自分自身の体験を振り返りからも学生の学びを感じ取ることができ、嬉しかったです。特に、社会と健康のつながりを多角的に学ぶことができたといった、授業趣旨に沿った意見を頂き、各回のテーマが学生に伝わっていたことが良くわかりました。今後も学生の学びを深められる工夫をしていきたいと思っています。
1C1502	地域健康社会学	若林真美	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症の流行の見通しがつかない中、オンラインと対面を組み合わせた授業となりました。今年度、初めて実施される授業であり、手探りの部分もありましたが、学生の皆さんが授業中のグループディスカッションやペアワークなど積極的に参加し、授業と一緒に作り上げてくださり、私自身も毎回の授業がとても楽しみでした。授業後の振り返りの小レポートやグループプレゼンテーションでも各学生が他の授業で学んだことや自分自身の体験を振り返りからも学生の学びを感じ取ることができ、嬉しかったです。特に、社会と健康のつながりを多角的に学ぶことができたといった、授業趣旨に沿った意見を頂き、各回のテーマが学生に伝わっていたことが良くわかりました。今後も学生の学びを深められる工夫をしていきたいと思っています。
1D1000	基礎数学	山下龍生	短い期間ではありましたが、お疲れ様でした。また、コメントも頂いてありがとうございました。今後も数学関連で分からないところがあれば気軽に質問して下さい。
1D1400	化学	三好 洋	確認テストに関して、解説していない事柄の出題は一切していません。また、すべての確認テストの解説もGlexaに確認テストの提出期限前に公開しています。つまり、解答を公開した上での確認テストになっています。したがって、間違っている場合には「講義スライドや解説PDFをみていない」とコメントします。授業中の学生の発言に回答していなかったことは、全く身に覚えがありません。万一そうであれば、謝罪します。テストに関しては、講義内容の進行度・理解度に合わせて、出題しています。よって、さいたま看護学部と難易度が変わるのには致し方ありません。また、理解度には学生さんの受講態度（雑談・他の講義の内職・着席位置など）を反映させています。多くの意見をいただき、ありがとうございました。
1E0301	保健統計学	川崎 洋平	全体的に高い評価をいただきました。次年度以降はさらに興味を持っていただける授業内容にしていきたいと思っています。
1E0302	保健統計学	川崎 洋平	全体的に高い評価をいただきました。問題の解説には時間が割けるような事業計画を立てたいと思います。また、次年度以降はさらに興味を持っていただける授業内容にしていきたいと思っています。
1E0400	情報リテラシー	川崎 洋平	課題の提出日に関しては、今後検討をしたいと思っています。また、スライドの文字のサイズには気を付けて授業スライドの作成をさせていただきます。
1F0101	日本語の表現	越後敬子	現在の大学生活に即した課題内容を設定し、実際に自分の手を動かしてみることで、得られることがあったのではないかと思います。
1F0102	日本語の表現	越後敬子	現在の大学生活に即した課題内容を設定しているため、実際に自分の手を動かすことで得られることがあったのではないかと思います。授業のスピードについては全体を見渡してのことであるが、可能であればスピードアップして、さらに内容を盛り込めるか考えたい。

1F0201	英語R1-1	川崎 修一	過分評価をありがとうございました。頂いたコメントを基に授業改善に取り組みたいと思います。
1F0202	英語R1-1	遠藤花子	かなり難しい内容の教材でしたが、概ね満足して頂けたようで、良かったです。今後も皆さんの反応を大切にしながら授業をしていきたいと思います。
1F0203	英語R1-1	川崎 修一	過分評価をありがとうございました。頂いたコメントを基に授業改善に取り組みたいと思います。
1F0204	英語R1-1	遠藤花子	かなり難しい内容の教材でしたが、概ね満足して頂けたようで、良かったです。今後はより分かりやすい授業を目指していきたいと思います。
1F0401	英語W1-1	バンキン・サム	I was impressed with everybody's planning for data collection and the final essays. The classes were enjoyable because of your participation and hard work. Thank you. This was my first time teaching writing to freshman university students. Your comments have given me confidence to continue thinking about new courses on English Writing. S
1F0402	英語W1-1	Michelle van Bokhorst	I'd like to thank the students for their feedback; their comments are always very helpful. I am very happy that most students seemed to enjoy the class. From a few students I received the feedback that the class could be a bit more interesting, so I will work on that for next year.
1F0403	英語W1-1	バンキン・サム	I was impressed with everybody's planning for data collection and the final essays. The classes were enjoyable because of your participation and hard work. Thank you. This was my first time teaching writing to freshman university students. Your comments have given me confidence to continue thinking about new courses on English Writing. S
1F0404	英語W1-1	Michelle van Bokhorst	I'd like to thank the students for their feedback; their comments are always very helpful. I am very happy that most students seemed to enjoy the class. From a few students I received the feedback that the class could be a bit more interesting, so I will work on that for next year.
1F0601	英語LS1-1	BEN TUTCHER	Hello, Thank you for your attention and effort over the semester. I enjoyed teaching you and was interested to read your comments. I will consider them in future semesters. All the best for the future. Ben
1F0602	英語LS1-1	バンキン・サム	Thank you for your participation and efforts to speak English a lot, with me and with other students. Thanks to your suggestions in the final class, this course will also improve for next year. I wish you all the best for your study in the autumn term. S
1F0603	英語LS1-1	Michelle van Bokhorst	I'd like to thank the students for their feedback and sweet comments. They all seemed to enjoy the class, especially the group discussions. For next year I will definitely keep having group discussions where students get to know each other through using English.
1F0604	英語LS1-1	BEN TUTCHER	Hello, Thank you for your attention and effort over the semester. I enjoyed teaching you and was interested to read your comments. I will consider them in future semesters. All the best for the future. Ben
1F0605	英語LS1-1	バンキン・サム	Thank you for your participation and efforts to speak English a lot, with me and with other students. Thanks to your suggestions in the final class, this course will also improve for next year. I wish you all the best for your study in the autumn term. S
1F0606	英語LS1-1	Michelle van Bokhorst	I'd like to thank the students for their feedback and sweet comments. They all seemed to enjoy the class, especially the group discussions. For next year I will definitely keep having group discussions where students get to know each other through using English.
1F0801	英語R2-1	皆川 健次郎	テキストが変わり、看護研究という専門分野になったために、学生にはかなり難易度が高かったと思います。その分、復習資料などを作成し、学生の理解に努めたことが、良い結果となりました。専任の先生が、ZOOMの会議や、テキストに関して会議を設け、細かく考えてくださり、非常勤の意見も真摯に捉えてくれたおかげで、テキストの分量に関しては、解決済みです。

1F0802	英語R2-1	武久智一	・英文の理解には、①語彙や文法の知識、②背景知識、③前二者の知識を推論する能力の3種の知識・能力を統合的に運用することが必要になります。・今回のテキストは学部2年生が読むものとしては、上記3点すべてにおいてかなり負荷がかかるものでしたし、1回の授業で扱う量も多かったことから、かなり予習をしてきても気が抜けなかったのではないかと思います。・分からないことも多かったでしょうし、それによりフラストレーションも溜まるものであったかもしれませんが、あのテキストの英語とその内容を理解できる運用能力を目指す目標として捉えられればと思います。
1F0802	英語R2-1	武久智一	・英文の理解には、①語彙や文法の知識、②背景知識、③前二者の知識を推論する能力の3種の知識・能力を統合的に運用することが必要になります。・今回のテキストは学部2年生が読むものとしては、上記3点すべてにおいてかなり負荷がかかるものでしたし、1回の授業で扱う量も多かったことから、かなり予習をしてきても気が抜けなかったのではないかと思います。・分からないことも多かったでしょうし、それによりフラストレーションも溜まるものであったかもしれませんが、あのテキストの英語とその内容を理解できる運用能力を目指す目標として捉えられればと思います。
1F0803	英語R2-1	皆川 健次郎	テキストが変わり、看護研究という専門分野になったために、学生にはかなり難易度が高かったと思います。その分、復習資料などを作成し、学生の理解に努めたことが、良い結果となりました。「英語が苦手でしたが、最後まで授業に苦しさや不安を感じない内容と指導の仕方でした」との意見はとても嬉しく、私が、一番気をつけていたことでした。専任の先生が、ZOOMの会議や、テキストに関して会議を設け、細かく考えてくださり、非常勤の意見も真摯に捉えてくれたおかげで、改善点のコメント「テキストの分量が多い」に関しては、解決済みです。
1F0804	英語R2-1	武久智一	・英文の理解には、①語彙や文法の知識、②背景知識、③前二者の知識を推論する能力の3種の知識・能力を統合的に運用することが必要になります。・今回のテキストは学部2年生が読むものとしては、上記3点すべてにおいてかなり負荷がかかるものでしたし、1回の授業で扱う量も多かったことから、かなり予習をしてきても気が抜けなかったのではないかと思います。・分からないことも多かったでしょうし、それによりフラストレーションも溜まるものであったかもしれませんが、あのテキストの英語とその内容を理解できる運用能力を目指す目標として捉えられればと思います。
1F1001	英語W2-1	遠藤花子	かなり難しい内容の教材でしたが、概ね満足して頂けたようで、良かったです。今後も皆さんの反応を大切にしながら授業をしていきたいと思っています。
1F1002	英語W2-1	遠藤花子	かなり難しい内容の教材でしたが、概ね満足して頂けたようで、良かったです。今後も皆さんの反応を大切にしながら授業をしていきたいと思っています。
1F1003	英語W2-1	川崎 修一	過分評価をありがとうございました。頂いたコメントを基に授業改善に取り組みたいと思います。
1F1200	英語LS2-1	川崎 修一	過分評価をありがとうございました。頂いたコメントを基に授業改善に取り組みたいと思います。
1F1400	英語文献を読むI	遠藤花子	かなり難しい内容の教材でしたが、概ね満足して頂けたようで、良かったです。今後も皆さんの反応を大切にしながら授業をしていきたいと思っています。
1F2901	中国語	郭 嘉璋	授業改善アンケートを実施、集計していただき、ありがとうございます。はじめて教壇に立つ機会をいただき、皆さんのおかげでなんとか無事に終えることができました。拙いところもたくさんあったと思いますが、アンケート結果を参考に、来年度以降より良い授業ができるように改善していきたいと思っています。びくびくしながら結果を見たのですが、すべての項目が平均を上回るという大変ありがたい評価をいただきました。一学期という短い期間で、また大人数のクラスで、どうやって皆さんにとって有益な授業ができるかに一番重点を置いて、授業構成や課題、フィードバックのしかたを考えました。結果として、すべての回答者にとって「興味があるものだった」「価値があった」授業ができたようで、少し安心できました。実際の学習状況を見て進み方を調整していたため、最初のシラバスと少しずれたところはありませんでしたが、今年の経験を踏まえて、来年度のシラバスや、小テストのしかたを調整したいと思います。最後に、授業が円滑に進むよう、ご協力くださり、熱心に取り組んでくださったことに感謝申し上げます。興味を持っていただき、これからも自発的に中国語や中国のことに触れていくことはもちろん何よりうれしいですが、言葉はあまり覚えていなくても、異なる文化や価値観に対して、関心を持ち、尊重する視点ができたら幸いです。

1F2902	中国語	郭 嘉瑋	<p>授業改善アンケートを実施、集計していただき、ありがとうございます。はじめて教壇に立つ機会をいただき、皆さんのおかげでなんとか無事に終えることができました。拙いところもたくさんあったと思いますが、アンケート結果を参考に、来年度以降より良い授業ができるように改善していきたいと思います。びくびくしながら結果を見たのですが、1項目（「授業への出席率」）を除き、すべての項目が平均を上回るという大変ありがたい評価をいただきました。一学期という短い期間で、また大人数のクラスで、どうやって皆さんにとって有益な授業ができるかに一番重点を置いて、授業構成や課題、フィードバックのしかたを考えました。結果として、ほとんどの回答者にとって「興味があるものだった」「価値があった」授業ができたようで、少し安心できました。実際の学習状況を見て進み方を調整していたため、最初のシラバスと少しずれたところはありましたが、今年度の経験を踏まえて、来年度のシラバスを調整したいと思います。自由記述では、小テストの不正についてご指摘をいただきました。受講者の頑張りをご公平に評価することを非常に大事だと考えており、平常点の他の項目では、ピアレビューや、ループリックの事前共有など工夫をしています。今回のテストでは、教室が広く、私一人では見渡せなかったこともあり、事前に行われ得る不正を十分に考えられていなかったと思います。不公平感を覚えさせてしまうことは大変不本意で、来年度は仕組みから不正ができないようなテストの仕方を検討したいと思います。スライドの字が小さいという指摘については、教室が大きいので、後ろに座るとどうしても見づらいところはあると思います。スライドはすべて事前に共有していますが、来年度は字を大きくして、スライドの見やすさをその都度確認します。最後に、授業が円滑に進むよう、ご協力くださり、熱心に取り組んでくださったことに感謝申し上げます。興味を持っていただき、これからも自発的に中国語や中国のことに触れていくことはもちろん何よりうれしいですが、言葉はあまり覚えていなくても、異なる文化や価値観に対して、関心を持ち、尊重する視点ができたら幸いです。</p>
1G0130	基礎ゼミⅠ	渋谷 真樹	<p>「研究についての基礎知識を身に付けられた」というご意見いただき、安心しました。受講生同士が学び合うゼミで、「興味深かった」とのご意見、うれしいです。今後は「研究方法論Ⅰ」との連続性により配慮していきたいと思っています。</p>
1H0101	人体の構造と機能Ⅰ	井上明宏	<p>・ Quizの次の授業初頭での振り返りやGlexaへの解説が好評でよかったです。Glexaにアップされていることを最後まで知らなかったかのようなコメントがありましたが、その授業回が終わっても、そのディレクトリを振返るようにしてください。1回聞いただけでは頭に残りませんので、繰り返し触れることが重要です。・ 国試の過去問はネット上や図書館でいつでも見ることができます。国試問題の紹介はモチベーションにはなるでしょうが、1年時から国試問題対策だけを考えて学ぶことは本科目の本筋ではないと考えています。・ 教室の音響や話すスピード、語尾のクリアさについては注意をするようにしていますが、マスクの影響などもあり不十分のようですので、さらに改善を意識します。限られた時間の中でスピードを遅くすると説明が乏しくなってさらにわかりにくくなるというデメリットもあるかもしれませんので、バランスを考えます。・ 重要ではないことは重要ではないと示していますが、学ばなくてはならない重要な内容は多々あり、一部に限定すると、重要な事柄に触れずに終わってしまうことになってしまいます。重要か重要でないかは、置かれた状況によっても変わってきますし、それら取捨選択していくよりは、初年時は広く浅く、まずは人体の構造と機能についてのイメージとフィーリングを自らの中に築いていくことが重要かと思います。最初はわからないことが多々あってもかまいません。・ 配布していないスライド資料については、重要でないことで細部までこだわる必要はありませんので、重要事項を明確にするために敢えて配布していません。・ 普段触れないことについては無理に覚えても忘れてしまうものですから、あまりこだわらず、新しい内容が出てきたときに、以前に学んだことを振り返りつつ、自身の知識体系を積み上げていき、イメージとフィーリングを固めていけば、応用力も身につけてくると思います。</p>

1H0102	人体の構造と機能Ⅰ	井上明宏	<p>・ Quizの次の授業初頭での振り返りやGlexaへの解説が好評でよかったです。Glexaにアップされていることを最後まで知らなかったかのようなコメントがありましたが、その授業回が終わっても、そのディレクトリを振返るようにしてください。1回聞いただけでは頭に残りませんので、繰り返し触れることが重要です。・国試の過去問はネット上や図書館でいつでも見ることができます。国試問題の紹介はモチベーションにはなるでしょうが、1年時から国試問題対策だけを考えて学ぶことは本筋の本筋ではないと考えています。・教室の音響や話すスピード、語尾のクリアさについては注意をするようにしていますが、マスクの影響などもあり不十分ですので、さらに改善を意識します。限られた時間の中でスピードを遅くすると説明が乏しくなってさらにわかりにくくなるというデメリットもあるかもしれませんので、バランスを考えます。・重要ではないことは重要ではないと示していますが、学ばなくてはならない重要な内容は多々あり、一部に限定すると、重要な事柄に触れずに終わってしまうことになってしまいます。重要か重要でないかは、置かれた状況によっても変わってきますし、それら取捨選択していくよりは、初年時は広く浅く、まずは人体の構造と機能についてのイメージとフィーリングを自らの中に築いていくことが重要かと思います。最初はわからないことが多々あってもかまいません。・配布していないスライド資料については、重要でないことで細部までこだわる必要はありませんので、重要事項を明確にするために敢えて配布していません。・普段触れないことについては無理に覚えても忘れてしまうものですから、あまりこだわらず、新しい内容が出てきたときに、以前に学んだことを振り返りつつ、自身の知識体系を積み上げていき、イメージとフィーリングを固めていけば、応用力も身につけてくると思います。</p>
1H0201	人体の構造と機能Ⅱ	井上明宏	<p>・ Quizの次の授業初頭での振り返りやGlexaへの解説が好評でよかったです。Glexaにアップされていることを最後まで知らなかったかのようなコメントがありましたが、その授業回が終わっても、そのディレクトリを振返るようにしてください。1回聞いただけでは頭に残りませんので、繰り返し触れることが重要です。・国試の過去問はネット上や図書館でいつでも見ることができます。国試問題の紹介はモチベーションにはなるでしょうが、1年時から国試問題対策だけを考えて学ぶことは本筋の本筋ではないと考えています。・教室の音響や話すスピード、語尾のクリアさについては注意をするようにしていますが、マスクの影響などもあり不十分ですので、さらに改善を意識します。限られた時間の中でスピードを遅くすると説明が乏しくなってさらにわかりにくくなるというデメリットもあるかもしれませんので、バランスを考えます。・リフレクションについては、授業では内容をカバーするために速く進まざるを得ず、個別に対応できない分、時間の許す限り、コメント、質問への回答をするようにしていましたが、好評でよかったです。・次々と先に進んでしまっていくけないということですが、学ぶべき内容と授業時間の関係で、授業だけで完結するのは不可能ですので、予習、復習など自己学習を行うようにして、必要に応じてリフレクションの対面で質問をするなど、積極的な学びをあきらめずないようにしてほしいと思います。</p>
1H0202	人体の構造と機能Ⅱ	井上明宏	<p>・ Quizの次の授業初頭での振り返りやGlexaへの解説が好評でよかったです。Glexaにアップされていることを最後まで知らなかったかのようなコメントがありましたが、その授業回が終わっても、そのディレクトリを振返るようにしてください。1回聞いただけでは頭に残りませんので、繰り返し触れることが重要です。・国試の過去問はネット上や図書館でいつでも見ることができます。国試問題の紹介はモチベーションにはなるでしょうが、1年時から国試問題対策だけを考えて学ぶことは本筋の本筋ではないと考えています。・教室の音響や話すスピード、語尾のクリアさについては注意をするようにしていますが、マスクの影響などもあり不十分ですので、さらに改善を意識します。限られた時間の中でスピードを遅くすると説明が乏しくなってさらにわかりにくくなるというデメリットもあるかもしれませんので、バランスを考えます。・リフレクションについては、授業では内容をカバーするために速く進まざるを得ず、個別に対応できない分、時間の許す限り、コメント、質問への回答をするようにしていましたが、好評でよかったです。・次々と先に進んでしまっていくけないということですが、学ぶべき内容と授業時間の関係で、授業だけで完結するのは不可能ですので、予習、復習など自己学習を行うようにして、必要に応じてリフレクションの対面で質問をするなど、積極的な学びをあきらめずないようにしてほしいと思います。</p>

1H0900	疾病の成り立ちと回復の促進VI	梅野 充	「疾病の成り立ちと回復の促進VI（精神医学）」について、今年も一定の評価を得ることができたが、改善点も明確になった。今年授業においてアンケート用紙を配布して回収したが、回答率53.5%にとどまった。回答率は学生の授業へ参画意欲と関連すると思われるが、この意欲をひきだすことができなかったことを反省したい。回答率の低さという一定の限界のもとではあるが、選択式質問については、全項目で学部平均を上回る平均評点を得ることができた。特に「10. 教員の熱意が伝わってきた」、「6. この授業は自分にとって価値があった」は平均評点が4.87と4.86で「強く思う」と応じた学生が回答者の86%を超えていたことはよかった。また昨年度と同様に「8. シラバスに沿った授業」、「1. 資料が授業の理解に役立った」が平均評点4.84で好評であった。授業資料はときに大部になったが、事務方のほうで印刷いただいて履修者全員に配布できた。手厚いサポートに心から感謝申しあげたい。選択式質問の「3. 教員の話し方」については今年も評点4.67で低評価であった。これは例年のことではあるが、講義のスピードや不明確な内容を口走ることがあったためと考えられ、ひきつづき改善に努めたい。講義形式であったこともあって、質問が活発に出たとは言いがたかったが、「12. 学生への応答」や「11. 質問しやすさ」については昨年よりも評定が改善していた。それでも不十分と思われるので、引き続き改善に努めたい。つぎに自由記述の「良いと思った点」としては、「わかりやすく、楽しめた」との声や、授業で解説した国試問題や確認クイズについて好評であった。また「具体例や体験談」を評価する声もあり、現在も臨床現場に身を置く実務家教員としてはうれしい評価であった。いっぽう「改善した方がよい点」として、まず講義のスピードが速いとの指摘があった。この点は例年の課題であるが、引き続き改善に努めたい。またリアクションペーパーでの学生のコメントや質問には赤ペンで回答して返却してきたが、講師の書いたコメントが読みづらいとの指摘があった。この点も改善を図りたい。全体として、事務方諸氏のサポートのおかげで資料を充実させることができ、シラバス通りの進行をこころがけたことで比較的高い評価を得られた。評価された点は継続、ブラッシュアップしつつ、授業改善に努めていきたい。
1H1100	リハビリテーション医学	田中 清和	授業改善アンケートの集計結果をご送付いただき、有り難うございました。担当講師全員に共有し、次年度以降の講義の参考とさせていただきます。
1H1200	遺伝と遺伝カウンセリング	守田 美奈子 笠井 靖代 納富 理絵	初めて聞く用語もあり、内容的に難しかったという感想も頂いているので、内容の分かりやすさは若干低めの評価となっています。一方で興味や関心のある内容という評価は高めの評価でした。看護に関しては倫理や医学と看護の結びつきを理解できたという感想を頂きました。遺伝に関する知識は日々進歩し、専門的な知識も多いため分かりにくさを感じますが、これからの医療には重要な知識となります。また、それに伴う看護の役割は授業を通して理解して頂いているようですので、これからも分かりやすさをキーワードに授業改善に取り組んでいきたいと思います。
1H1400	ラボラトリー・プラクティス	壹岐聖子	受講者全員の表情が生き生きしており、楽しく学んでいるのがよくわかりました。看護師になった時に、この体験型の授業がおおいに役立つと思います。
1I0101	看護学概論Ⅰ	川原由佳里	事前課題の穴埋めプリントで、ポイントを理解することができたとの意見、写真などを用いた資料などもよかったとのご意見をいただきました。ありがとうございます。グループワークは熱心に取り組んでくださったようでうれしく思います。興味を持てる授業をしていきたいと思います。
1I0102	看護学概論Ⅰ	川原由佳里	看護について知るきっかけとなる授業で楽しかった、看護とは何かについて詳しく知ることができてよかったとの意見をいただきました。より関心をもてるような内容にしていきたいと思います。グループワークの時間がもう少しほしかったとの意見もありましたので、今後活かしていきたいと思います。ありがとうございます。
1I0300	看護関係法規	安部陽子	コメントをありがとうございました。事前課題・事後課題の量が多いというコメントに対しては、法令で定められている単位の認定要件もありますので、検討して対応させていただきます。資料に記入する時間がない等に対しては、来年度から資料そのものを配布せず、教科書を参照してもらうことなどを検討したいと考えます。事例と教科書の内容を結び付けて学習していただいた学生さんには、授業デザインの意図を理解していただこうれしく感じました。自分の免許を守るうえで重要な内容を扱っていることをわかっていただけでよかったです。

1J0101	看護技術論Ⅰ	堀川英起	授業改善アンケートの提出ありがとうございました。全ての質問項目（問1～問14）について、全学平均を上回っていました。また、自由回答欄の「よいと思った点」では、グループワークと授業資料に関して肯定的なコメントをいただきました。そのコメントを励みにして、来年度も学生の皆さんの興味・関心が深まるような授業内容を構成していきます。自由回答欄の「改善したほうが良い」点については、「グループワークで、学生のお話を否定するのは、良くないと思った」というコメントを1名の方からいただきました。貴重な意見をいただきありがとうございます。グループワークは複数の教員で分担していますので、担当教員間で上記意見を共有したうえで、来年度は学生さんが勇気をもって発言してくれた内容には、教員はまずは敬意を示し受けとめるようなやりとりをするようにしていくようにします。
1J0102	看護技術論Ⅰ	古城門靖子	ご意見ありがとうございました。皆さんが、特にグループワークに関して、積極的に取り組み、グループの力を深く理解できたことがわかり、大変うれしく思いました。レポートに関しては、授業の内容を振り返り、理解を深めるために必要な内容となっておりますので、より効果的に皆さんが学修に活用できるよう、今後も検討していきたいと思っております。また、モニターに関しては後ろの小さなモニターも活用しておりましたが、皆さんが視聴できているかどうか確認しながら授業を進めていければと思います。
1K0101	看護援助論Ⅰ	細野知子	看護援助論Ⅰ（看護過程）の授業改善アンケートへのご回答をありがとうございました。4月から7月にわたる長期の授業を皆さん及び15名の教員と一緒に進めてまいりました。看護の基本的な思考過程を学ぶ科目であり、疾患・治療の知識も必要になる科目です。皆さん自身が取り組み、記述していく過程は苦しいことも多かったと思いますが、アンケート結果にも出ていたように、皆さんが意欲的・積極的に取り組んでくださり、とてもうれしく感じています。教員一同、皆さんの努力がレベルⅡ実習につながっていたと感じています。細野にとっても長期にわたる科目ですが、毎回のリフレクションコメントやアンケートで届く皆さんからの声を聴くと、次に向かって取り組みだすことができるものです。アンケート結果からはいくつかの課題を教えてくださいました。資料の多さについては、事前のアナウンスがなく申し訳ありませんでした。さまざまな環境で学修している学生さんがおられますので、紙媒体の資料は引き続き準備をしていくつもりですが、分量のスリム化を図りつつ、やはり資料は多めになりますので、分厚いファイルを準備してもらうようアナウンスしたいと思います。グループワークでの負担の偏りについては、担当教員が目を配れるよう教員間で注意してまいります。一方で、グループワークで一生懸命取り組んだことはその人の力になっているはずですし、誰かに任せてしまった人は力が十分身につかなかったと思います。レベルⅡ実習に行っても、がんばった成果を感じた方もおられるでしょう。いずれにしても、グループワークが全員にとってよい学びの機会になるよう教員と学生さんで工夫をしていけるようにします。提出したアセスメントの未返却については、失礼いたしました。教員間で注意し合っていくとともに、そのような場合には科目責任者まで問い合わせてもらおうアナウンスしてまいります。ピアレビューによる評価で生じた混乱、小テストの表示方法、進行のスピードについても、ご指摘をありがとうございました。次年度の参考にさせていただきます。教員一同、皆さんの看護過程の思考が育っていくことを願っております。この看護援助論Ⅰ（看護過程）も皆さんたちによって育ててもらっていますので、来年度もっと成長できるようにがんばります。

1K0102	看護援助論Ⅰ	細野知子	看護援助論Ⅰ（看護過程）の授業改善アンケートへのご回答をありがとうございました。4月から7月にわたる長期の授業を皆さん及び15名の教員と一緒に進めてまいりました。看護の基本的な思考過程を学ぶ科目であり、疾患・治療の知識も必要になる科目です。皆さん自身が取り組み、記述していく過程は苦しいことも多かったと思いますが、アンケート結果にも出ていたように、皆さんが意欲的・積極的に取り組んでくださり、とてもうれしく感じています。教員一同、皆さんの努力がレベルⅡ実習につながっていたと感じています。細野にとっても長期にわたる科目ですが、毎回のリフレクションコメントやアンケートで届く皆さんからの声を聴くと、次に向かって取り組みだすことができるのです。アンケート結果からはいくつかの課題を教えてくださいました。資料の多さについては、事前のアナウンスがなく申し訳ありませんでした。さまざまな環境で学修している学生さんがおられますので、紙媒体の資料は引き続き準備をしていくつもりですが、分量のスリム化を図りつつ、やはり資料は多めになりますので、分厚いファイルを準備してもらうようアナウンスしたいと思います。グループワークでの負担の偏りについては、担当教員が目を配れるよう教員間で注意してまいります。一方で、グループワークで一生懸命取り組んだことはその人の力になっているはずですし、誰かに任せてしまった人は力が十分身につかなかったと思います。レベルⅡ実習に行くと、がんばった成果を感じた方もおられるでしょう。いずれにしても、グループワークが全員にとってよい学びの機会になるよう教員と学生さんとで工夫をしていけるようにします。提出したアセスメントの未返却については、失礼いたしました。教員間で注意し合っていくとともに、そのような場合には科目責任者まで問い合わせてもらおうようアナウンスしてまいります。ピアレビューによる評価で生じた混乱、小テストの表示方法、進行のスピードについても、ご指摘をありがとうございました。次年度の参考にさせていただきます。教員一同、皆さんの看護過程の思考が育っていくことを願っております。この看護援助論Ⅰ（看護過程）も皆さんたちによって育ててもらっていますので、来年度もっと成長できるようにがんばります。
1K0201	看護援助論Ⅱ	千葉京子	授業改善アンケートへの回答ありがとうございました。全体的に高い評価を頂けて嬉しく思います。1年次の学修内容と関連させていることや小テストを2回設定して復習できるように組み立てていることも評価につながっているのかもしれませんが。資料がわかりやすいというコメントも頂けましたので、作成の励みになります。改善点としては、リアクションペーパーの提出方法にご意見を頂きましたので検討したいと思います。ありがとうございました。
1K0202	看護援助論Ⅱ	千葉京子	授業改善アンケートへの回答ありがとうございました。全体的に高い評価を頂けて嬉しく思います。1年次の学修内容と関連させていることや小テストを2回設定して復習できるように組み立てていることも評価につながったようで嬉しく思います。また、資料や説明がわかりやすいというコメントも頂けましたので励みになります。改善点としては、リアクションペーパーの提出方法にご意見を頂きましたので検討したいと思います。ありがとうございました。
1k0301	看護援助論Ⅲ	清田明美	感染拡大に気を配りながら、できるだけグループワークを取り入れながら授業を進めました。ディスカッションや動画の視聴なども活用して清潔や感染に関する学びを深めることができたことを確認でき、よかったですと思います。一部、マイクの声が聴きとりにくいとの意見をいただきました。音声や画像の確認をしつつ、今後もよりよい学習が進められるように進めていきたいと思っています。
1K0302	看護援助論Ⅲ	清田明美	感染拡大に気を配りながら、できるだけグループワークを取り入れながら授業を進めました。ディスカッションや動画の視聴なども活用して清潔や感染に関する学びを深めることができたことを確認でき、よかったですと思います。一部、マイクの声が聴きとりにくいとの意見をいただきました。音声や画像の確認をしつつ、今後もよりよい学習が進められるように進めていきたいと思っています。
1K0401	看護援助論Ⅳ	清田明美	対面と遠隔によるハイブリットでの講義でしたが、体験学習や動画の視聴、グループワークなどから皆さんが積極的に学習し、理解につなげていたことが確認でき、よかったですと思います。資料の見やすさなど、頂いたコメントを今後の授業に活かしていきたいと思っています。
1K0402	看護援助論Ⅳ	清田明美	対面と遠隔によるハイブリットでの講義でしたが、体験学習や動画の視聴、グループワークなどから皆さんが積極的に学習し、理解につなげていたことが確認でき、よかったですと思います。資料の見やすさなど、頂いたコメントを今後の授業に活かしていきたいと思っています。

1K0501	看護援助論Ⅴ	江本リナ	大変高い評価をいただき、教員にとって励みになりました。良い点も教えていただきありがとうございます。PPTのスピードが速かったという感想をいただきましたので、後期の科目および次年度に向けて改善して参ります。
1K0502	看護援助論Ⅴ	江本リナ	大変高い評価をいただき、教員にとって励みになりました。良い点も教えていただきありがとうございます。PPTのスピードが速かったという感想をいただきましたので、後期の科目および次年度に向けて改善して参ります。
1K0601	看護援助論Ⅵ	新田真弓	回答・ご意見ありがとうございます。皆さんがセクシュアリティについて、身近にとらえて考えるきっかけとなったようで、うれしく思います。さらに発展していく領域ですので、皆さんと新しい情報を共有しながら、セクシュアリティと看護について考える講義となるように努めていきます。
1K0602	看護援助論Ⅵ	新田真弓	回答・ご意見ありがとうございます。皆さんがセクシュアリティについて、身近にとらえて考えるきっかけとなったようで、うれしく思います。さらに発展していく領域ですので、皆さんと新しい情報を共有しながら、セクシュアリティと看護について考える講義となるように努めていきます。
1K0701	看護援助論Ⅶ	堀川英起	授業改善アンケートの提出ありがとうございます。問13（授業の出席率）以外の項目について、全学平均を上回っていました。また、自由回答欄「よいと思った点」では、授業内容に関して、「配布資料」「書籍・映画の紹介」について肯定的なフィードバックをいただきました。来年度も、学生の皆さんの興味・関心が深まるような授業内容を構成していきたいと考えています。自由回答欄「改善したほうが良い」点については、意見がありませんでした。今年度は、昨年度（2021年度）の授業改善アンケートで指摘いただいた学生さんの意見を踏まえて、事後課題の分量と配点の見直しをはかりました。それが上のような高評価につながったと考えています。
1K0702	看護援助論Ⅶ	古城門靖子	授業内容に関して、皆さんにとっても高く評価していただきました。ありがとうございます。授業資料や教材は、これまでも改善を繰り返し、工夫をしておりますが、今後もよりわかりやすい資料を提供していければと思います。
1L0201	精神保健看護学Ⅱ	堀井湖浪	授業改善アンケートへご協力いただきありがとうございます。全体的に高評価をいただくことができました。特に、日本の精神医療の課題や精神障害を抱える方々の理解を助けるための動画の活用、事例、当事者の講演会などへの評価が高かったようです。今後も、さらに工夫していきたいと考えます。
1L0202	精神保健看護学Ⅱ	堀井湖浪	授業改善アンケートへご協力いただきありがとうございます。全体的に高評価をいただくことができました。特に、日本の精神医療の課題や精神障害を抱える方々の理解を助けるための動画の活用、事例、当事者の講演会などへの評価が高かったようです。今後も、さらに工夫していきたいと考えます。
1M0101	発達看護学概論	江本リナ	大変高い評価をいただき、担当した教員共々やりがいを感じております。学生への配慮があった点や、実際に子どもさんに登場していただいた点も良かったことに挙げてくださり、次年度も活かしたいと思います。小児のコマでスライド展開が早いというご指摘がありました。メモをとる時間を考慮し改善して参ります。
1M0102	発達看護学概論	江本リナ	大変高い評価をいただき、担当した教員共々やりがいを感じております。実際に子どもさんに登場していただいた点も良かったことに挙げてくださり、次年度も活かしたいと思います。
1M0200	発達看護学（成人期の看護）	本庄恵子	授業改善アンケートにご協力をいただき、ありがとうございます。みなさんからのご意見を参考にして、次年度も、学生のみなさんが積極的に授業に参加できる工夫を続けていきたいと思っております。
1M0601	発達看護学Ⅱ②	江本 リナ	概ね良い評価をいただきありがとうございます。授業資料に関して良いコメントをいただいただけ励みになります。授業資料はあくまでも授業内容のレジメという位置づけにありますので、授業資料は穴埋め形式にしていません。自分なりのノートを作って自律した学修を目指して欲しいと思っています。そのため、スライド展開が早いというご指摘がありましたので、メモをとる時間を考慮し改善して参ります。
1M0602	発達看護学Ⅱ②	江本 リナ	概ね良い評価をいただきありがとうございます。授業資料はあくまでも授業内容のレジメという位置づけにありますので、授業資料は穴埋め形式にしていません。自分なりのノートを作って自律した学修を目指して欲しいと思っています。そのため、スライド展開が早いというご指摘がありましたので、メモをとる時間を考慮し改善して参ります。
1M0800	発達看護学Ⅲ②	千葉京子	アンケートへの回答ありがとうございます。全体的に平均点をやや上回る評価を頂きました。本科目は老年看護学教員5名で担当しています。教員間で連携をとり、学生の皆さんの興味関心を尊重しつつ、老年看護学の重要な知識を学修いただけるよう工夫していきたいと思っています。皆さんのご意見もお待ちしています。

1N0200	慢性期ケア	田中孝美	授業評価アンケートのご協力をありがとうございました。授業に意欲的に取り組み、内容を興味深く受け止めてくださったことが伝わってきました。皆さんの考えを深める時間や機会をもてるよう、引き続き授業の運営方法を工夫していきます。また、授業資料で穴埋めの箇所については、その内容を授業後に確認できるよう対応を検討します。
1N0300	急性期ケア	三浦 英恵	アンケートでは、多くの方にご回答いただきありがとうございました。みなさんがとても熱心に授業に取り組んでくださった様子が伝わってきました。今後もより分かりやすい授業になるように、みなさんの理解度や反応を見ながら、丁寧に授業を進めていきたいと思います。授業資料が多くて大変というご意見については、よりよい資料になるよう、授業内容のポイントに沿って今後も工夫を重ねていきたいと思います。
1N0400	緩和・終末期ケア	吉田みつ子	緩和ケアの実際について、なるべくわかりやすくお伝えするために動画などを活用したことで、みなさんの理解が深まったというコメントをいただきました。重苦しいテーマのため、気持ちがつらくなった方もいたと思います。授業資料について、少しわかりにくかったというコメントもいただきました。よりわかりやすく修正していきたいと思います。
1O0300	保健福祉行政論	櫻山豊夫	非常勤のため、常に学内にいるわけではないので、質問に答えられる時間も限られており、学生諸姉には申し訳なく思っております。それにも関わらず学生諸姉には、暖かい評価をいただき感謝しております。皆さんはこれから国家試験に向けて、まだまだ大変な時期が続きますね。ご健闘を祈っております。看護職に就かれたあとも、生涯勉強が続きます。ご活躍を期待しております。現場で一緒に仕事をする機会があったら、どうぞお声をかけてください。
1O0500	在宅看護学	石田千絵	ケアマネジメントの発表と具体的な在宅看護技術を学ぶという内容でしたが、限られた時間の中で優れた発表をされており、とても素晴らしかったです。アンケートの結果では、8～9割の方が高く評価してくださりありがとうございます。一方で、興味関心がない方にとって、演習内容のわかりにくさや難しさが大変負担になっているように思います。今後はもっと興味を持っていただけるように、よりわかりやすく演習を進めていただけるように精進したいと思います。皆様がこの学びを実習だけでなく、卒業後も活用していただけることを祈っています。
1P0200	看護管理学Ⅱ	安部陽子	選択科目なので、意欲の高い学生さんが履修していたとは思いますが、事前課題・事後課題もあったので、さすがに連日の授業は大変だったと思います。にもかかわらず、楽しく学べたという意見が多くてよかったです。
1P0500	看護教育方法	西田 朋子	選択科目でしたが、履修してくださった皆さんありがとうございました。GWや授業案の作成、実施などが良かったり皆さんご自身の考えが広がる機会だったことがよくわかりました。これまで受けてきた教育をふり返り、今後教える立場にたったらということを考えられる機会になっていたら嬉しいですね。回答率が4割弱という結果でしたが回収率に関しては今後課題として取り組んでいきます。ありがとうございました。
1Q0100	応用看護学特論Ⅰ①	安部陽子	オムニバス形式でフィールドトリップもある科目でしたが満足度が高くてよかったです。
1Q0200	応用看護学特論Ⅰ②	齋藤英子	少人数での発表・討議でしたが、毎回、お二人がしっかり調べて自分の意見を考えた上で臨んでくださるので、こちらも感服しつつ、楽しく時間があっという間に過ぎました。ひとつの正確な答えのない世界の話だったので、議論としては難しい話題ばかりでしたが、様々な観点から議論できる皆さんをみていて、4年間の学びの総合力の高さを感じました。今後、ここで学んだことを生かしていただければと思います。
1Q0300	応用看護学特論Ⅰ③	江本 リナ	嬉しい評価をいただきありがとうございます。子どもに対する理解が深まり、さらにたくさん学びを得ることができたことがわかりました。どのような授業にしようか一生懸命考えた授業ですので、みなさんに楽しく受講してもらえて教員一同とても嬉しく思います。
1Q0500	応用看護学特論Ⅱ①	古城門靖子	ご意見ありがとうございました。小グループでのグループワークや事例検討などが、授業内容の理解につながり、関心が深まったとのご意見をいただきました。今後も、演習や事例検討を通じて、受講生がより授業内容の理解が深まり、学修意欲や自らの成長に活かすことができる授業となるようにしていきたいです。
1Q0600	応用看護学特論Ⅱ②	坂口千鶴他	アンケートに回答頂き、ありがとうございます。皆様から頂いたアンケート結果を今後の授業改善に活かしていきたいです。どうぞよろしく申し上げます。

1R0100	国際看護学Ⅰ	織方 愛	アンケートの回答とフィードバックをどうもありがとうございました。世界が広がったという意見、写真やグラフによってイメージしやすかったという意見、実務経験の話を書けて具体的なイメージを持てたという意見、コメントスクリーンが良かったという意見は、視覚化、具体化を目指して試行錯誤した結果が評価されたということで教員一同うれしく存じます。今後も継続していこうと思います。印刷資料の見づらさについては、申し訳ありません。印刷資料は授業中の皆さんのメモ代わりとして、授業内容の復習用として配布していました。授業中のパワーポイント投影では、広尾ホール用に文字色を見やすいものに変更したり、フォントを大きくしたりしておりました。また、毎回Glexaに電子データもアップし、細かい数字などはそちらを参照するようにお願いしていました。今後はそちらも活用いただけたらと思います。印刷資料配布については、配布の是非も含め領域内で検討してまいりたいと思います。
1R0500	災害看護論Ⅱ	内木美恵	授業改善アンケートから、皆さんが主体的に学修を進めておられたことがわかりました。教員の体験談が学習内容の理解に役立ったこと、毎回のフィードバックが学びを深めることにつながったこと等が良い点として挙がっており、今後も継続していきたいと思います。また、Zoomでのグループワークが難しい、3年次選択科目と内容が重複しているという意見を頂きましたので、改善していきます。貴重な意見をありがとうございました。次年度の授業に活かしていきたいと思います。
1T0300	研究方法論Ⅲ	川崎 洋平	全体的に高い評価をいただきました。次年度以降はさらに興味を持っていただける授業内容にしていきたいと思っています。
1T0601	研究基礎Ⅰ	川崎 修一	過分評価をありがとうございました。頂いたコメントを基に授業改善に取り組みたいと思います。
1T0602	研究基礎Ⅰ	角田敦彦	アンケート結果としては、8割の学生から回答があり、概ね肯定的な評価でした。これから様々なレポートや論文を書くうえで必要なスキルを身につけるための科目ですが、極々少数ながら興味を持つことができなかったと回答した学生がいました。すべての学生が関心を持ち、積極的に取組むことは現実的ではありませんが、科目の目的や到達目標を明確に学生と共有することで、一人でも多くの学生が学修に価値を見出せるものにしていきたいと考えます。
1T0603	研究基礎Ⅰ	井上明宏	・レポート提出までの期間が短いということですが、6月末からレポート作成準備に入っており、8月下旬の提出ですので、時間は十分にあるかと思えます。書き方がよくわからなかったという点については、今後、わかりやすく指示を出せるように努めたいと思います。・レポートは、皆さんがんばって書いていただきましたが、形式を踏襲することが一つの大きな目的でもありますので、その部分が不十分だと評価に影響したと思います。・当科目での学びを活かして、引き続き学びを積み重ねていってください。
1T0604	研究基礎Ⅰ	川崎 洋平	全体的に高い評価をいただきました。次年度以降はさらに興味を持っていただける授業内容にしていきたいと思っています。
1T0605	研究基礎Ⅰ	遠藤公久	評価は概ね好評でした。ありがとうございました。
1T0606	研究基礎Ⅰ	遠藤花子	みなさんに満足して頂いたようで、良かったです。板書などにも少し注意を払いながら、今後も皆さんの反応を大切にしながら授業をしていきたいと思っています。
1T0607	研究基礎Ⅰ	鷹田佳典	ワードの使い方など今後の学生生活に役立つことが知れてよかったや、楽しかったという意見があり、大変嬉しく思います。研究基礎Ⅰはこれから大学で学んでいくための基礎的な知識やスキルを習得する科目ですので、次年度以降もその目的に向けてしっかりと授業を行っていききたいと思います。
1T0608	研究基礎Ⅰ	越後敬子	ゼミ全体の学習と個別の調査研究という二本立てで行ったが、それぞれが設定したテーマに沿って、積極的に取り組めたと思う。
1T0609	研究基礎Ⅰ	伊藤麻希	アンケートから、概ね授業を積極的かつ意欲的に取り組んでくれた様子が窺える。少人数で細かな指導ができるため、可能な限り個人それぞれへのフィードバックや指導を充実させるように心がけた。レポート作成指導では、レポートを執筆するための準備段階の指導は手厚く行えるが、実際に学生がレポートを執筆することで認識や技術が不足している部分が明らかになることも多い。できれば前期途中でレポートを完成させ、その後フィードバックにも時間を割くことができればより学生にとって学びの多い学習になるのではないかと考えている。

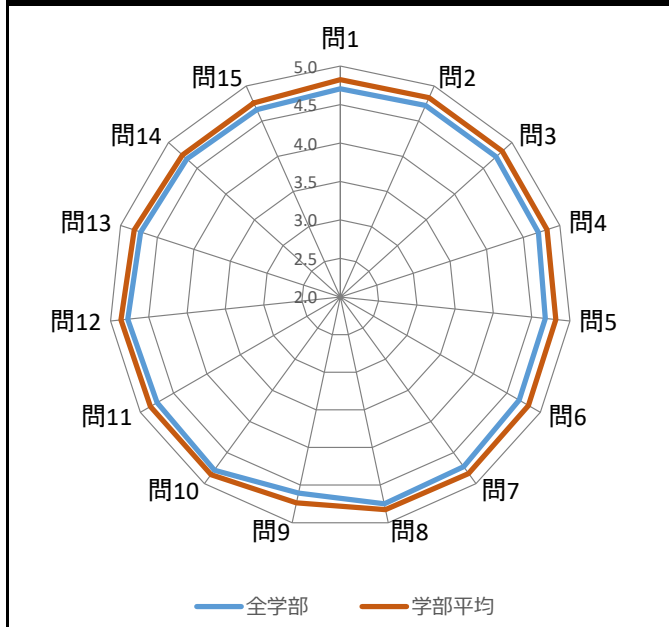
1T0610	研究基礎 I	鈴木勝己	<p>医療者が意識すべき生命観や倫理観について学ぶことができたようで、人文分野の看護系教員として手ごたえを感じておりほっとしている。ゼミ運営では、基本的に自由度を高く設定し、初学者が看護師として身に着けるべき基本的リテラシーの習得に加えて、各自の関心を育んでいくための機会とすることができたと感じている。学生の皆さんが自分なりの関心を見つけ、それを学術レベルまで高めていくことは看護師として必須の教養であるため、今後も継続する必要があると感じている。その一方で、今後の課題としてシラバスから少々それることについては事前に皆さんの了解・希望を確認したことの結果なので、今後も臨機応変に対応していく。また授業終了時間については時間管理をしっかりしていくことを意識したい。ただし、当然のことながら終了時間を厳守する以上、開始時間も厳守となることを肝に銘じてもらいたい。</p>
--------	--------	------	---

学部名	看護学部			
	履修者数	825	回答率	
	回答数	紙 635 WEB 0	77%	77%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。							4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。							4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。							4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。							4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。							4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。							4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。							4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。							4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。							4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。							4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。							4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。							4.76	4.66
問1～15全問平均								4.82	4.71

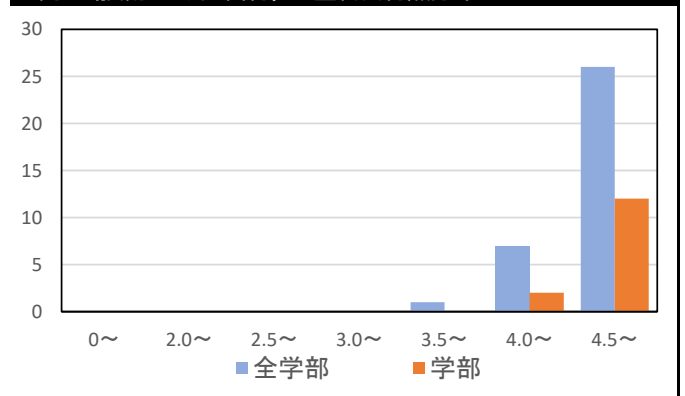
■ 質問別得点



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

<質問別回答内訳>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布

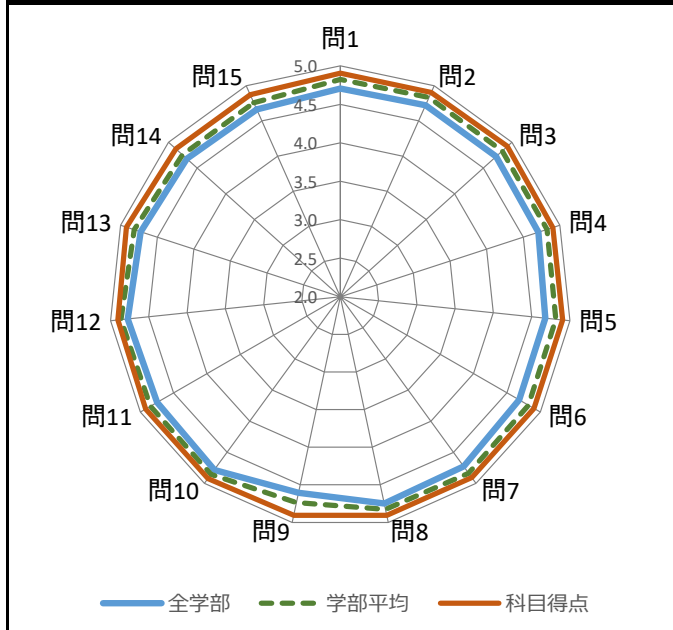


科目名	看護技術論Ⅱ②	[1J0301]	履修者数	70	回答率	
教員名	樋口 佳栄		回 紙	63	90.0%	90.0%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 57 responses for '役に立った' and 6 for '役に立たなかった']						4.90	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 57 responses for '適切だった' and 6 for '適切ではなかった']						4.90	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 58 responses for '適切だった' and 5 for '適切ではなかった']						4.92	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 57 responses for '適切だった' and 6 for '適切ではなかった']						4.90	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	[Bar chart showing 57 responses for '興味をもち、深く学びたい' and 6 for '興味をもち、深く学びたいができていない']						4.90	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 57 responses for '実践的なレベルで学ぶことができた' and 6 for '実践的なレベルで学ぶことができていない']						4.90	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 57 responses for '適切だった' and 6 for '適切ではなかった']						4.90	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 57 responses for '適切だった' and 6 for '適切ではなかった']						4.90	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 57 responses for '適切だった' and 6 for '適切ではなかった']						4.90	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 58 responses for '熱意が伝わってきた' and 5 for '熱意が伝わってこなかった']						4.92	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 58 responses for '理解や反応を見ながら進め、質問しやすい' and 5 for '理解や反応を見ながら進め、質問しやすいができていない']						4.92	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 57 responses for '適切に回答した' and 6 for '適切に回答しなかった']						4.90	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 58 responses for '事前学習をして臨んだ' and 5 for '事前学習をして臨んでいない']						4.92	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 55 responses for '授業後に演習内容を復習した' and 8 for '授業後に演習内容を復習しなかった']						4.87	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 55 responses for '技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった' and 8 for '技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになったができていない']						4.87	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.90	4.82	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

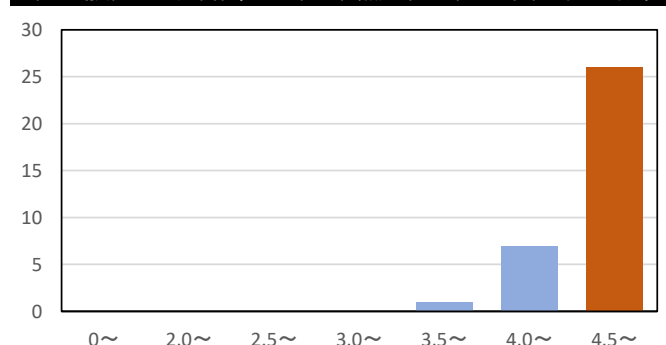


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

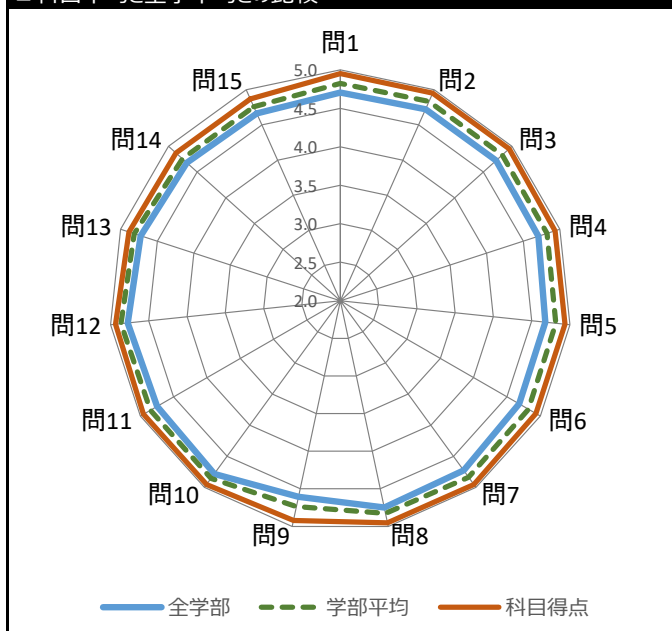


科目名	看護技術論Ⅱ②	[1J0302]	履修者数	68	回答率	
教員名	樋口 佳栄		回 紙	62	91.2%	91.2%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 59 responses]						3	4.95	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 59 responses]						3	4.95	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 59 responses]						3	4.95	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 58 responses]						4	4.94	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 58 responses]						4	4.94	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 58 responses]						4	4.94	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 59 responses]						3	4.95	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 59 responses]						3	4.95	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 57 responses]						5	4.92	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 59 responses]						3	4.95	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 59 responses]						3	4.95	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 58 responses]						4	4.94	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 56 responses]						5	4.89	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 55 responses]						6	4.87	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 54 responses]						8	4.87	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.93	4.82	4.71	

■ 科目平均と全学平均との比較

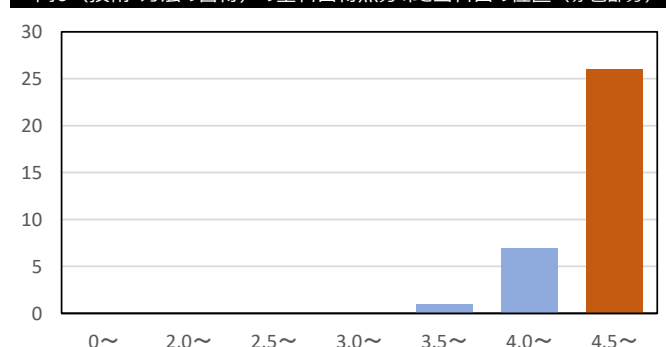


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

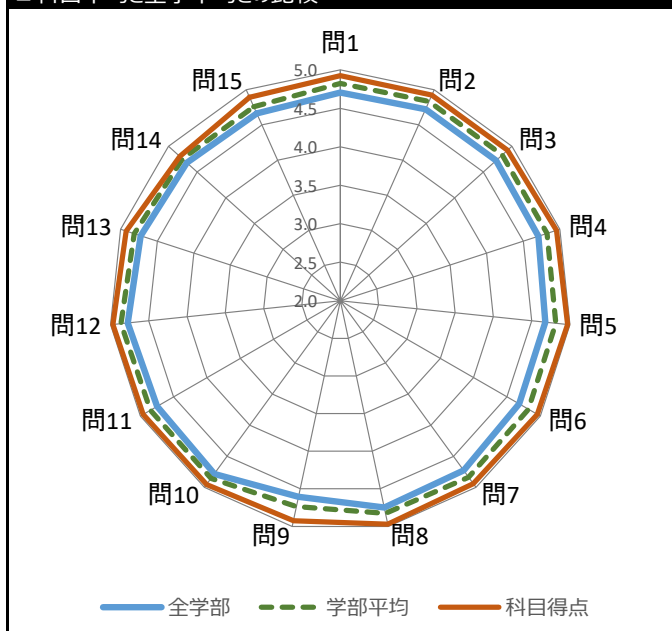


科目名	看護技術論Ⅲ①	[1J0401]	履修者数	73	回答率	
教員名	樋口 佳栄		紙	66	90.4%	90.4%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 61 responses for 'Strongly agree' and 5 for 'Agree']						4.92	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 61 responses for 'Strongly agree' and 5 for 'Agree']						4.92	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 61 responses for 'Strongly agree' and 5 for 'Agree']						4.92	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 63 responses for 'Strongly agree' and 3 for 'Agree']						4.95	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 64 responses for 'Strongly agree' and 2 for 'Agree']						4.97	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 63 responses for 'Strongly agree' and 3 for 'Agree']						4.95	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 62 responses for 'Strongly agree' and 4 for 'Agree']						4.94	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 64 responses for 'Strongly agree' and 2 for 'Agree']						4.97	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 61 responses for 'Strongly agree' and 5 for 'Agree']						4.92	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 63 responses for 'Strongly agree' and 3 for 'Agree']						4.95	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 63 responses for 'Strongly agree' and 3 for 'Agree']						4.95	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 64 responses for 'Strongly agree' and 2 for 'Agree']						4.97	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 61 responses for 'Strongly agree' and 5 for 'Agree']						4.92	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 59 responses for 'Strongly agree', 3 for 'Agree', and 3 for 'Disagree']						4.80	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 59 responses for 'Strongly agree' and 7 for 'Disagree']						4.89	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.93	4.82	4.71

■科目平均と全学平均との比較

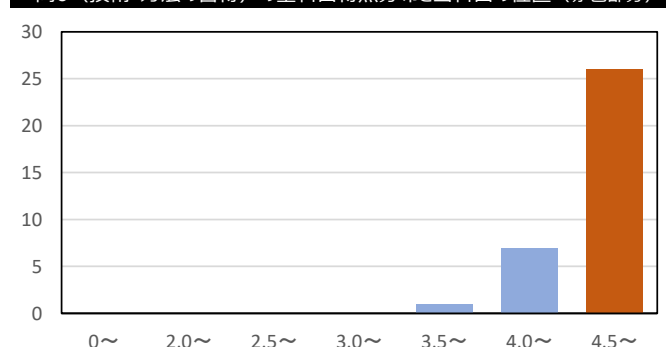


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

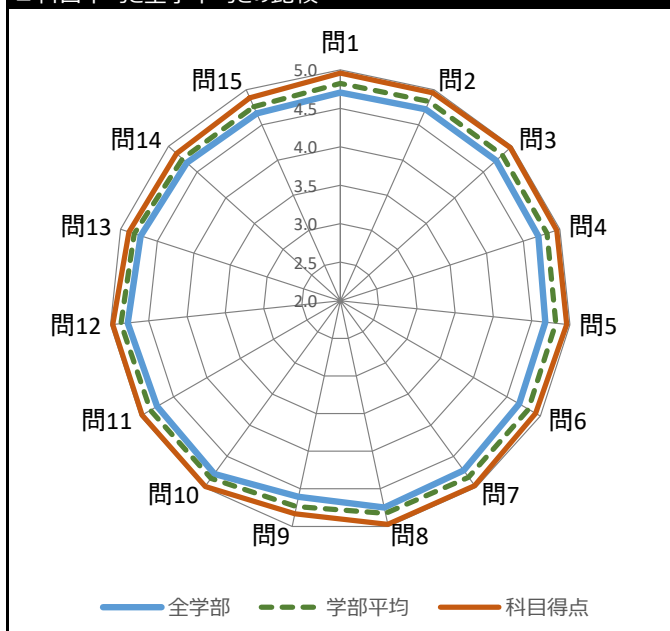


科目名	看護技術論Ⅲ①	[1J0402]	履修者数	72	回答率	
教員名	樋口 佳栄		回 紙	71	98.6%	98.6%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	68						3	4.96	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	68						3	4.96	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	69							4.97	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	68						3	4.96	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	68						3	4.96	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	66						5	4.93	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	69							4.97	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	69							4.97	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	60						10	4.83	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	70							4.99	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	69							4.97	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	69							4.97	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	63						8	4.89	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	63						6	4.86	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	64						6	4.89	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.94	4.82	4.71	

■ 科目平均と全学平均との比較

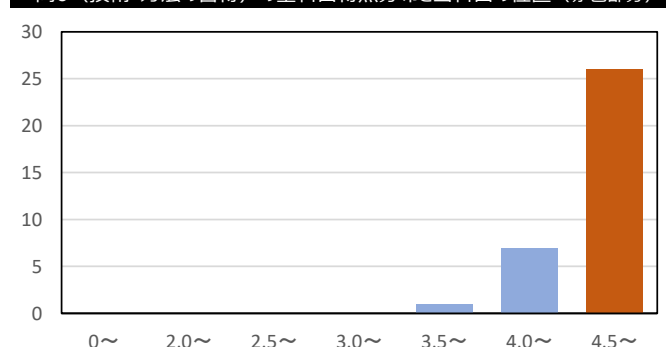


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

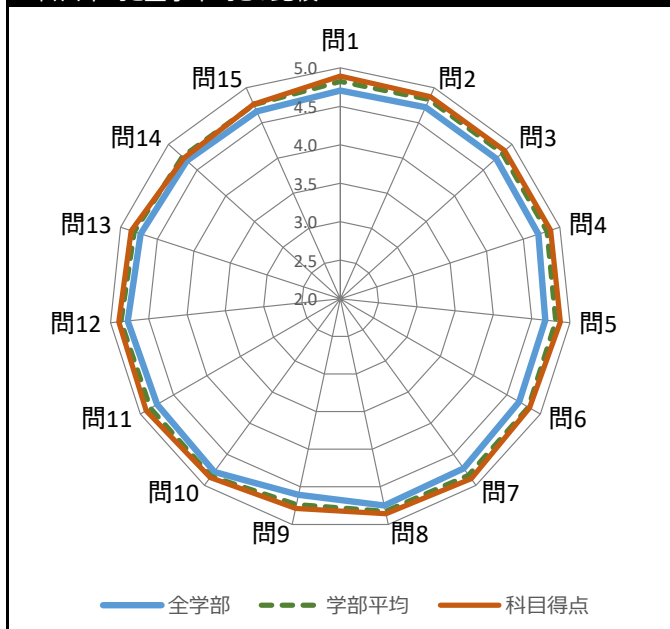


科目名	看護技術論Ⅲ③	[1J0601]	履修者数	70	回答率	
教員名	吉田 みつ子		回 紙	56	80.0%	80.0%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 50% blue, 6% green]						4.89	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 49% blue, 7% green]						4.88	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 49% blue, 7% green]						4.88	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 49% blue, 7% green]						4.88	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 49% blue, 7% green]						4.88	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 47% blue, 9% green]						4.84	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 50% blue, 6% green]						4.89	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 49% blue, 6% green]						4.86	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 45% blue, 10% green]						4.79	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 49% blue, 7% green]						4.88	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 51% blue, 5% green]						4.91	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 50% blue, 6% green]						4.89	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 48% blue, 8% green]						4.86	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 44% blue, 9% green, 3% orange]						4.73	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 44% blue, 11% green]						4.77	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.85	4.82	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

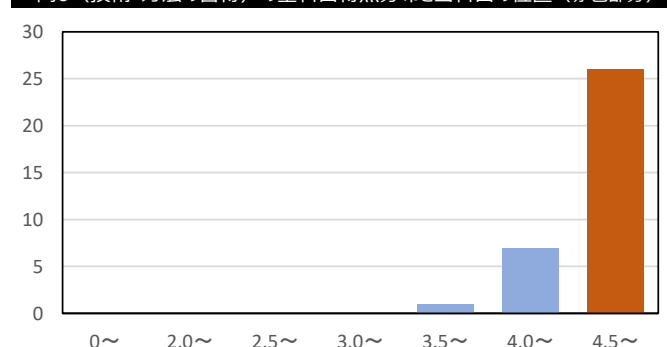


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Grey]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

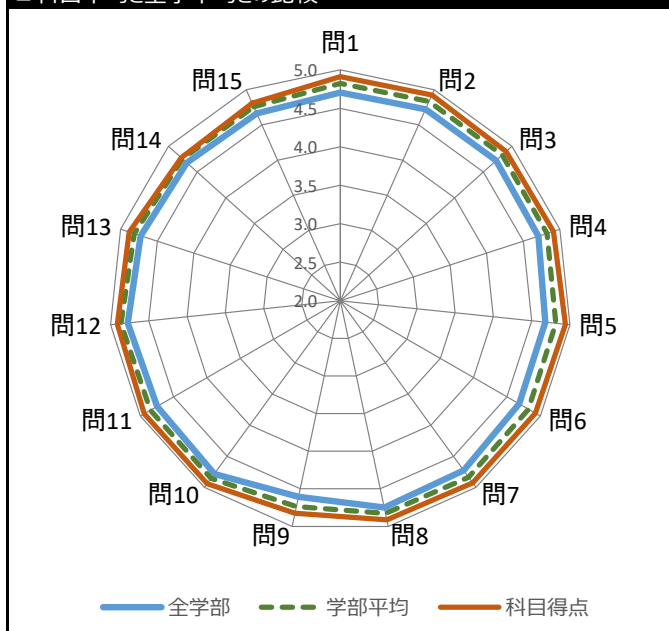


科目名	看護技術論Ⅲ③	[1J0602]	履修者数	68	回答率	
教員名	吉田 みつ子		回 紙	68	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 62 correct, 6 incorrect]						4.91	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart: 63 correct, 5 incorrect]						4.93	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart: 61 correct, 7 incorrect]						4.90	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart: 62 correct, 6 incorrect]						4.91	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart: 64 correct, 4 incorrect]						4.94	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart: 63 correct, 5 incorrect]						4.93	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart: 63 correct, 5 incorrect]						4.93	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart: 62 correct, 6 incorrect]						4.91	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart: 58 correct, 8 incorrect]						4.82	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 64 correct, 4 incorrect]						4.94	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart: 64 correct, 4 incorrect]						4.94	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 62 correct, 6 incorrect]						4.91	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart: 60 correct, 8 incorrect]						4.88	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスパワーを含む）。	[Bar chart: 57 correct, 9 incorrect]						4.78	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart: 56 correct, 11 incorrect]						4.81	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.90	4.82	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

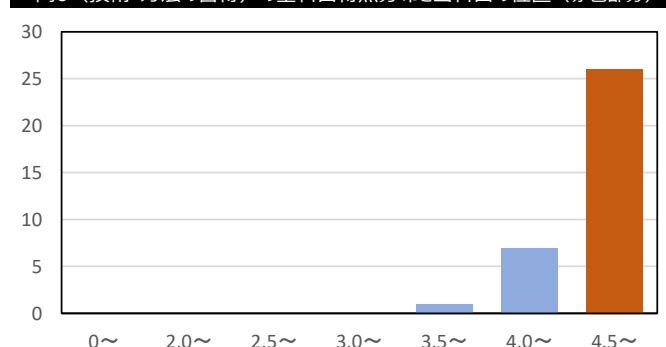


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

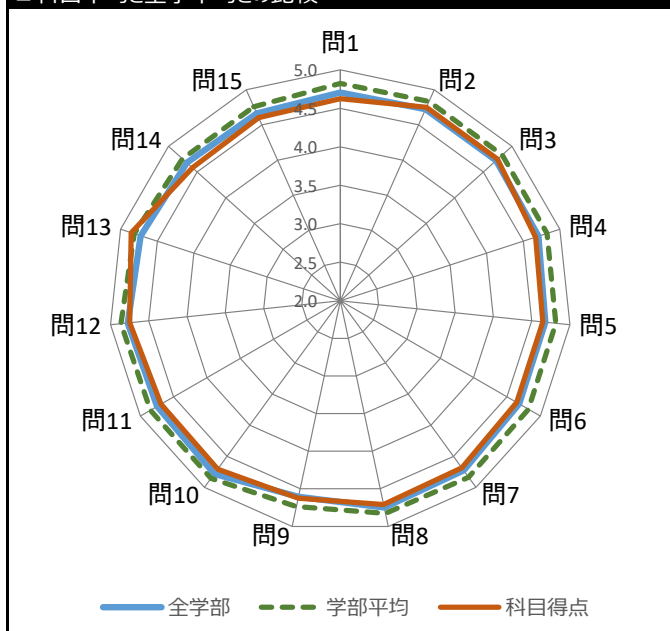


科目名	健康レベル別看護学演習Ⅱ	[1N0601]	履修者数	72	回答率	
教員名	江本 リナ		回 紙	48	66.7%	66.7%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.63	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。							4.75	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。							4.75	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。							4.67	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。							4.65	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。							4.65	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。							4.69	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。							4.71	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。							4.63	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.71	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。							4.69	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							4.75	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。							4.85	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。							4.58	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。							4.60	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.69	4.82	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

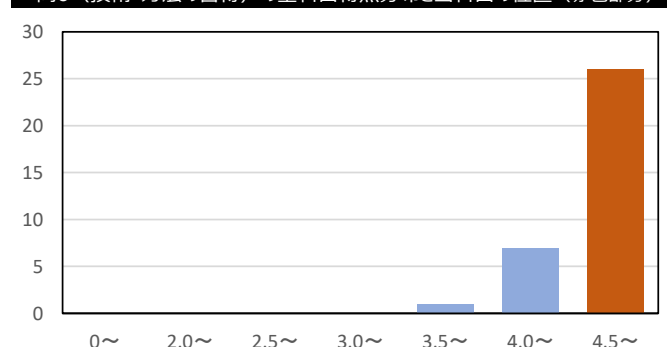


グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

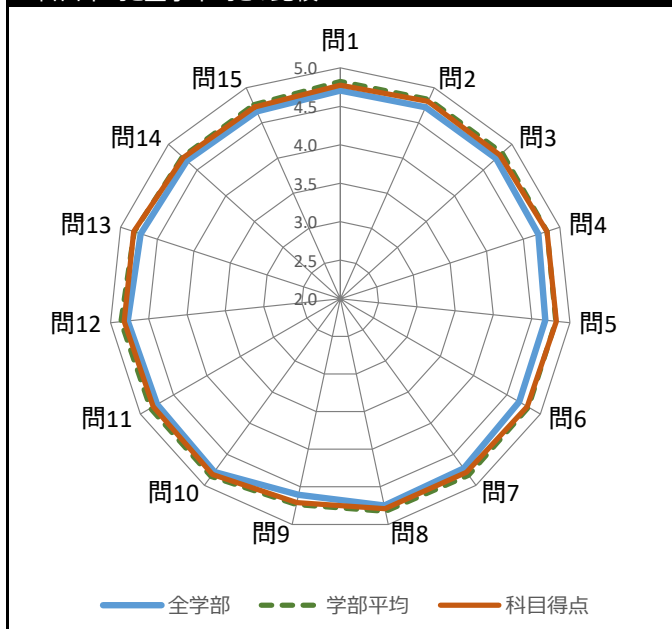


科目名	健康レベル別看護学演習Ⅱ	[1N0602]	履修者数	70	回答率	
教員名	江本 リナ		回 答 数	紙	62	88.6%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%
						88.6%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 49 'Strongly agree' and 12 'Agree']						4.77	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 50 'Strongly agree' and 12 'Agree']						4.81	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 49 'Strongly agree' and 13 'Agree']						4.79	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 51 'Strongly agree' and 11 'Agree']						4.82	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 51 'Strongly agree' and 11 'Agree']						4.82	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 50 'Strongly agree' and 12 'Agree']						4.81	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 49 'Strongly agree' and 13 'Agree']						4.79	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 51 'Strongly agree' and 10 'Agree']						4.79	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 48 'Strongly agree', 11 'Agree', 2 'Disagree']						4.71	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 51 'Strongly agree' and 11 'Agree']						4.82	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 50 'Strongly agree' and 12 'Agree']						4.81	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 51 'Strongly agree' and 11 'Agree']						4.82	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 51 'Strongly agree' and 11 'Agree']						4.82	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 47 'Strongly agree' and 14 'Agree']						4.74	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 47 'Strongly agree', 13 'Agree', 2 'Disagree']						4.73	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.79	4.82	4.71

■科目平均と全学平均との比較

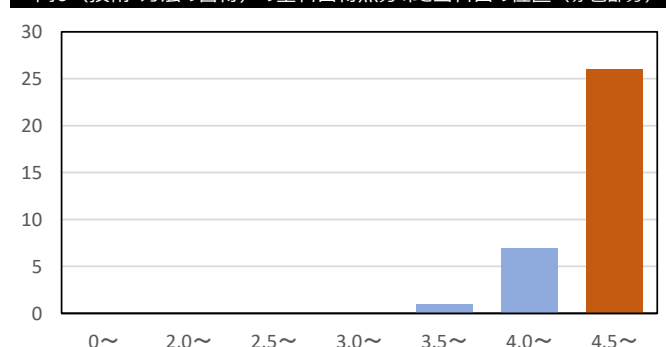


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

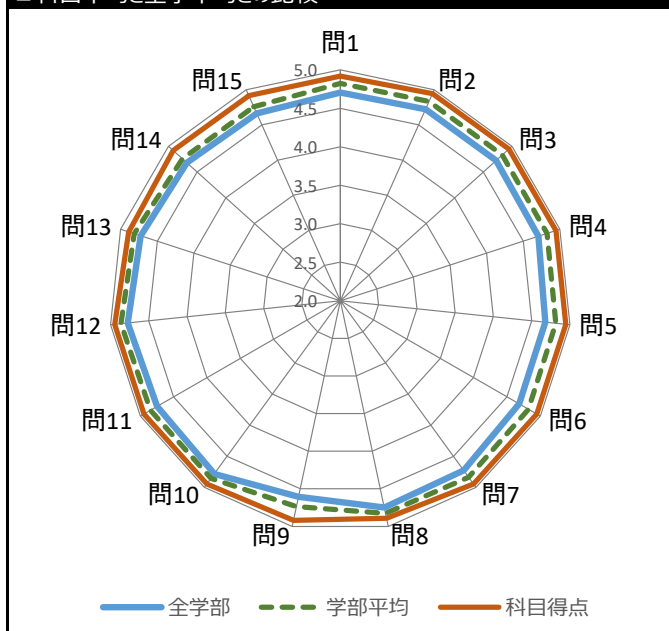


科目名	災害看護活動論 I	[1R0600]	履修者数	53	回答率	
教員名	橋爪 朋子		紙	37	69.8%	69.8%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 34 responses for '役に立った' and 3 for '役に立たなかった']						4.92	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 35 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった']						4.95	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 35 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった']						4.95	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 35 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった']						4.95	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 35 responses for '興味をもち、深く学びたいと感じることができた' and 2 for '興味をもち、深く学びたいと感じることができなかった']						4.95	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 35 responses for '実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた' and 2 for '実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができなかった']						4.95	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 35 responses for '適切だった' and 2 for '適切ではなかった']						4.95	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 33 responses for '適切だった' and 4 for '適切ではなかった']						4.89	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 34 responses for '適切だった' and 3 for '適切ではなかった']						4.92	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 35 responses for '熱意が伝わってきた' and 2 for '熱意が伝わってこなかった']						4.95	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 35 responses for '理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった' and 2 for '理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況がなかった']						4.95	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 35 responses for '適切に回答した' and 2 for '適切に回答しなかった']						4.95	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 33 responses for '事前学習をして演習に臨んだ' and 4 for '事前学習をして演習に臨んだがなかった']						4.89	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 34 responses for '授業後に演習内容を復習した' and 3 for '授業後に演習内容を復習しなかった']						4.92	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 34 responses for '技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった' and 3 for '技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになったがなかった']						4.92	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.93	4.82	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

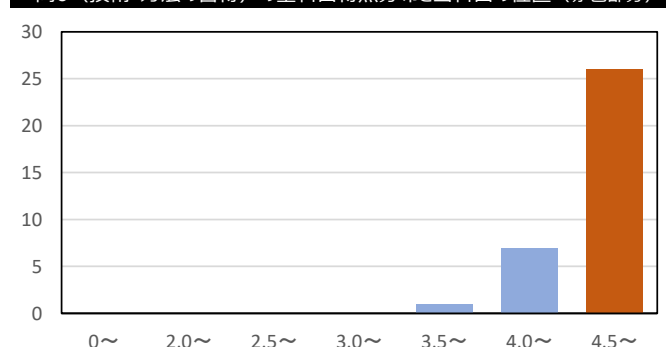


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

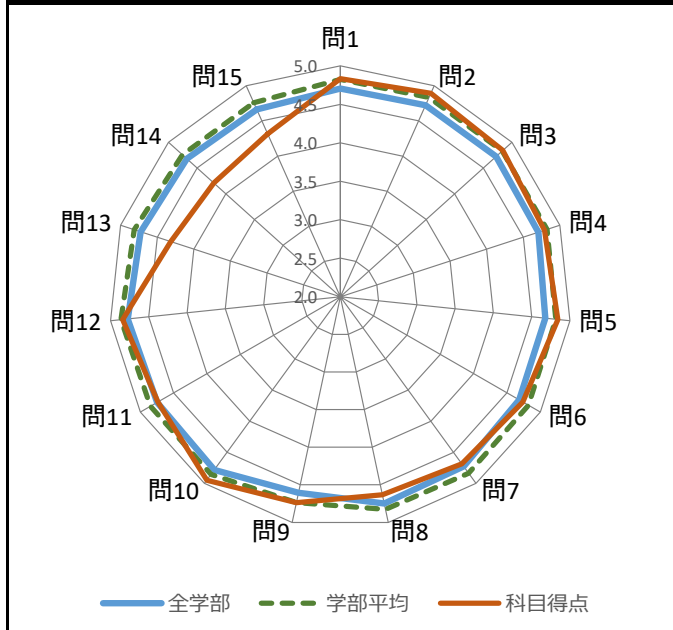


科目名	災害看護活動論Ⅲ	[1R0800]	履修者数	19	回答率	
教員名	橋爪 朋子		回 紙	19	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 15 blue, 3 green, 1 orange]						4.83	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart: 17 blue, 2 green]						4.89	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart: 16 blue, 3 green]						4.84	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart: 16 blue, 2 green, 1 orange]						4.79	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart: 16 blue, 3 green]						4.84	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart: 15 blue, 3 green, 1 orange]						4.74	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart: 13 blue, 6 green]						4.68	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart: 12 blue, 7 green]						4.63	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart: 15 blue, 3 green, 1 orange]						4.74	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 18 blue, 1 green]						4.95	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart: 14 blue, 5 green]						4.74	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 16 blue, 3 green]						4.84	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart: 11 blue, 5 green, 2 orange, 1 red]						4.32	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart: 11 blue, 3 green, 4 orange, 1 red]						4.21	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart: 9 blue, 7 green, 3 orange]						4.32	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.69	4.82	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

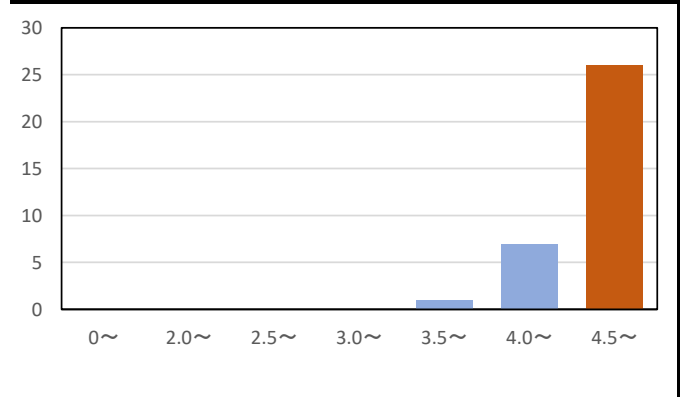


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

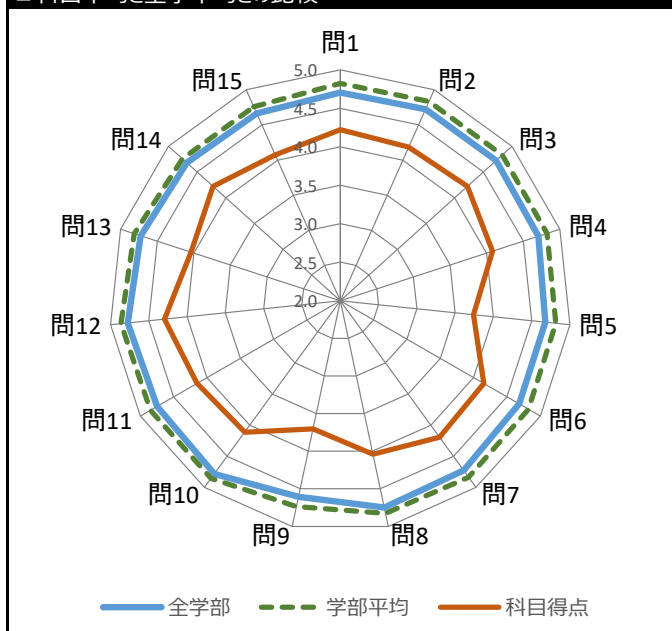


科目名	研究方法論 I	[1T0101]	履修者数	80	回答率	
教員名	江本 リナ		回 紙	27	33.8%	33.8%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	12	9	6				4.22	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	12	9	5	1			4.19	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	12	10	4	1			4.22	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	11	7	5	2	2		4.08	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	11	5	6	3	2		3.74	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	13	6	5	2	1		4.15	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	14	5	6	1	1		4.19	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	12	5	6	1	1	2	4.04	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	10	7	5	2	3		3.70	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	13	7	5	1	1		4.11	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13	7	5	2			4.15	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	14	7	6				4.30	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	12	7	4	2	1	1	4.04	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	15	6	4	1	1		4.22	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	12	8	5	1	1		4.07	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.10	4.82	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

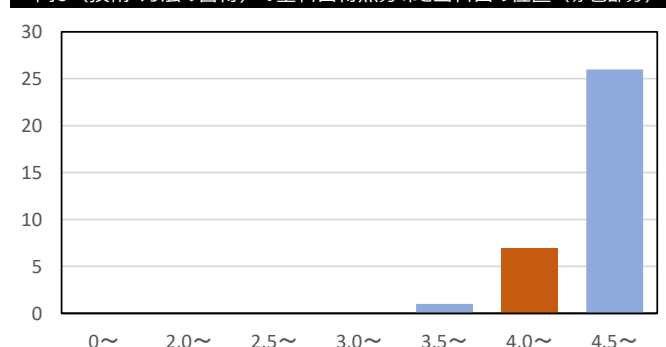


グラフ凡例	配点	問1～15
Blue	5	強く思う
Green	4	そう思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Light Orange	1	全くそうは思わない
Grey	-	該当なし
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

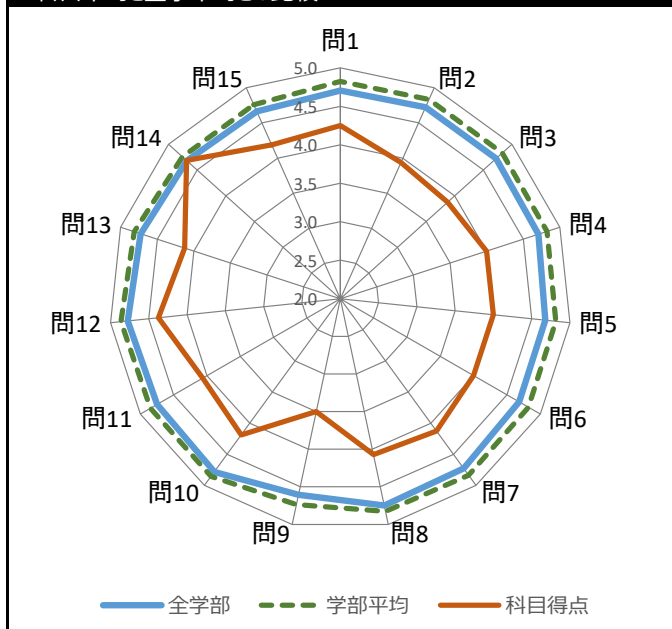


科目名	研究方法論 I	[1T0102]	履修者数	70	回答率	
教員名	江本 リナ		回 紙	16	22.9%	22.9%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7	7	1	1			4.25	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	6	4	5	1			3.94	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	7	3	3	3			3.88	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	7	4	3	2			4.00	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	7	4	4	1			4.00	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	7	3	5	1			4.00	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	7	5	3	1			4.13	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	6	3	5	2			4.07	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	7	3	3	3			3.50	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	8	4	3	1			4.19	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	7	5	2	2			4.06	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	7	8	1				4.38	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	7	4	5				4.13	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	11	5					4.69	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	7	5	4				4.19	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.09	4.82	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

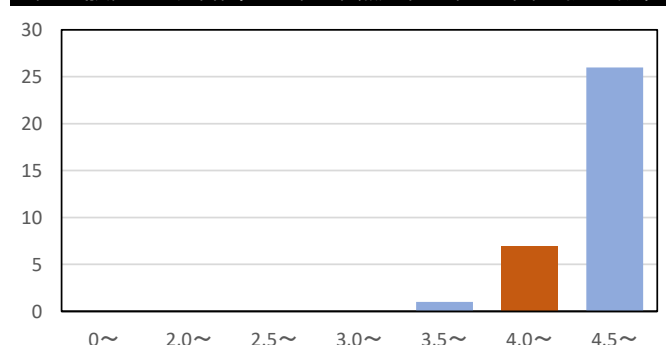


グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	該当なし
■	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

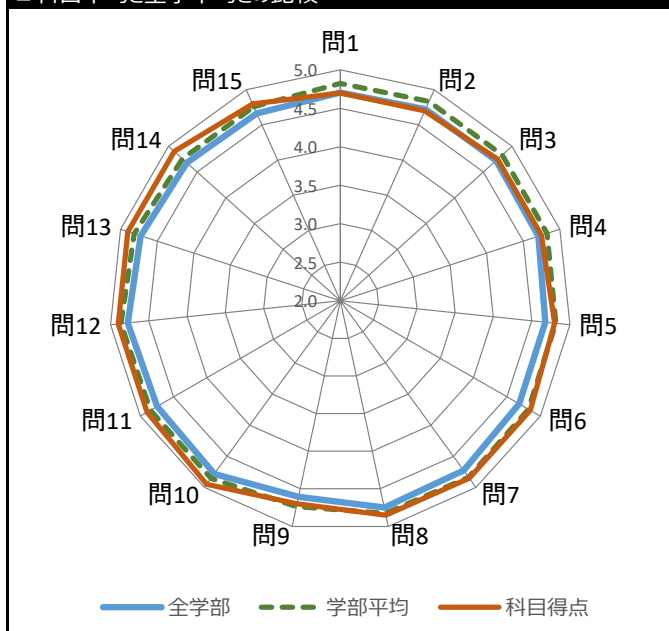


科目名	公衆衛生看護活動論演習 I	[1U0400]	履修者数	20	回答率	
教員名	井口 理		回 紙	20	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 14 blue and 6 green segments]						4.70	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 14 blue and 6 green segments]						4.70	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 15 blue and 5 green segments]						4.75	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 15 blue and 5 green segments]						4.75	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 16 blue and 4 green segments]						4.80	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 17 blue and 3 green segments]						4.85	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 17 blue and 3 green segments]						4.85	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 17 blue and 3 green segments]						4.85	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 16 blue, 2 green, and 2 yellow segments]						4.70	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 19 blue and 1 green segment]						4.95	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 18 blue and 2 green segments]						4.90	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 18 blue and 2 green segments]						4.90	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 18 blue and 2 green segments]						4.90	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 18 blue and 2 green segments]						4.90	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 16 blue and 4 green segments]						4.80	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.82	4.82	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

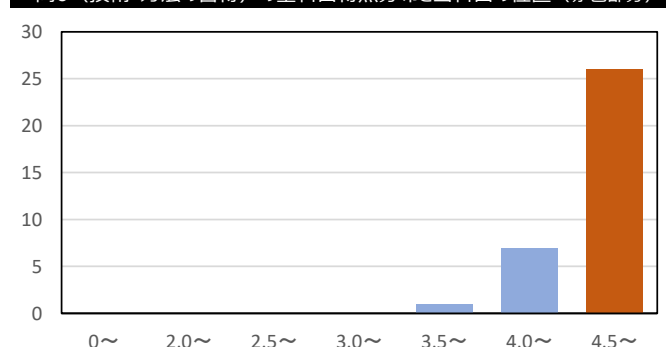


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

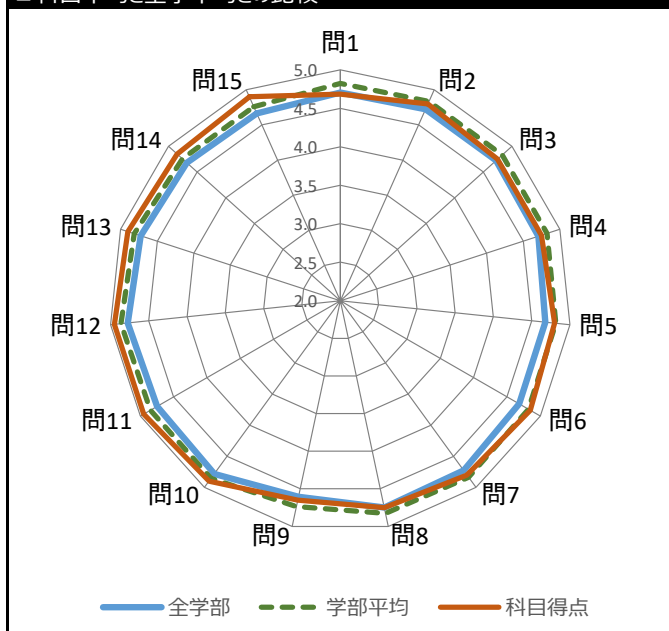


科目名	公衆衛生看護活動論演習Ⅱ	[1U0500]	履修者数	20	回答率	
教員名	吉川 悦子		回 紙	20	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 13 blue, 6 green, 1 yellow]						4.68	4.82	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 16 blue, 4 green]						4.80	4.83	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 16 blue, 3 green, 1 yellow]						4.75	4.83	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 15 blue, 5 green]						4.75	4.82	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 16 blue, 4 green]						4.80	4.82	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 17 blue, 3 green]						4.85	4.82	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 16 blue, 4 green]						4.80	4.84	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 16 blue, 3 green, 1 yellow]						4.75	4.83	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 15 blue, 3 green, 2 yellow]						4.65	4.74	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 18 blue, 2 green]						4.90	4.86	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 19 blue, 1 green]						4.95	4.85	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 19 blue, 1 green]						4.95	4.86	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 18 blue, 2 green]						4.90	4.81	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 17 blue, 3 green]						4.85	4.76	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 18 blue, 2 green]						4.90	4.76	4.66
問1～15全問平均								4.82	4.82	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

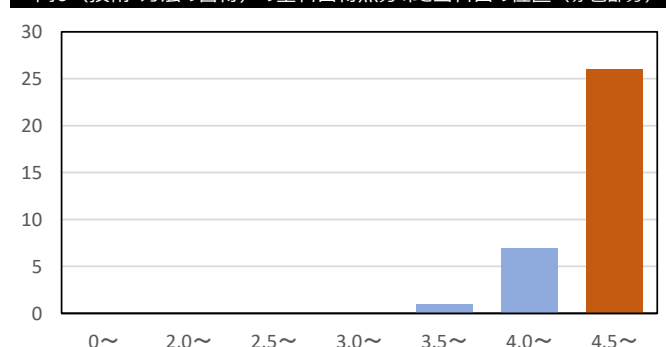


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1J0301	看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）	樋口佳栄	皆さん、コメントをお寄せくださり、大変ありがとうございました。私たちも、どういった方法が学びやすいのかといったことを毎回検討して試行錯誤しながら進んでまいりました。「グループで考えることで自ら学ぶことができた」というご意見や、「技術だけでなく考え方も身に着けることができて良かった」、「難しいことを丁寧に教えてもらえて出来るようになった」といったご意見は大変励みになりました。楽しく学ぶ、ということもモットーにしておりましたので、それが伝わったようでとてもうれしかったです。今後も熱意をもって、心は熱く、時間管理はきっちりと、楽しく、わかりやすい授業を探究してまいりたいと改めて思いました。皆さん、一緒に学んでくださり大変ありがとうございました。
1J0302	看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）	樋口佳栄	皆さん、コメントをお寄せくださり大変ありがとうございました。私たちも、どういった方法が学びやすいのかといったことを毎回検討して試行錯誤しながら進んでまいりました。「グループで考えることで自ら学ぶことができた」というご意見や、「教え方が丁寧でわかりやすかった」といったご意見は大変励みになりました。楽しく学ぶ、ということもモットーにしておりましたので、それが伝わったようでとてもうれしかったです。リアクションペーパーをグレクサ入力にしたことで時間的余裕が出て良かったとのフィードバックもありました。1つずつですが、今後も皆さんのお声を伺いながら、学びやすい工夫を重ねてまいりたいと思っております。今後も熱意をもって、心は熱く、時間管理はきっちりと、楽しく、わかりやすい授業を探究してまいりたいと改めて思いました。皆さん、一緒に学んでくださり大変ありがとうございました。
1J0401	看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）	樋口佳栄	皆さん、とてもよく学んでくださったようで大変うれしかったです。楽しく学べた、質問しやすい雰囲気だったなど、コメントもお寄せくださり、私達にとっても励みになりました。ありがとうございました！ 演習の時間も限られているなかで、オフィスアワーも有効にご活用くださった方も多くいらっやして、素晴らしいなと思っております。今後も皆さんの技術習得やその技術を用いての看護についての学びをサポートできるよう、皆さん一人ひとりの声に耳を傾けながら、工夫を重ねていきたいと思っています。
1J0402	看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）	樋口佳栄	皆さん、とても良く学んでくださったようで大変うれしかったです。教員との距離が近く質問しやすかった、やる気をださせてくれた、とても楽しく学べた、などコメントもお寄せくださり、私たちにとっても大変励みになりました。ありがとうございました！ 技術論は伝えたいことが沢山あって、時々時間を超過してしまうことがありました。授業時間は延長しないよう今後も気を付けてまいります。コメントから実習室の移動はあまりよくないんだなあと感じました。単元の内容にもよりますが、可能な限り、演習そのものに集中できるような工夫を重ねてまいりますね。貴重なご意見を大変ありがとうございました。
1J0601	看護技術論Ⅲ③	吉田みつ子	皆さんと一緒に楽しく看護技術を学ぶことができました。今年度はオフィスアワーを設定せず、授業時間内での練習をし、技術チェックをすることにしましたが、オフィスアワーも設けてほしいというコメントをいただきました。今授業時間外に、みなさんが自由に練習できる時間も設定できるようにしていきたいと思います。
1J0602	看護技術論Ⅲ③	吉田みつ子	皆さんと一緒に楽しく看護技術を学ぶことができました。今年度はオフィスアワーを設定せず、授業時間内での練習をし、技術チェックをすることにしましたが、もっと演習の時間が欲しいというコメントをいただきました。今授業時間外に、みなさんが自由に練習できる時間も設定できるようにしていきたいと思います。
1N0601	健康レベル別看護学演習Ⅱ	江本 リナ	良い評価をいただきありがとうございます。私たち教員も励みになります。ご指摘・ご提案いただきました事前課題については、各領域で検討していきたいと思います。みなさんからいただいたコメントを次年度に活かし、よりよい演習にしていきたいです。
1N0602	健康レベル別看護学演習Ⅱ	江本 リナ	良い評価をいただきありがとうございます。私たち教員も励みになります。ご指摘・ご提案いただきました事前課題については、各領域で検討していきたいと思います。みなさんからいただいたコメントを次年度に活かし、よりよい演習にしていきたいです。
1R0600	災害看護活動論Ⅰ	橋爪 朋子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。みなさんが主体的に本科目の学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。自由記載では、良い点として、演習など主体的に学ぶ機会が多く得られるものが多かったこと、実践的に学ぶことができて良かったなどが挙がっていました。改善点としてのコメントはありませんでしたが、皆さんにもっと興味をもって学び続けていただけるよう引き続き努力をしております。貴重な意見をありがとうございました。次年度に活かしてまいります。

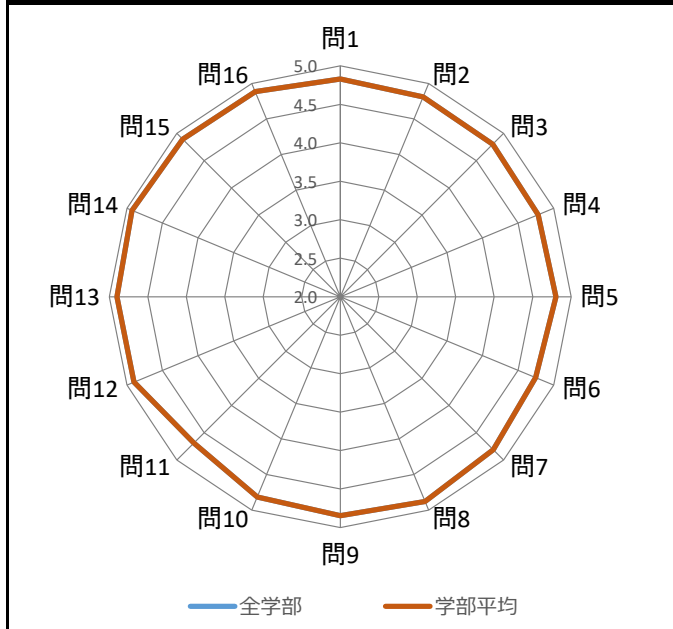
1R0800	災害看護活動論Ⅲ	橋爪 朋子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。みなさんが興味を持って本科目の学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。自由記載では、良い点として、演習など主体的に学ぶ機会が多く得られるものが多かったこと、実践的に学ぶことができ良かったこと、授業内で行ったデブリーフィングで自身の心のケアとなったことなどが挙がっていました。改善点としてのコメントは、本科目を必修科目にしてほしいなどの前向きな改善案をいただきました。演習については時間が限られているが、全員が実施できるようにしてほしいなどのご意見をいただきました。皆さんにとって多くの学びができるよう引き続き演習方法の工夫をまいります。貴重な意見をありがとうございました。次年度に活かしてまいります。
1T0101	研究方法論Ⅰ	江本リナ	概ね良い評価をしてくださりありがとうございました。良かった点として図書館司書による文献検索方法を挙げてくださり、学年の進度に合わせて情報の探索方法や文献利用を伝えることができ、次年度も同様に行いたいと思います。オフィスアワーは全ての担当教員がいるとは限らないと伝えておりましたが、待ち時間が長いことで十分な活用ができなかった点を改善して参ります。また、昨年度よりも早い時期に文献検討の書き方を取り上げたのですが、さらに早い時期を希望していることが分かりましたので、次年度に活かして参ります。
1T0102	研究方法論Ⅰ	江本リナ	概ね良い評価をしてくださりありがとうございました。オフィスアワーは全ての担当教員がいるとは限らないと伝えておりましたが、待ち時間が長いことで十分な活用ができなかった点を改善して参ります。また、昨年度よりも早い時期に文献検討の書き方を取り上げたのですが、さらに早い時期を希望していることが分かりましたので、次年度に活かして参ります。
1U0500	公衆衛生看護活動論演習Ⅱ	吉川悦子	アンケートにご回答いただきありがとうございました。とても良い評価で皆さんが主体的に、また熱心に授業にご参加いただいたことが良くわかりました。一部、本演習の内容とアンケート項目にそぐわない内容（技術の演習の説明と実施する実技の組み合わせなど）があった点ご意見ありがとうございました。一般的な技術演習を想定しての質問項目でしたので、健康教育を企画して実施していく本演習とはそもそも評価の視点が違っていることから違和感だったかなと推察します。いただいたご意見は今後の改善アンケートの項目の検討に参考にさせていただきます。

学部名	看護学部		履修者数	156	回答率	
			紙	111	71%	71%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 96% blue, 12% green]						4.83	4.83
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing 95% blue, 13% green]						4.81	4.81
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 95% blue, 11% green, 4% orange]						4.80	4.80
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 93% blue, 13% green, 4% orange]						4.78	4.78
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 97% blue, 10% green]						4.80	4.80
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing 88% blue, 17% green, 4% orange]						4.75	4.75
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 96% blue, 9% green, 4% orange]						4.81	4.81
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing 100% blue, 7% green]						4.88	4.88
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 96% blue, 12% green]						4.85	4.85
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 97% blue, 9% green]						4.82	4.82
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 93% blue, 8% green, 4% orange]						4.69	4.69
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing 101% blue, 9% green]						4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing 102% blue, 7% green]						4.90	4.90
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing 103% blue, 8% green]						4.93	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求められることができた。	[Bar chart showing 102% blue, 6% green]						4.89	4.89
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing 101% blue, 8% green]						4.88	4.88
問1～16全問平均								4.83	4.83

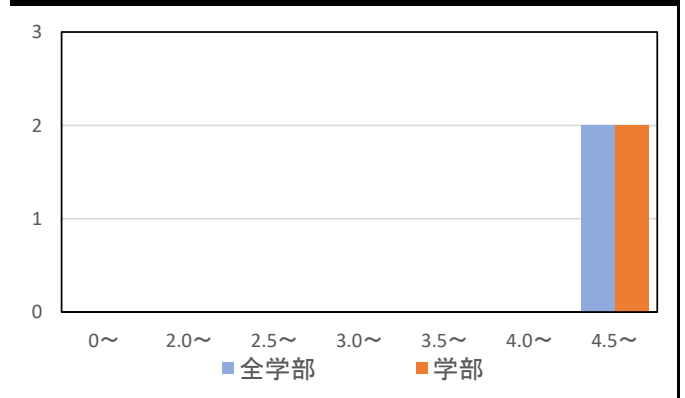
■ 学部平均と全学平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布 (全学/学部)

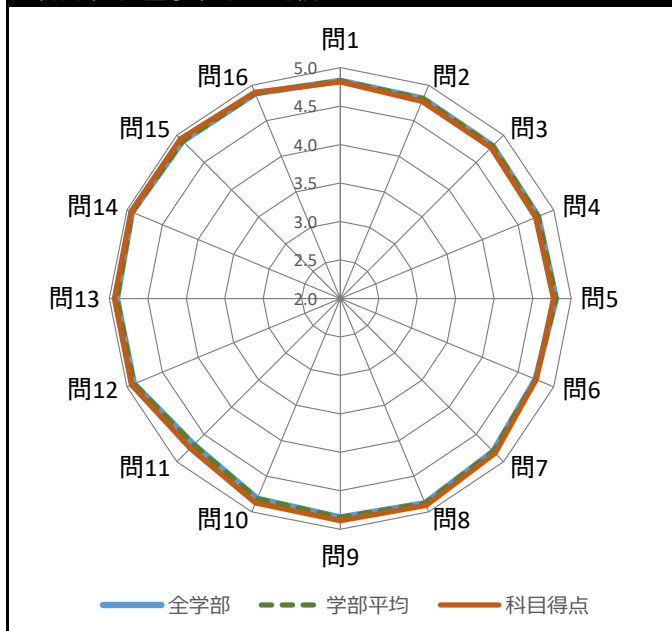


科目名	健康レベル別看護学実習[レベルⅢ]	[1S0700]	履修者数	136	回答率	
教員名	本庄 恵子		回答数	紙	91	67%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0%
					67%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	78						10	4.81	4.83	4.83
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	75						13	4.77	4.81	4.81
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	76						10	4.77	4.80	4.80
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	74						12	4.75	4.78	4.78
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	78						9	4.77	4.80	4.80
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	71						16	4.76	4.75	4.75
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	79						8	4.84	4.81	4.81
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	83						6	4.91	4.88	4.88
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	80						10	4.89	4.85	4.85
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	81						7	4.88	4.82	4.82
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	77						8	4.76	4.69	4.69
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	85						6	4.93	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	86						4	4.93	4.90	4.90
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	86						5	4.95	4.93	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求められることができた。	86						4	4.93	4.89	4.89
16	学生は、体調管理に努めた。	84						6	4.90	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.85	4.83	4.83	

■ 科目平均と全学平均との比較

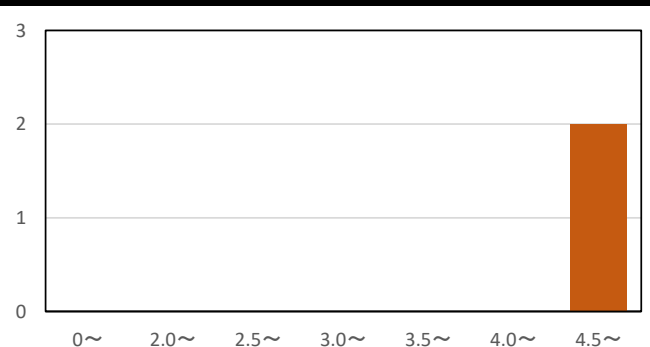


グラフ凡例	配点	問1～16
■	5	強くそう思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	該当なし
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

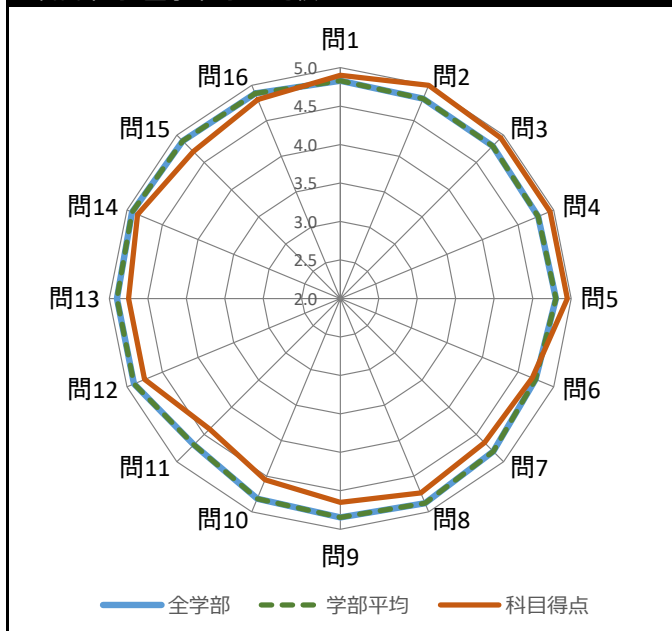


科目名	公衆衛生看護学実習	[1U0600]	履修者数	20	回答率	
教員名	地域看護学		紙	20	100%	100%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部			
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	18						2	4.90	4.83	4.83		
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	20							5.00	4.81	4.81		
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	19						1	4.95	4.80	4.80		
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	19						1	4.95	4.78	4.78		
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	19						1	4.95	4.80	4.80		
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	17						1	1	1	4.70	4.75	4.75
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	17						1	1	1	4.65	4.81	4.81
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	17						1	1	1	4.74	4.88	4.88
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	16						2	1	1	4.65	4.85	4.85
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	16						2	1	1	4.55	4.82	4.82
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	16						1	2	1	4.40	4.69	4.69
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	16						3	1		4.75	4.90	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	16						3	1		4.75	4.90	4.90
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	17						3			4.85	4.93	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	16						2	2		4.70	4.89	4.89
16	学生は、体調管理に努めた。	17						2	1		4.80	4.88	4.88
問1～16全問平均								4.77	4.83	4.83			

■ 科目平均と全学平均との比較

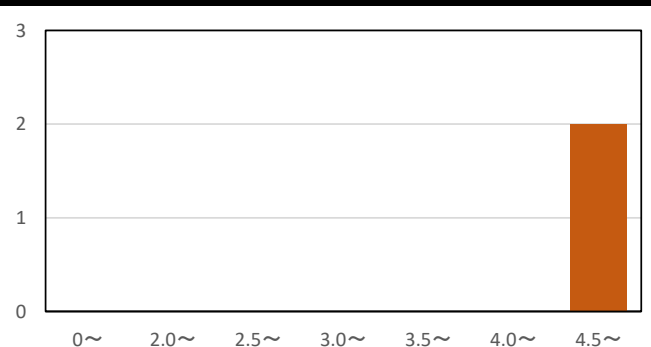


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1S0700	健康レベル別看護学実習 [レベルⅢ]	本庄 恵子	健康レベル別看護学実習授業評価アンケートのご協力をありがとうございました。皆さんが、個人そしてグループで主体的・積極的に実習に取り組み、学びを深め、実習目標に到達するべく、努力されていたことが、とてもよく伝わってきました。また、前半・後半グループの実習展開に関する課題、指導体制に関するご意見については、内容を吟味し、今後の改善にいかしてまいります。
1U0600	公衆衛生看護学実習	石田千絵	コロナ禍での実習はかなりハードだったと思いますが、積極的に良く学び、充実した様子が窺われて、嬉しく思います。皆様の学ぶ姿勢は、現場からも賞賛されることが多かったようです。素晴らしいです。一方で、個別のコメントからは、様々な苦しみがあった方がいらしたことが分りました。今も苦しみが続いている場合は、ご相談いただけますと幸いです。また、次年度の調整では、いただいたコメントを可能な範囲で（全体の調整のうえで）活かしたいと思います。ご意見をありがとうございました。皆様の今後のご活躍を祈念しています。